

牛久市子ども・子育て支援に関する調査報告書

平成 31 年3月

牛久市 保健福祉部 こども家庭課

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の概要.....	2
(2) 調査票の設問項目.....	3
(3) 調査結果の概要.....	5
2 調査結果	9
(1) 未就学児.....	10
■お住まいの地域について.....	10
■お子さんとご家族の状況について.....	10
■子どもの育ちをめぐる環境について.....	12
■お子さんの保護者の就労状況について.....	18
■お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	25
■お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	31
■お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	33
■お子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方(問 15 で1に○)).....	37
■お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	43
■お子さんが5歳以上である方 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	48
■育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	54
■牛久市の子育て環境や支援について.....	60
(2) 小学生.....	65
■お住まいの地域について.....	65
■お子さんとご家族の状況について.....	65
■子どもの育ちをめぐる環境について.....	67
■お子さんの保護者の就労状況について.....	73
■お子さんの病気の際の対応について.....	80
■お子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	86
■お子さんの放課後の過ごし方について.....	87
■お子さんの長期休暇の過ごし方について.....	92
■牛久市の子育て環境や支援について.....	96
3 調査票	101
(1) 未就学児調査票.....	102
(2) 小学生調査票.....	122

1 調査の概要

(1) 調査の概要

1. 調査の目的

第2期子ども・子育て支援事業計画策定において、確保を図るべき教育・保育施設、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」を算出するため、市内在住の未就学児童及び小学生児童を持つ保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

2. 調査方法

- 調査対象者 市内在住の未就学児の保護者 1,500人
市内在住の小学生の保護者 1,500人
- 調査方法 郵送による配布・回収（無記名）
- 調査期間 平成30年11月21日（水）～平成30年12月7日（金）
（※締め切り後到着したものについては、平成31年1月30日分までは集計に反映）

3. 配布状況

	未就学児	小学生	合計
配布票数	1,500	1,500	3,000
回収票数	753	694	1,447
回収率	50.2%	46.3%	48.2%

4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問については、母数を有効回答票数としているため、百分率の合計が100%を超えています。
- ・グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・回答数が少数の場合には、的確に分析ができないためコメントを控えています。
- ・属性別のクロス集計・分析にあたって、各属性サンプル数が少数の場合には、的確に分析ができないためコメントを控えています。

(2) 調査票の設問項目

調査内容	各対象別問番号	
	未就学児	小学生
■お住まいの地域について		
お住まいの地区について	問1	問1
■お子さんとご家族の状況について		
お子さんの生年月	問2	問2
お子さんのきょうだいの人数	問3	問3
調査票の回答者	問4	問4
調査票に回答者の配偶関係	問5	問5
お子さんの子育てを主に行っている方について	問6	問6
■子どもの育ちをめぐる環境について		
子育てに日常的に関わっている方（施設）	問7	問7
子育てに影響すると思われる環境について	問8	問8
日頃お子さんをみてもらえる親族・知人について	問9	問9
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について	問9-1	問9-1
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について	問9-2	問9-2
子育てをする上で、気軽に相談できる人・場所の有無	問10	問10
子育てに関して、気軽に相談できる先について	問10-1	問10-1
毎日の育児で大変なことや困っていることについて	問11	問11
毎日の育児で大変なことや困っていることに対して必要な支援について	問11-1	問11-1
子育てをする上で、周囲からどのようなサポートがあれば良いか	問11-2	問11-2
■お子さんの保護者の就労状況について		
保護者の現在の就労状況について	問12	問12
週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間」について	問12-1	問12-1
短時間就労の方のフルタイムへの転換希望の有無	問13	問13
未就労の方の就労希望の有無	問14	問14
■平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について		
幼稚園や保育所等の平日の定期的な教育・保育の事業の利用の有無	問15	
利用している平日の定期的な教育・保育の事業について	問15-1	
平日の定期的な教育・保育の事業についての利用状況及び利用希望	問15-2	
利用している定期的な教育・保育の事業の実施場所について	問15-3	
平日の定期的な教育・保育の事業を利用している理由について	問15-4	
平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由について	問15-5	
利用の有無にかかわらず定期的に利用したい平日の定期的な教育・保育事業	問16	
定期的な教育・保育の事業を利用したい場所について	問16-1	
■地域の子育て支援事業の利用状況について		
現在、子育て広場を利用しているか	問17	
子育て広場の今後の利用希望について	問18	
■土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について		
土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	問19	
毎週ではなく、月に1～2回（たまに）利用したい理由について	問19-1	
幼稚園を利用している方 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	問20	
毎日ではなく、週に数日（たまに）利用したい理由について	問20-1	

■お子さんの病気の際の対応について		
この1年間にお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはあるか（小学生：学校を休んだことはあるか）	問 21	問 15
利用できなかった場合、この1年間に行った対処方法について	問 21-1	問 15-1
その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか	問 21-2	問 15-2
病児・病後児保育施設等を利用したい場合、望ましい事業形態	問 21-3	問 15-3
病児・病後児保育施設等を利用したくない理由	問 21-4	問 15-4
できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか	問 21-5	問 15-5
休んでみることは非常に難しいと思う理由	問 21-6	問 15-6
■不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について		
私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業	問 22	
現在利用していない理由	問 22-1	
私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思うか	問 23	
この1年間に保護者の用事等で、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか。また、その場合の対処方法について	問 24	問 16
■小学校就学後の放課後の過ごし方について【お子さんが5歳以上の方対象】		
小学校低学年のうちは、放課後をどのような場所で過ごさせたいか （小学生：どのような場所で過ごしているか）	問 25	問 17
小学校高学年になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいか	問 26	
土・日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望	問 27	問 18
長期休暇期間中どのような場所で過ごしているか		問 19
長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望	問 28	問 20
長期休暇期間中に過ごす場所で望むこと		問 21
■育児休業や短時間勤務制度等職場の両立支援制度について		
お子さんが生まれた時、父母もしくは双方が育児休業を取得したか	問 29	
育児休業取得後、職場に復帰したか	問 29-1	
育児休業からは、実際にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか。 また、勤め先の育児休業制度期間内で、何歳何ヶ月まで取りたかったか	問 29-2	
希望の時期に職場復帰しなかった理由	問 29-3	
■牛久市の子育て環境や支援について		
牛久市の子ども・子育て支援の「満足度」と「必要性（重要性）」	問 30	問 22
牛久市の教育・保育環境の充実等子育ての環境や支援に関する自由意見	問 31	問 23

(3) 調査結果の概要

■子どもの育ちをめぐる環境について

【未・小問7】子育てに日常的に関わっている方(施設)について(複数回答)

未就学児、小学生ともに「父母ともに」が高い割合となっています。日常的に関わっている施設については、未就学児では、「保育園」、「幼稚園」、小学生では「小学校」が多く挙げられています。

【未・小問8】子育てに、影響すると思われる環境について(複数回答)

未就学児、小学生ともに「家庭」がほぼ10割、「地域」が約5割と高い割合となっています。施設については、問7と同様に「保育園」、「幼稚園」、小学校が多く挙げられています。

【未・小問9】日頃お子さんをみてもらえる親族・知人の有無について(複数回答)

未就学児、小学生ともに、日常的、緊急時問わず「祖父母等の親族にみてもらえる」が約6割程度となっており、「いずれもない」は1～2割程度となっています。

【未・小問10、10-1】子育てをする上で、気軽に相談できる先の有無について(一部複数回答)

未就学児、小学生ともに「いる/ある」が約9割となっています。相談先については、未就学児、小学生ともに「祖父母等の親族」「友人や知人」が高い割合になっています。

【未・小問11、11-1】毎日の育児で大変なことや困っていることについて(複数回答)

未就学児は「子供に手がかかるので、いつも時間に追われている」という悩みが多く、悩みに対して求められているサポートとしては、「日中、何時間か子どもを預かってくれる施設」が求められています。

小学生は「特に困っていることはない」が最も多くなっていますが、何かしらの悩みを抱えている方も多く、「話を聞いてくれて助言してくれる」サポートが多く求められています。

■お子さんの保護者の就労状況について

【未・小問12】保護者の方の現在の就労状況について

母親は産休・育休・介護休業中を含めて、未就学児が6割、小学生では7割以上がフルタイムまたは短時間の「就労中」です。

父親は未就学児、小学生ともに約9割がフルタイムまたは短時間の「就労中」です。

■お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について(未就学児のみ)

【未問15～15-3】幼稚園や保育園等の「定期的な教育・保育の事業」の利用状況について(一部複数回答)

現在の利用状況について、「利用している」が約6割、「利用していない」が約4割となっています。

利用している教育・保育事業については、「認可保育園」が約6割で最も多く、次いで「幼稚園」が約3割、「認定こども園」が約1割となっています。

利用実態については、「週5日」で1日当たり「10時間」、「8時間」の利用が多くなっており、利用している教育・保育事業の実施場所については「牛久市内」が約9割となっています。

【未問 16】定期的に利用したい平日の教育・保育の事業について(複数回答)

利用したい教育・保育事業については、「認可保育園」が約6割で最も多く、次いで「幼稚園」が約6割、「認定こども園」が約4割となっています。利用の実態と同様の結果となっていますが、「幼稚園」と「認定こども園」の利用希望は高くなっています。

■お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について(未就学児のみ)

【未問 17、18】現在、子育て広場の利用実態・今後の利用意向(複数回答)

現在「利用していない」が約7割となっています。利用している方は「子育て広場」の利用が多く、利用回数は「月に1回」が最も多くなっています。今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が約5割で最も多くなっています。

■お子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について(未就学児のみ)

【未問 19、20】土曜日と日曜日・祝日や夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の定期的な教育・保育の事業の利用希望について

土曜、日曜・祝日の利用希望については、「利用する必要がない」が6～7割と最も多くなっています。幼稚園の長期休暇期間中の利用希望については、ほぼ毎日・週に数日合わせて「利用したい」が約6割となっています。

■お子さんの病気の際の対応について

【未問 21～21-4・小問 15～15-1】この1年でお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはあるか(学校を休んだことがあるか)(一部複数回答)

未就学児では、通常の事業が利用できないことが「あった」が約8割、小学生では学校を休んだことが「あった」が約7割となっています。その場合の対処方法としては、未就学児、小学生ともに「母親が休んだ」が最も多くなっています。

(以下未就学児のみ) 病児・病後児施設の利用については、「利用したいと思わない」が約6割となっており、利用したいと思わない理由として、「親が仕事を休んで対応する」、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が多く、利用したい場合、預ける場合に望ましい事業形態は「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も多く望まれています。

■お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

【未問 22、22-1】私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業(一部複数回答)

「利用していない」が約9割となっています。利用している場合、「幼稚園の預かり保育」が約1割程度です。利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が最も多くなっています。

【未問 25、25-1・小問 16】この1年、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか(複数回答)

未就学児、小学生ともに「なかった」が8割と最も多く、あった場合は、「親族・知人にみてもらった」、が高い割合となっています。

■小学校就学後の放課後の過ごし方について(お子さんが5歳以上の方)

【未問 25、26・小問 17】小学校低学年時・高学年時の放課後過ごさせたい場所について(小学生は実態)

小学校就学後に放課後過ごさせたい場所については、未就学児の低学年時の希望は「放課後児童クラブ」が約5割と最も多く、次いで「自宅」、「習い事」となっています。高学年時の希望は「習い事」が約5割と最も多く、次いで「自宅」、「放課後児童クラブ」となっています。

実態として、小学生が放課後過ごしている場所は「自宅」が約7割と最も多く、次いで「習い事」、「放課後児童クラブ」となっています。

【未問 27・小問 18】土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望について

未就学児、小学生ともに土日祝に「利用する必要ない」が約6割～9割となっています。

【未問 28・小問 20】長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望について

未就学児は低学年・高学年合わせて「利用したい」が6～7割と高くなっています。また、小学生の場合、「低学年」での利用希望が高くなっています。

■育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について(未就学児のみ)

【未問 29】お子さんが生まれた時、保護者が育児休業を取得したか(一部複数回答)

保護者の育児休業の取得について、母親は「取得した(取得中)」が約5割と最も多く、次いで「働いていなかった」となっています。「取得していない」は1割で、取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が多くなっています。

父親は、「取得していない」が約9割と最も多く、「取得した(取得中である)」が1割となっています。父親の取得していない理由は「仕事が忙しかった」が多くなっています。

【未問 30-2】育児休業を「取得した」方 育児休業取得後、職場に復帰したか

未就学児の母親は「取得後、復帰した」が約7割で最も多く、次いで「現在も育児休業中」が2割となっています。

■牛久市の子育て環境や支援について

【未問 30・小問 22】牛久市の子ども・子育て支援に関わる項目の「A 満足度」と「B 必要性(重要性)」

子ども・子育て支援に関する未就学児の満足度は、「子育てに関する医療・保健の充実」で「満足」が約4割と最も高くなっています。一方で、「親と子の健康の確保」や「子どもの安全対策」は「不満」が5割と高くなっています。

重要性については、ほとんどの項目で「必要」が7～9割以上で重要性が高くなっています。特に「子育てに関する医療・保健の充実」や「子どもの安全対策」が約9割と最も高くなっています。一方で、「時代の親の育成支援」は「不必要」が約5割と高くなっています。

小学生の満足度は、「親と子の健康の確保」で「満足」が約4割と最も高くなっています。一方で、「誰もが安心・安全に過ごせるまちづくり」は「不満」が3割以上と高くなっています。

重要性については、ほとんどの項目で「必要」が7～9割以上で重要性が高くなっています。未就学児同様「子育てに関する医療・保健の充実」が約9割と最も高くなっています。一方で、「ワーク・ライフ・バランスの実現」は「不必要」が約5割と高くなっています。

【未問 31・小問 23】牛久市の子育ての環境や支援に関してのご意見について(自由回答)

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関しては、未就学児、小学生ともに「地域子ども・子育て支援事業に関すること」についてのご意見・ご要望が最も多くなっています。

細かくみると、「保育園」や「小学校」などそれぞれ普段過ごしている場所に関するご意見が最も多くなっています。また、未就学児・小学生と同様に「遊び場・子どもの居場所・公園について」、「その他（助成金や医療補助など）」に関するご意見・ご要望が多く寄せられています。

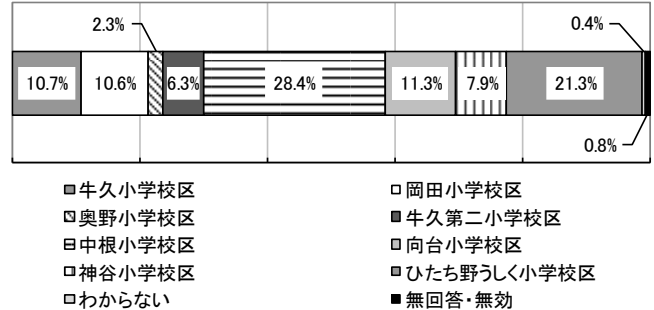
2 調査結果

(1) 未就学児

■お住まいの地域について

問1 お住まいの地区について

		票数	%
1	牛久小学校区	80	10.7%
2	岡田小学校区	79	10.6%
3	奥野小学校区	17	2.3%
4	牛久第二小学校区	47	6.3%
5	中根小学校区	212	28.4%
6	向台小学校区	84	11.3%
7	神谷小学校区	59	7.9%
8	ひたち野うしく小学校区	159	21.3%
9	わからない	3	0.4%
	無回答・無効	6	0.8%
	合計	746	100.0%

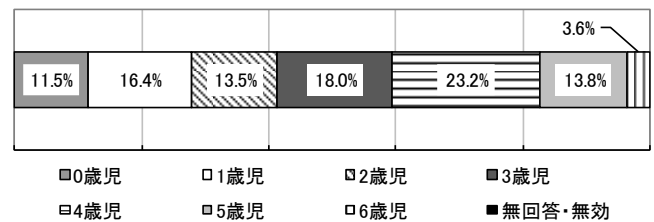


地区の内訳は、「中根小学校区」が28.4%で最も多く、次いで「ひたち野うしく小学校区」が21.3%、「向台小学校区」が11.3%となっています。

■お子さんとご家族の状況について

問2 お子さんの生年月

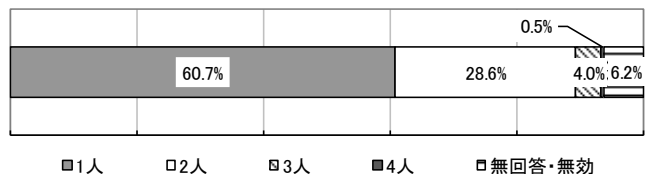
		票数	%
1	0歳児	86	11.5%
2	1歳児	122	16.4%
3	2歳児	101	13.5%
4	3歳児	134	18.0%
5	4歳児	173	23.2%
6	5歳児	103	13.8%
7	6歳児	27	3.6%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	746	100.0%



年齢別の内訳は、「4歳児」が23.2%と最も多く、次いで「3歳児」が18.0%、「1歳児」が16.4%となっています。

問3 お子さんのきょうだい数について(末子の年齢)

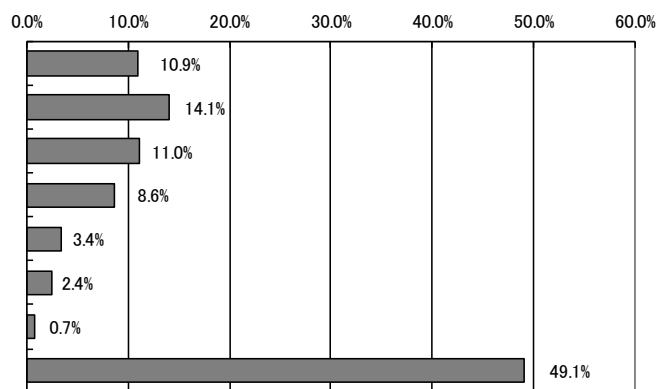
		票数	%
1	1人	453	60.7%
2	2人	213	28.6%
3	3人	30	4.0%
4	4人	4	0.5%
	無回答・無効	46	6.2%
	合計	746	100.0%



「1人」きょうだいが60.7%と最も多く、半数以上を占めており、次いで「2人」が28.6%となっています。

末子の年齢について

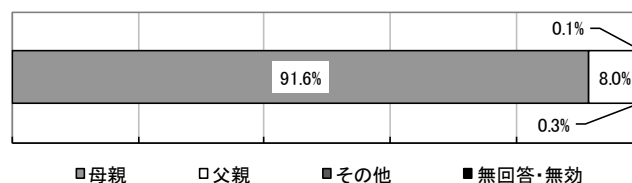
		票数	%
1	0歳	81	10.9%
2	1歳	105	14.1%
3	2歳	82	11.0%
4	3歳	64	8.6%
5	4歳	25	3.4%
6	5歳	18	2.4%
7	6歳	5	0.7%
	無回答・無効	366	49.1%
	合計	746	100.0%



末子の年齢は「1歳」が14.1%と最も多く、次いで「2歳」が11.0%、「0歳」が10.9%となっています。

問4 調査票の回答者について

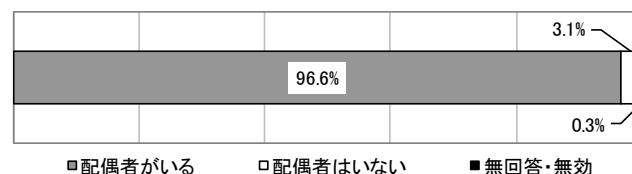
		票数	%
1	母親	683	91.6%
2	父親	60	8.0%
3	その他	2	0.3%
	無回答・無効	1	0.1%
	合計	746	100.0%



回答者は「母親」が91.6%、「父親」が8.0%で、9割以上が「母親」となっています。

問5 調査票に回答いただいている方の配偶関係について

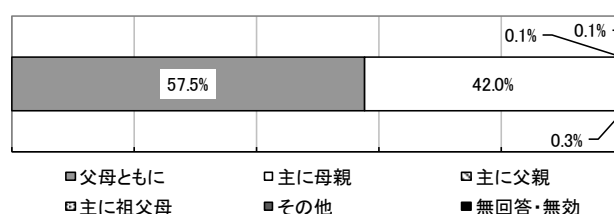
		票数	%
1	配偶者がいる	721	96.6%
2	配偶者がいない	23	3.1%
	無回答・無効	2	0.3%
	合計	746	100.0%



「配偶者がいる」が96.6%、「配偶者がいない」が3.1%となっています。

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方について

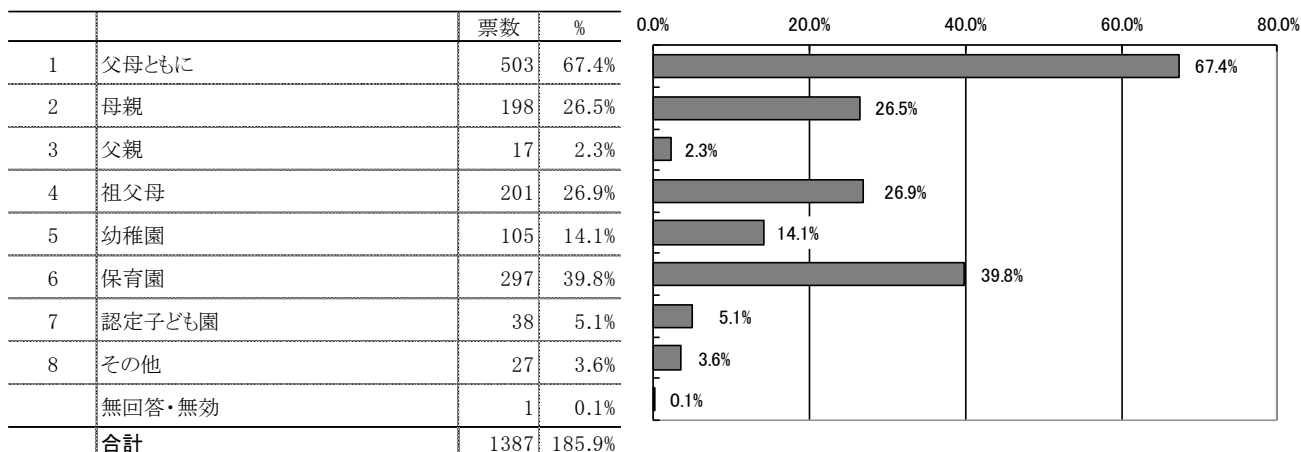
		票数	%
1	父母ともに	429	57.5%
2	主に母親	313	42.0%
3	主に父親	1	0.1%
4	主に祖父母	0	0.0%
5	その他	2	0.3%
	無回答・無効	1	0.1%
	合計	746	100.0%



「父母ともに」が57.5%で最も多く、次いで「主に母親」が42.0%となっています。

■子どもの育ちをめぐる環境について

問7 子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方(施設)について(複数回答)

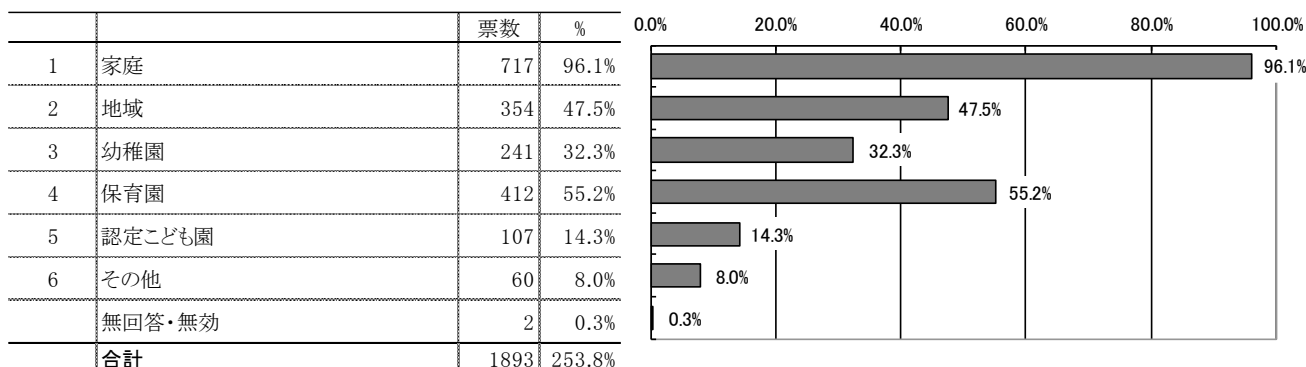


子育てに関わっている人は、「父母ともに」が67.4%と最も多く、半数以上を占めており、次いで「祖父母」が26.9%、「母親」が26.5%となっています。

施設については、「保育園」が39.8%と最も多く、次いで「幼稚園」が14.1%となっています。

「その他」の回答では、「託児所(施設)」や「曾祖父母」等が多く挙げられています。他に「叔母」、「のぞみ園(施設)」、「子育て広場(施設)」等の回答がありました。

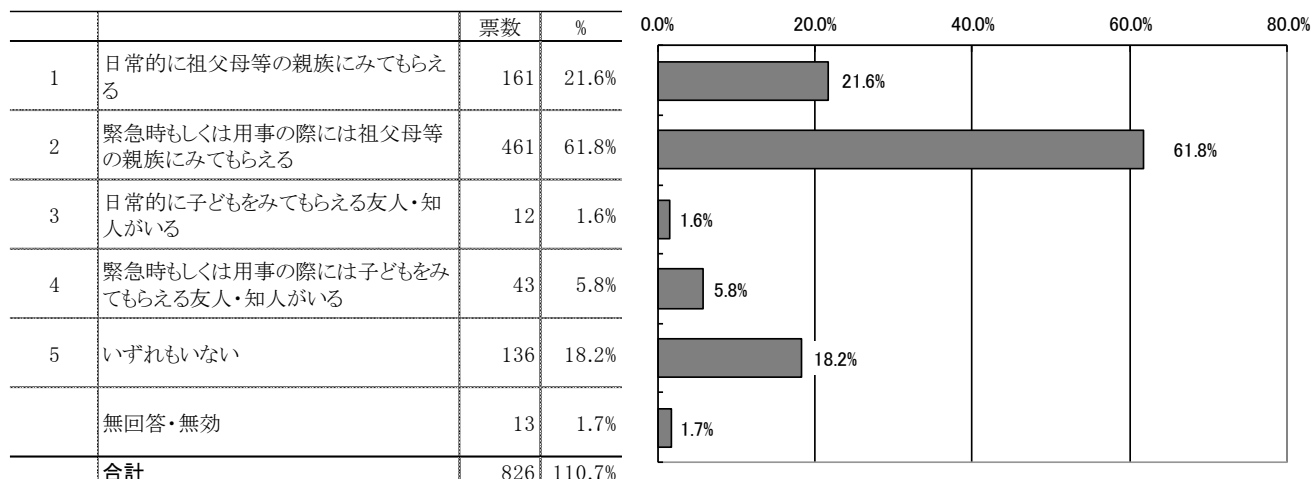
問8 子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境について(複数回答)



子育てに影響する環境は、「家庭」が96.1%と最も多く、次いで「保育園」が55.2%、「地域」が47.5%となっています。また、問7と同様に、施設については「保育園」、「幼稚園」(32.3%)が多い割合となっています。

「その他」の回答では、「託児所(施設)」や「のぞみ園(施設)」、「祖父母」等が多く挙げられています。他に、「両親の実家」、「両親の職場」、「子育て支援センター(施設)」等の回答がありました。

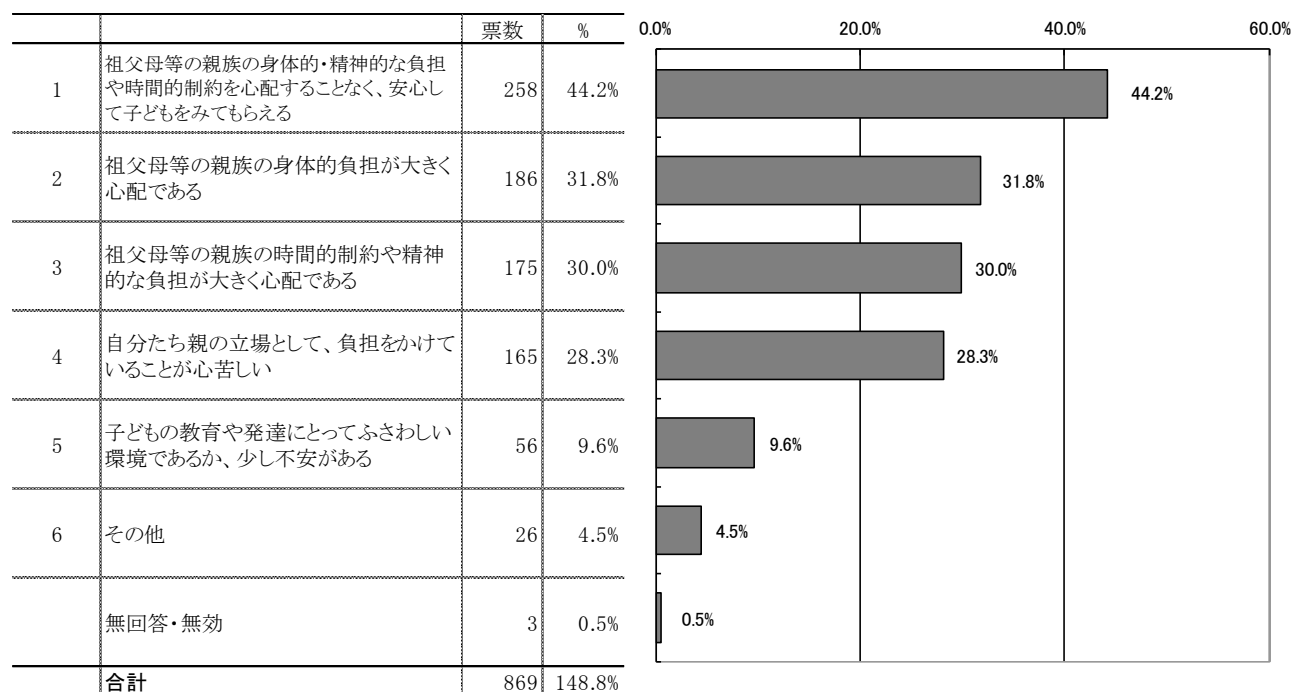
問9 保育所等施設の通所の有無に関わらず、日頃お子さんをみてもらえる親族・知人はいるか(複数回答)



「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が21.6%となっており、合わせて「祖父母等の親族にみてもらえる」が8割以上を占めています。

友人・知人については、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が5.8%となっており、「いずれもない」の18.2%よりも少なくなっています。

問9-1 問9で「1」・「2」に○した方 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について(複数回答)



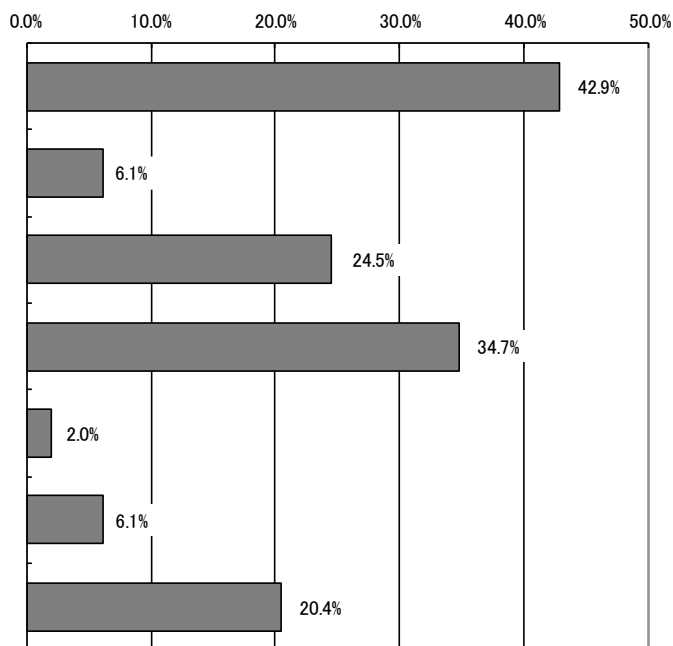
祖父母等の親族に「安心してみてもらえる」が44.2%と最も多くなっています。

一方で、「身体的負担」、「精神的負担」が心配と感じている方も合わせて61.8%、また、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」も28.3%となっており、子どもをみてもらうことに心苦しさを感じている方が多くなっています。

「その他」の回答では、「高齢なので頼みにくい」、「遠方のため気軽に預けるのが難しい」等の回答がありました。

問9-2 問9で「3」「4」に○した方 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について (複数回答)

		票数	%
1	友人・知人の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	21	42.9%
2	友人・知人の親族の身体的負担が大きく心配である	3	6.1%
3	友人・知人の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	12	24.5%
4	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	17	34.7%
5	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	1	2.0%
6	その他	3	6.1%
	無回答・無効	10	20.4%
	合計	67	136.7%



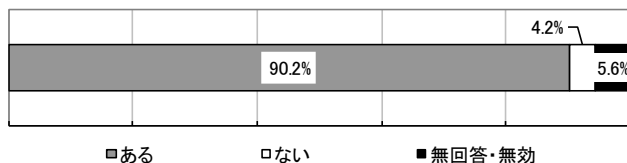
友人・知人に「安心してみてもらえる」が42.9%と最も多くなっています。

一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が34.7%となっており、また、「身体的負担」、「精神的負担」が心配と感じている方も合わせて30.6%となっていることから、子どもをみてもらうことに心苦しさを感じている方が多くなっています。

「その他」の回答では、「頼れる友人はいるが、そうした状況になったことがない」等の回答がありました。

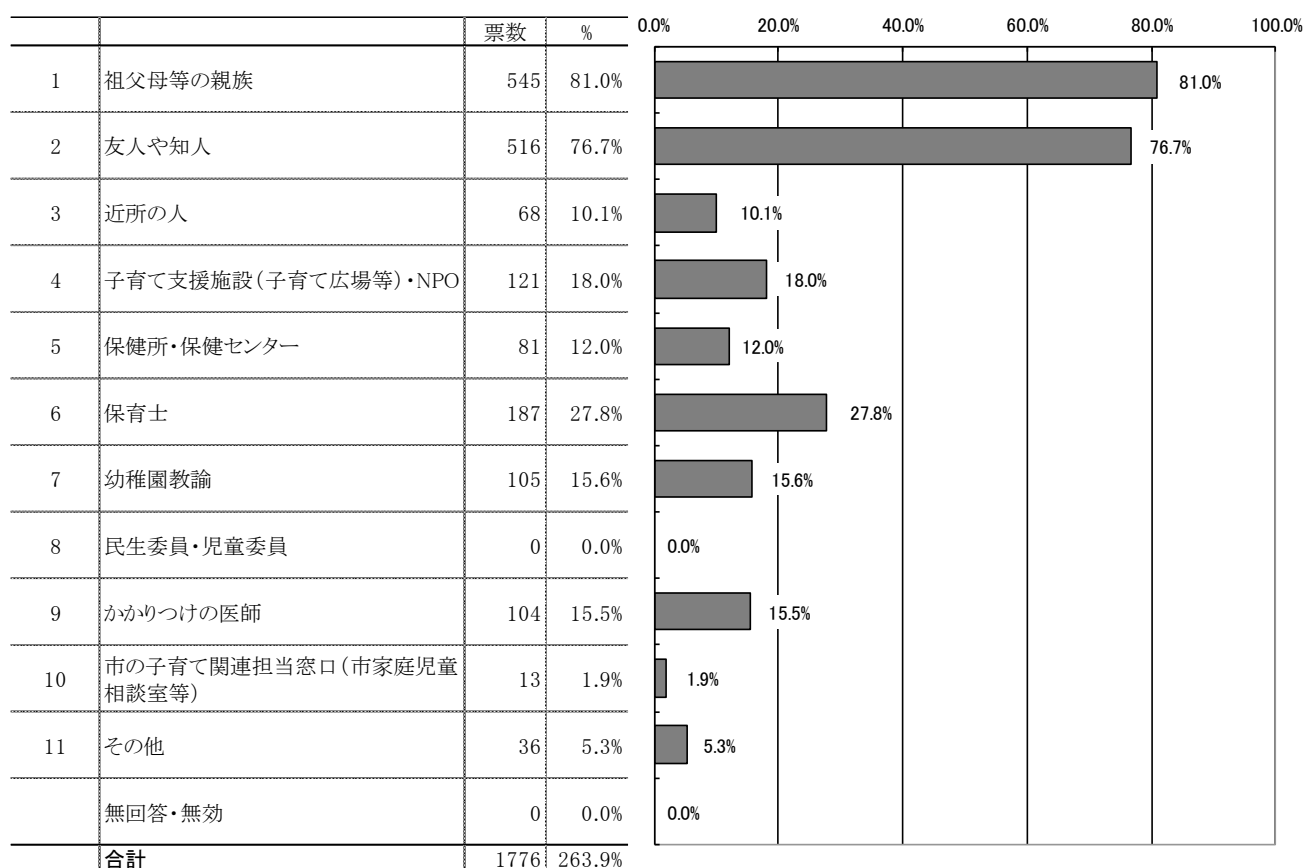
問10 子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(場所)はある/あるか

		票数	%
1	ある	673	90.2%
2	ない	31	4.2%
	無回答・無効	42	5.6%
	合計	746	100.0%



子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる先がある人は90.2%、ない人は4.2%となっています。

問 10-1 問 10 で「1. いる/ある」に○をした方 子育てに関して、気軽に相談できる先について(複数回答)

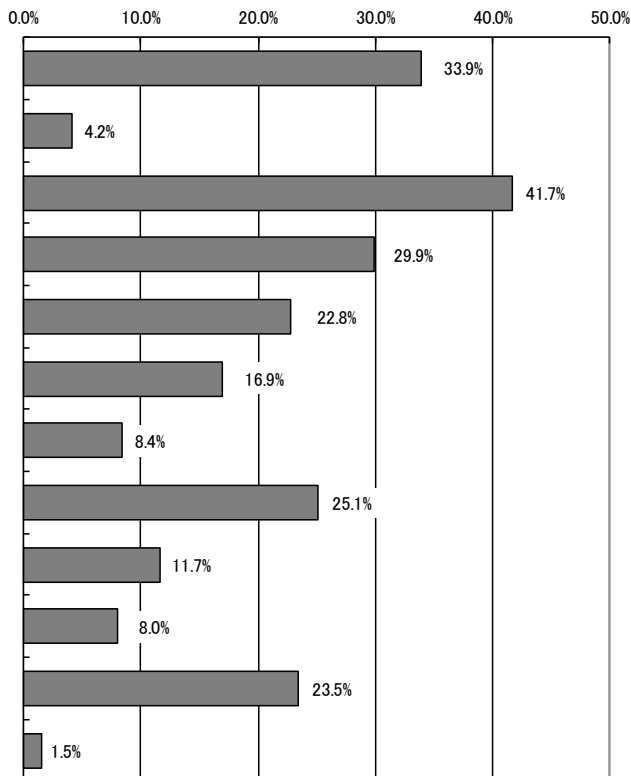


相談先については、「祖父母等の親族」が81.0%と最も多く、次いで「友人や知人」(76.7%)、「保育士」(27.8%)となっています。

「その他」の回答としては、「のぞみ園(施設)」、「職場」、「姉」等の回答がありました。

問 11 毎日の育児で大変なことや困っていることはあるか(複数回答) **牛久市独自設問**

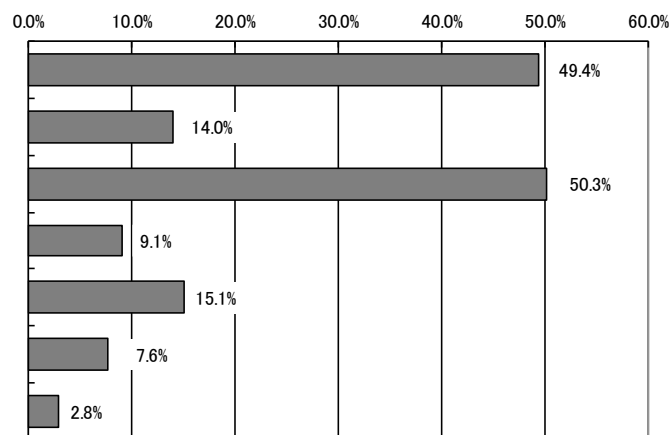
		票数	%
1	育児疲れがたまり毎日疲労感が取れない	253	33.9%
2	毎日の生活にやる気がおきない	31	4.2%
3	子どもに手がかかるので、いつも時間に追われている	311	41.7%
4	子どもがわずらわしくてイライラしてしまうことがある	223	29.9%
5	子どものことでどうしたらよいかわからなくなることがある	170	22.8%
6	子どもをおいて外出するのは心配で仕方ない	126	16.9%
7	自分ひとりで子どもを育てているのだという圧迫感を感じてしまう	63	8.4%
8	毎日、同じことの繰り返ししかしていないと思う	187	25.1%
9	経済的に余裕がなく、子供を育てることに不安がある	87	11.7%
10	子どもを育てるために、がまんばかりしていると思う	60	8.0%
11	特に困っていることはない	175	23.5%
	無回答・無効	11	1.5%
	合計	1697	227.5%



毎日の育児について、「子どもに手がかかるので、いつも時間に追われている」が41.7%と最も多く、次いで「育児疲れがたまり毎日疲労感が取れない」が33.9%、「子どもがわずらわしくてイライラしてしまうことがある」が29.9%となっています。
また、「特に困っていることはない」は23.5%となっています。

問 11-1 問 11 で「1.~10.」のいずれかに○をつけた方 育児で大変な時や困っていることに対してどのような支援が必要か(複数回答) **牛久市独自設問**

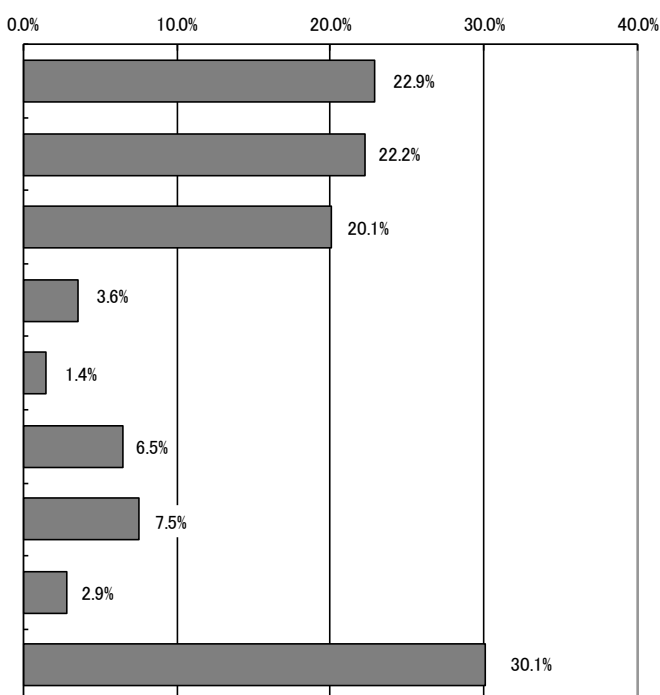
		票数	%
1	話を聞いてくれて助言をしてくれる	278	49.4%
2	地域の人が何時間か子どもを預かってくれる	79	14.0%
3	日中、何時間か子どもを預かってくれる施設	283	50.3%
4	1泊以上の泊まりで子どもを預かってくれる施設	51	9.1%
5	支援は必要ない	85	15.1%
6	その他	43	7.6%
	無回答・無効	16	2.8%
	合計	835	148.3%



困っていることに対して必要な支援については「日中、何時間か子どもを預かってくれる施設」が50.3%と最も多く、次いで「話を聞いてくれて助言をしてくれる」が49.4%となっています。
「その他」では、「家事代行」「子どもが遊べる施設」「金銭的支援」「父親が子育て・家事に意識を向ける為のイベント」等の回答がありました。

問 11-2 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者等)からどのようなサポートがあればよいか(自由記述/項目別に整理)

		票数	%
1	教育・保育施設について	64	22.9%
2	預かり等について	62	22.2%
3	相談先について	56	20.1%
4	情報等について	10	3.6%
5	ファミリーサポートセンター等について	4	1.4%
6	子どもの居場所・あそび場・公園について	18	6.5%
7	子育て支援センター(子育て広場)等について	21	7.5%
8	安心安全・交通等について	8	2.9%
9	その他(助成金、医療福祉費、病院、障がい児・療養施設、講座・イベント、他等)	84	30.1%
	合計	327	117.2%



子育て(教育を含む)をする上で望ましいサポートについては、「その他(助成金、医療福祉費、病院、障がい児・療養施設、講座・イベント、他等)」に関する意見が30.1%と最も多く、次いで、「教育・保育施設について」が22.9%、「預かり等について」が22.2%となっています。

主な意見としては、「その他」は「家事の支援」、「地域との交流会」、「医療費の補助」等の回答がありました。「教育・保育施設について」は「病児保育」、「保育園の送迎」等の回答がありました。

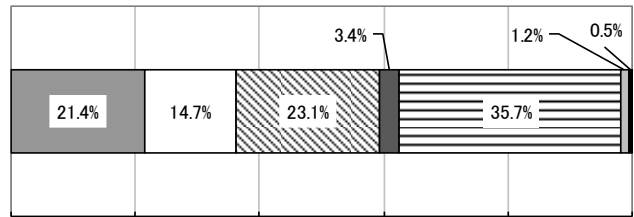
「預かり等について」は「土日でも預けられる施設」、「当日でも預けられる施設」等の回答がありました。

■お子さんの保護者の就労状況について

問 12 保護者の方の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について

(1)母親

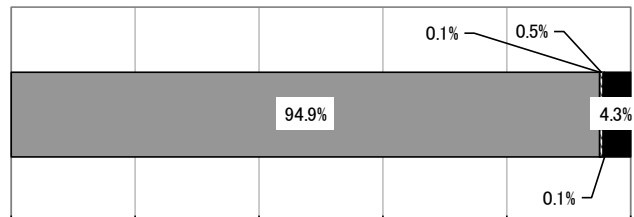
		票数	%
1	フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	160	21.4%
2	フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	110	14.7%
3	短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	172	23.1%
4	短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である	25	3.4%
5	以前は働いていたが、現在は働いていない	266	35.7%
6	これまで働いたことがない	9	1.2%
	無回答・無効	4	0.5%
	合計	746	100.0%



- フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である
- ▧短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▩短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は働いていたが、現在は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答・無効

(2)父親

		票数	%
1	フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	708	94.9%
2	フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	1	0.1%
3	短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	4	0.5%
4	短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
5	以前は働いていたが、現在は働いていない	1	0.1%
6	これまで働いたことがない	0	0.0%
	無回答・無効	32	4.3%
	合計	746	100.0%



- フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である
- ▧短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▩短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は働いていたが、現在は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答・無効

母親は「以前は働いていたが、現在は働いていない」が35.7%と最も多くなっています。また、産休・育休・介護休業中を含め、「フルタイムで就労中」が36.1%、「短時間就労中」が26.5%で、合わせて62.6%が就労中です。

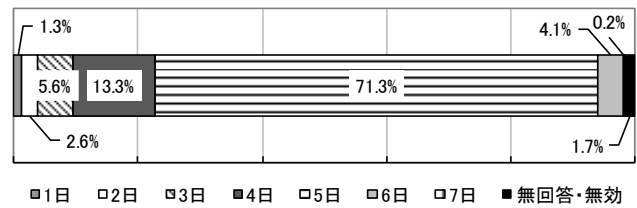
父親は産休・育休・介護休業中を含め、「フルタイムで就労中」が95.0%、「短時間就労中」が0.5%で、合わせて95.5%が就労中です。

問 12-1 問 12 で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」について また、家を出る時刻と帰宅時刻について

(1)母親

週当たりの「就労日数」

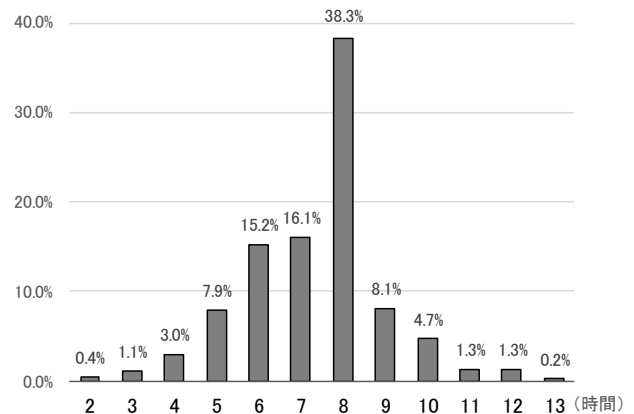
		票数	%
1	1日	6	1.3%
2	2日	12	2.6%
3	3日	26	5.6%
4	4日	62	13.3%
5	5日	333	71.3%
6	6日	19	4.1%
7	7日	1	0.2%
	無回答・無効	8	1.7%
	合計	467	100.0%



母親の就労日数については「5日」が71.3%と最も多く、次いで「4日」が13.3%となっています。

日当たりの「就労時間」

	票数	%
1時間	0	0.0%
2時間	2	0.4%
3時間	5	1.1%
4時間	14	3.0%
5時間	37	7.9%
6時間	71	15.2%
7時間	75	16.1%
8時間	179	38.3%
9時間	38	8.1%
10時間	22	4.7%
11時間	6	1.3%
12時間	6	1.3%
13時間	1	0.2%
14時間	0	0.0%
15時間	0	0.0%
16時間	0	0.0%
17時間	0	0.0%
18時間	0	0.0%
19時間	0	0.0%
20時間	0	0.0%
21時間	0	0.0%
22時間	0	0.0%
23時間	0	0.0%
24時間	0	0.0%
無回答・無効	11	2.4%
合計	467	100.0%



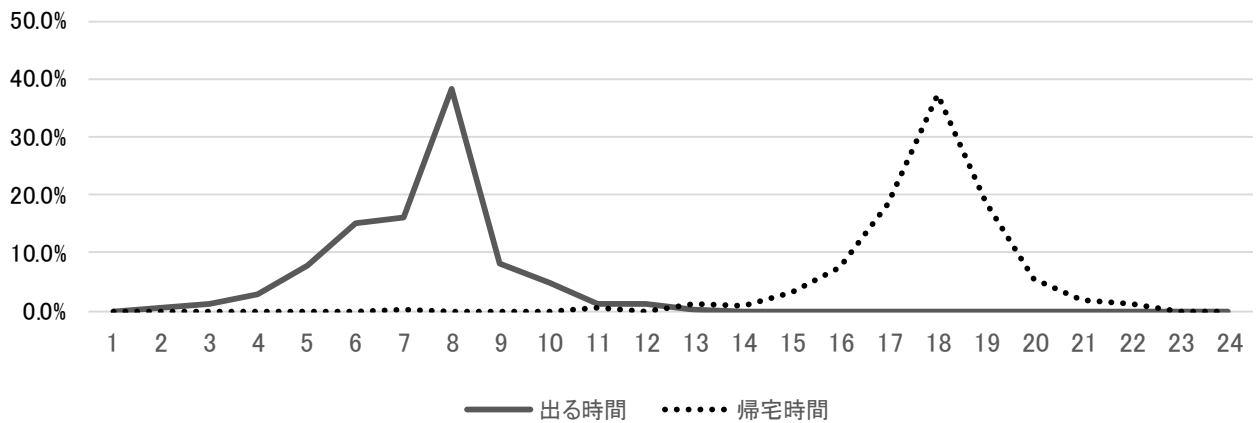
母親の就労時間は「8時間」が38.3%、「7時間」が16.1%、「6時間」が15.2%となっています。

出る時刻

	票数	%
1時	0	0.0%
2時	2	0.4%
3時	5	1.1%
4時	14	3.0%
5時	37	7.9%
6時	71	15.2%
7時	75	16.1%
8時	179	38.3%
9時	38	8.1%
10時	22	4.7%
11時	6	1.3%
12時	6	1.3%
13時	1	0.2%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
無回答・無効	11	2.4%
合計	467	100.0%

帰宅時刻

	票数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	0	0.0%
7時	1	0.2%
8時	0	0.0%
9時	0	0.0%
10時	0	0.0%
11時	2	0.4%
12時	0	0.0%
13時	6	1.3%
14時	4	0.9%
15時	15	3.2%
16時	35	7.5%
17時	86	18.4%
18時	174	37.3%
19時	87	18.6%
20時	26	5.6%
21時	8	1.7%
22時	5	1.1%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
無回答・無効	18	3.9%
合計	467	100.0%

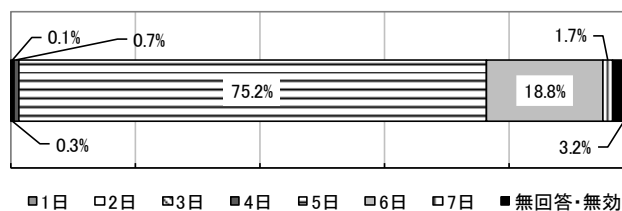


母親の家を出る時刻は、6～8時がピークで、「8時」が38.3%と最も多く、帰宅時刻は17～19時がピークで、「18時」が37.3%と最も多くなっています。

(2)父親

週当たりの「就労日数」

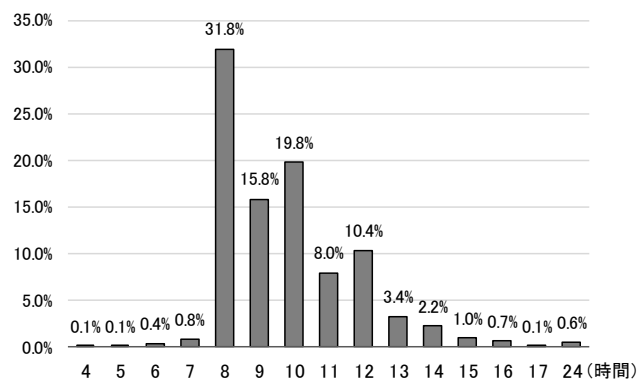
		票数	%
1	1日	0	0.0%
2	2日	1	0.1%
3	3日	2	0.3%
4	4日	5	0.7%
5	5日	536	75.2%
6	6日	134	18.8%
7	7日	12	1.7%
	無回答・無効	23	3.2%
	合計	713	100.0%



父親の就労日数については「5日」が75.2%と最も多く、次いで「6日」が18.8%となっています。

日当たりの「就労時間」

		票数	%
	1時間	0	0.0%
	2時間	0	0.0%
	3時間	0	0.0%
	4時間	1	0.1%
	5時間	1	0.1%
	6時間	3	0.4%
	7時間	6	0.8%
	8時間	227	31.8%
	9時間	113	15.8%
	10時間	141	19.8%
	11時間	57	8.0%
	12時間	74	10.4%
	13時間	24	3.4%
	14時間	16	2.2%
	15時間	7	1.0%
	16時間	5	0.7%
	17時間	1	0.1%
	24時間	4	0.6%
	無回答・無効	33	4.6%
	合計	713	100.0%



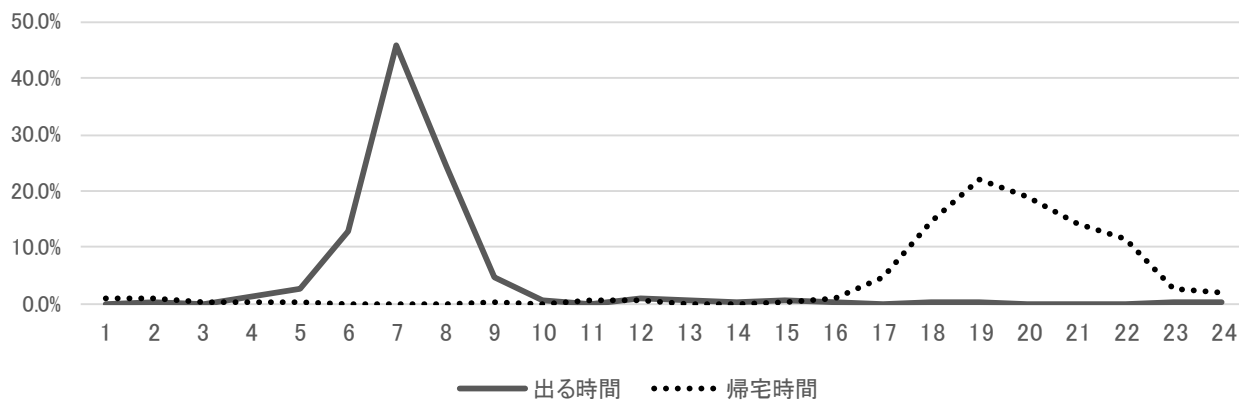
父親の就労時間は「8時間」が31.8%、次いで「10時間」が19.8%となっています。

出る時刻

	票数	%
1時	0	0.0%
2時	2	0.3%
3時	0	0.0%
4時	9	1.3%
5時	18	2.5%
6時	90	12.6%
7時	328	46.0%
8時	175	24.5%
9時	33	4.6%
10時	4	0.6%
11時	0	0.0%
12時	5	0.7%
13時	3	0.4%
14時	1	0.1%
15時	4	0.6%
16時	1	0.1%
17時	0	0.0%
18時	1	0.1%
19時	1	0.1%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	1	0.1%
24時	1	0.1%
無回答・無効	36	5.0%
合計	713	100%

帰宅時刻

	票数	%
1時	6	0.8%
2時	7	1.0%
3時	1	0.1%
4時	1	0.1%
5時	2	0.3%
6時	0	0.0%
7時	0	0.0%
8時	0	0.0%
9時	1	0.1%
10時	0	0.0%
11時	4	0.6%
12時	4	0.6%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	1	0.1%
16時	7	1.0%
17時	33	4.6%
18時	103	14.4%
19時	157	22.0%
20時	134	18.8%
21時	102	14.3%
22時	81	11.4%
23時	19	2.7%
24時	13	1.8%
無回答・無効	37	5.2%
合計	713	100.0%

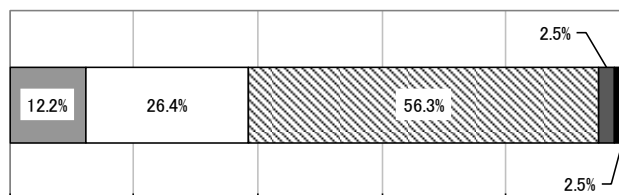


父親は家を出る時刻は6～8時がピークで、「7時」が46.0%と最も多く、帰宅時刻は18時～22時がピークで、「19時」が22.0%と最も多くなっています。

問 13 問 12 で「3・4」(短時間の就労をしている)に○をつけた方 フルタイムへの転換希望はあるか

(1)母親

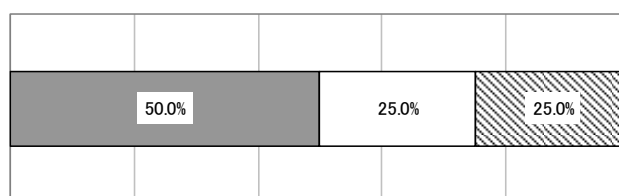
		票数	%
1	フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある	24	12.2%
2	フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない	52	26.4%
3	短時間就労で働き続けることを希望	111	56.3%
4	短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい	5	2.5%
	無回答・無効	5	2.5%
	合計	197	100.0%



- フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない
- 短時間就労で働き続けることを希望
- 短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答・無効

(2)父親

		票数	%
1	フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある	2	50.0%
2	フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない	1	25.0%
3	短時間就労で働き続けることを希望	1	25.0%
4	短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	4	100.0%



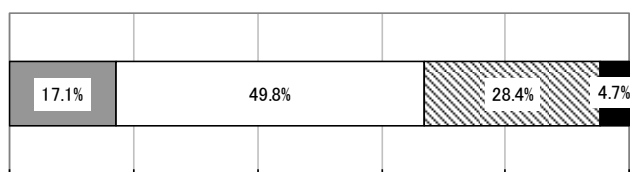
- フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない
- 短時間就労で働き続けることを希望
- 短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答・無効

母親は、「短時間の就労を続ける」が56.3%で最も多くなっています。見込みの有無にかかわらず、「フルタイムへの転換希望」は合わせて38.6%となっています。

問 14 問 12 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方 就労希望はあるか

(1)母親

		票数	%
1	子育てや家事などに専念したい(働く予定予定はない)	47	17.1%
2	1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい	137	49.8%
3	すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	78	28.4%
	無回答・無効	13	4.7%
	合計	275	100.0%

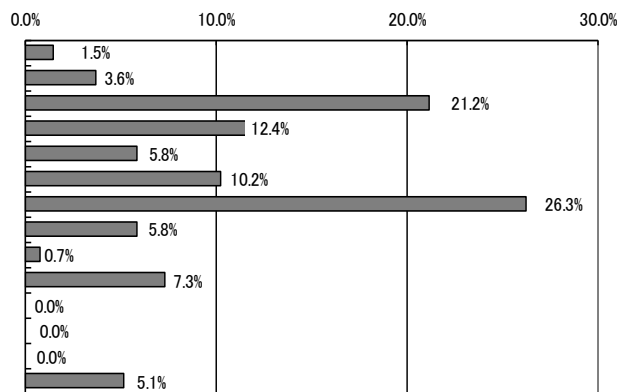


- 子育てや家事などに専念したい(働く予定予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
- 無回答・無効

母親は「すぐにでも」と「1年より先」に就労希望は合わせて78.2%で、特に「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」が多くなっています。
一方、希望がない人は28.4%となっています。

2に○をつけた方 希望する年齢

		票数	%
1	1歳	2	1.5%
2	2歳	5	3.6%
3	3歳	29	21.2%
4	4歳	17	12.4%
5	5歳	8	5.8%
6	6歳	14	10.2%
7	7歳	36	26.3%
8	8歳	8	5.8%
9	9歳	1	0.7%
10	10歳	10	7.3%
11	11歳	0	0.0%
12	12歳	0	0.0%
13	13歳	0	0.0%
	無回答・無効	7	5.1%
	合計	137	100.0%



3に○をつけた方 就労の希望

		票数	%
ア	フルタイム	16	20.5%
イ	短時間就労	62	79.5%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	78	100.0%



イに○をつけた方。週当たりの「希望就労日数」

		票数	%
1	1日	1	1.6%
2	2日	2	3.2%
3	3日	33	53.2%
4	4日	20	32.3%
5	5日	6	9.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	62	100.0%

イに○をつけた方。日当たりの「希望就労時間」

		票数	%
1	3時間	1	1.6%
2	4時間	2	3.2%
3	5時間	33	53.2%
4	6時間	20	32.3%
5	7時間	6	9.7%
6	8時間	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	62	100.0%

就労のタイミングは子どもが「7歳」の 때가 26.3%と最も多く、次いで「3歳」が 21.2%となっています。

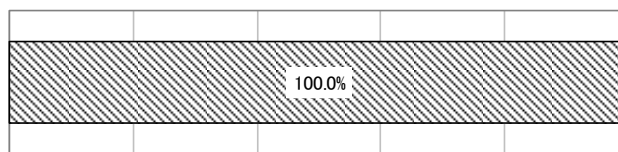
就労形態は「短時間就労」を希望が 79.5%となっています。

希望就労日数は「3日」が 53.2%と最も多く、次いで「4日」が 32.3%となっています。

希望就労時間は「5時間」が 53.2%と最も多く、次いで「6時間」が 32.3%となっています。

(2)父親

		票数	%
1	子育てや家事などに専念したい(働く予定予定はない)	0	0.0%
2	1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい	0	0.0%
3	すぐにも、もしくは1年以内に働きたい	1	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%



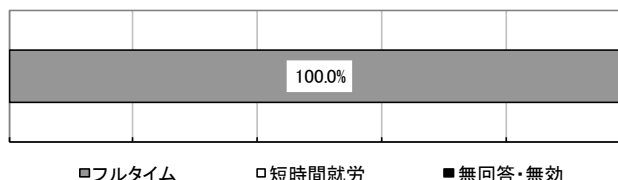
- 子育てや家事などに専念したい(働く予定予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に働きたい
- 無回答・無効

2に○をつけた方。希望する年齢

※対象者なし

3に○をつけた方。就労の希望

		票数	%
ア	フルタイム	1	100.0%
イ	短時間就労	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

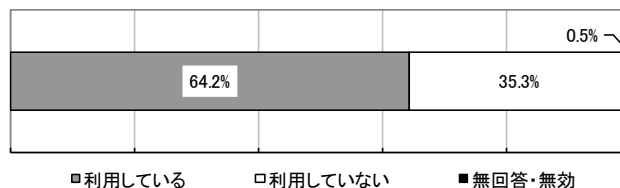


- フルタイム
- 短時間就労
- 無回答・無効

■お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 15 現在、幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育の事業」を利用しているか

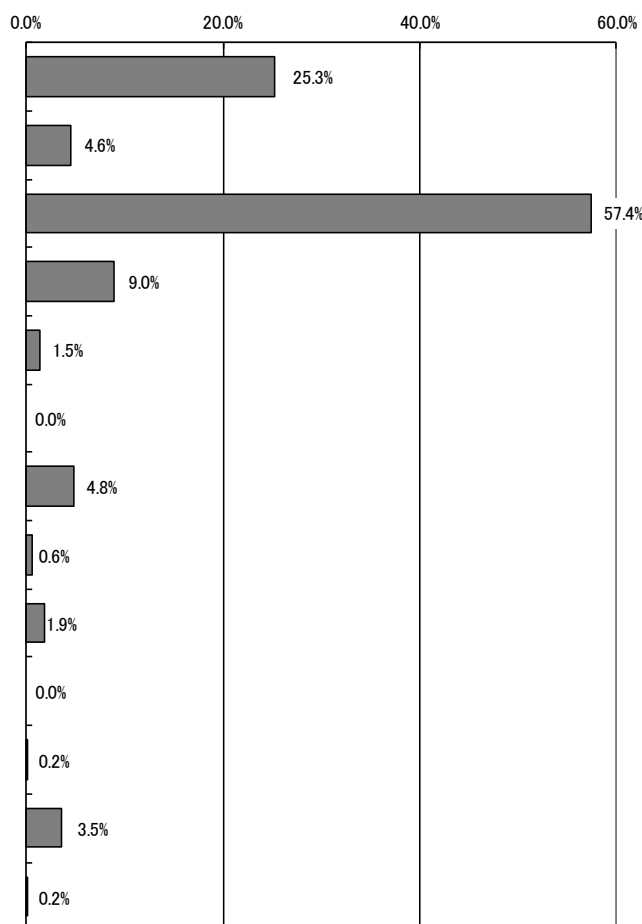
		票数	%
1	利用している	479	64.2%
2	利用していない	263	35.3%
	無回答・無効	4	0.5%
	合計	746	100.0%



「利用している」が64.2%、「利用していない」が35.3%となっています。

問 15-1 【問 15-1～問 15-4】は、問 15 で「1.利用している」に○をつけた方 平日どのような教育・保育の事業を利用しているか。(複数回答)

		票数	%
1	幼稚園(通常の就園時間の利用)	121	25.3%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	22	4.6%
3	認可保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	275	57.4%
4	認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	43	9.0%
5	小規模保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けたもの)	7	1.5%
6	家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	0	0.0%
7	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	23	4.8%
8	自治体の認証・認定保育施設(許可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	3	0.6%
9	その他の認可外の保育施設	9	1.9%
10	居宅訪問型保育(ベビーシッターのように保育者が子どもの家庭で保育する事業)	0	0.0%
11	ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)	1	0.2%
12	その他	17	3.5%
	無回答・無効	1	0.2%
	合計	522	109.0%

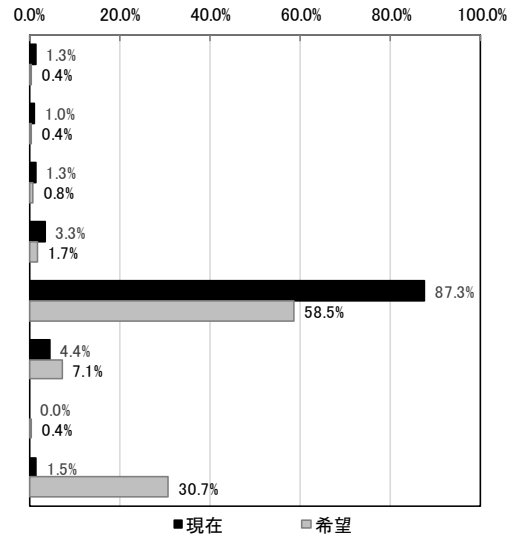


利用している平日の教育・保育の事業は、「認可保育園」が57.4%と最も多く、次いで「幼稚園」が25.3%、「認定こども園」が9.0%となっています。
 「その他」では、「こども発達支援センターのぞみ園」、「職場の託児所」、「保育園の一時預かり」等の回答がありました。

問 15-2 平日に教育・保育の事業をどのくらい利用しているか。また利用の希望について

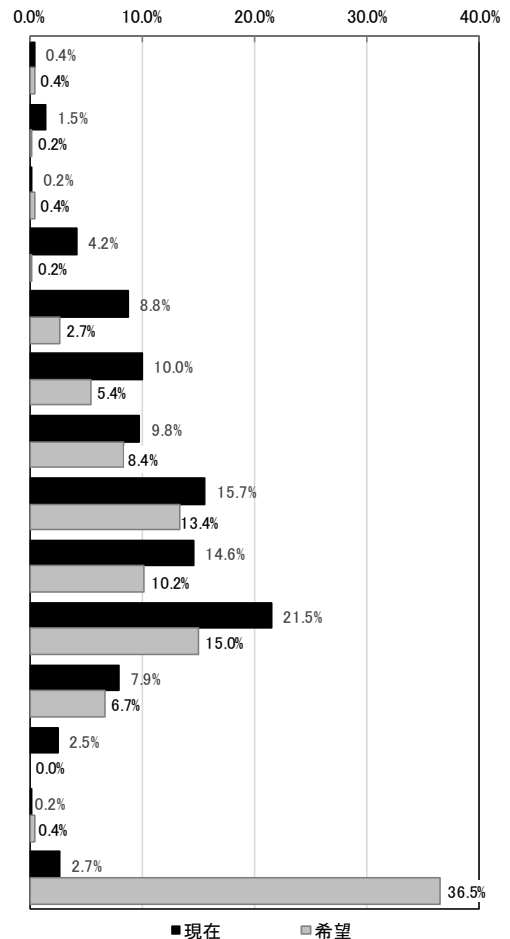
(1) 1 週当たり利用日数

		現在	%	希望	%
1	1日	6	1.3%	2	0.4%
2	2日	5	1.0%	2	0.4%
3	3日	6	1.3%	4	0.8%
4	4日	16	3.3%	8	1.7%
5	5日	418	87.3%	280	58.5%
6	6日	21	4.4%	34	7.1%
7	7日	0	0.0%	2	0.4%
	無回答・無効	7	1.5%	147	30.7%
	合計	479	100.0%	479	100.0%



(2) 1 日当たり利用時間

		現在	%	希望	%
1	1時間	2	0.4%	2	0.4%
2	2時間	7	1.5%	1	0.2%
3	3時間	1	0.2%	2	0.4%
4	4時間	20	4.2%	1	0.2%
5	5時間	42	8.8%	13	2.7%
6	6時間	48	10.0%	26	5.4%
7	7時間	47	9.8%	40	8.4%
8	8時間	75	15.7%	64	13.4%
9	9時間	70	14.6%	49	10.2%
10	10時間	103	21.5%	72	15.0%
11	11時間	38	7.9%	32	6.7%
12	12時間	12	2.5%	0	0.0%
13	13時間	1	0.2%	2	0.4%
	無回答・無効	13	2.7%	175	36.5%
	合計	479	100.0%	479	100.0%



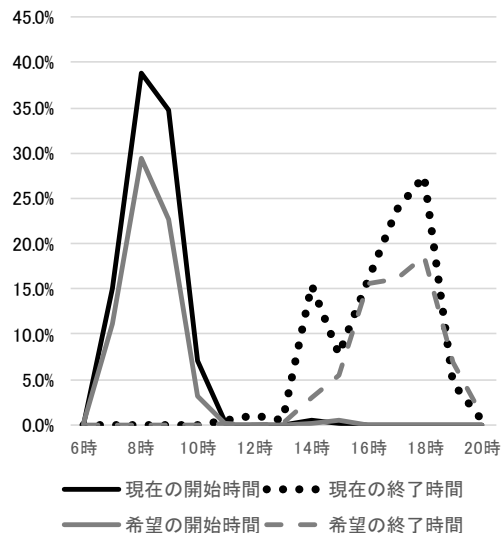
教育・保育の事業の週当たりの利用日数は、「現在」は「5日」の利用が87.3%、「希望」も「5日」が58.5%と最も多くなっています。

利用時間について、「現在」は「10時間」(21.5%)が最も多く、次いで「8時間」(15.7%)、「9時間」(14.6%)となっています。

利用希望時間は「10時間」(15.0%)が最も多く、次いで「8時間」(13.4%)となっています。

(3) 利用の開始時間・終了時間

		開始	%	終了	%
1	6時	0	0.0%	0	0.0%
2	7時	72	15.0%	0	0.0%
3	8時	186	38.8%	0	0.0%
4	9時	166	34.7%	0	0.0%
5	10時	34	7.1%	0	0.0%
6	11時	0	0.0%	2	0.4%
7	12時	0	0.0%	5	1.0%
8	13時	0	0.0%	2	0.4%
9	14時	2	0.4%	74	15.4%
10	15時	1	0.2%	37	7.7%
11	16時	0	0.0%	76	15.9%
12	17時	0	0.0%	114	23.8%
13	18時	0	0.0%	132	27.6%
14	19時	0	0.0%	22	4.6%
15	20時	0	0.0%	2	0.4%
	無効・無回答	18	3.8%	13	2.7%
	合計	479	100.0%	479	100.0%



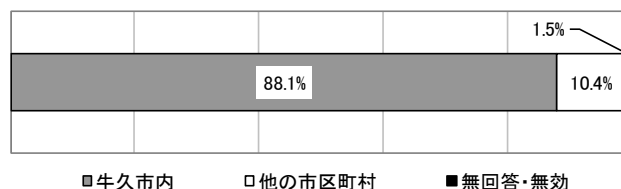
(4) 希望の利用開始・終了時間

		開始	%	終了	%
1	6時	1	0.2%	0	0.0%
2	7時	53	11.1%	0	0.0%
3	8時	141	29.4%	0	0.0%
4	9時	109	22.8%	0	0.0%
5	10時	15	3.1%	0	0.0%
6	11時	0	0.0%	1	0.2%
7	12時	0	0.0%	0	0.0%
8	13時	0	0.0%	1	0.2%
9	14時	1	0.2%	14	2.9%
10	15時	2	0.4%	26	5.4%
11	16時	0	0.0%	75	15.7%
12	17時	0	0.0%	77	16.1%
13	18時	0	0.0%	89	18.6%
14	19時	0	0.0%	33	6.9%
15	20時	0	0.0%	5	1.0%
	無効・無回答	157	32.8%	158	33.0%
	合計	479	100.0%	479	100.0%

「現在」の利用開始時間は7～9時がピークで、「8時」が38.8%と最も多くなっています。終了時間は、14時と16時～18時がピークで、「18時」が27.6%で最も多くなっています。「希望」の開始時間は同様に「8時」が29.4%と最も多く、終了時間も「18時」が18.6%と最も多くなっています。

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について

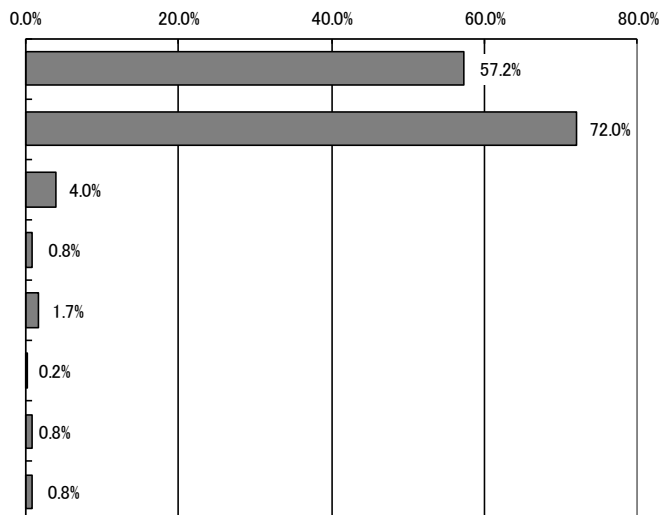
		票数	%
1	牛久市内	422	88.1%
2	他の市区町村	50	10.4%
	無回答・無効	7	1.5%
	合計	479	100.0%



利用している教育・保育事業等の実施場所は「牛久市内」が88.1%、「他の市町村」が10.4%となっています。その他の市町村は、「つくば市」、「土浦市」等が多く、ほか「稲敷市」、「龍ケ崎市」等の回答がありました。

問 15-4 平日に定期的な教育・保育の事業を利用されている理由について(複数回答)

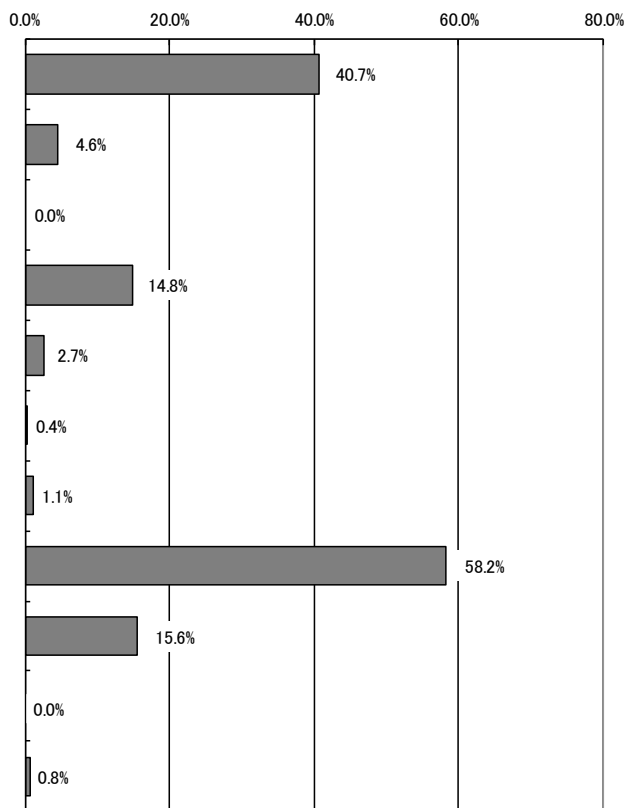
		票数	%
1	子どもの教育や発達のため	274	57.2%
2	子育て(教育を含む)をしている方が現在働いている	345	72.0%
3	子育て(教育を含む)をしている方が働く予定がある/求職中である	19	4.0%
4	子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	4	0.8%
5	子育て(教育を含む)をしている方が病気や障がいがある	8	1.7%
6	子育て(教育を含む)をしている方が学生である	1	0.2%
7	その他	4	0.8%
	無回答・無効	4	0.8%
	合計	659	137.6%



利用している理由としては、「子育てをしている方が現在働いている」が72.0%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が57.2%となっています。
 「その他」では、「妊娠、出産後」、「産後のため」、「子どもを見るのが大変だから」等の回答がありました。

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方 利用していない理由について(複数回答)

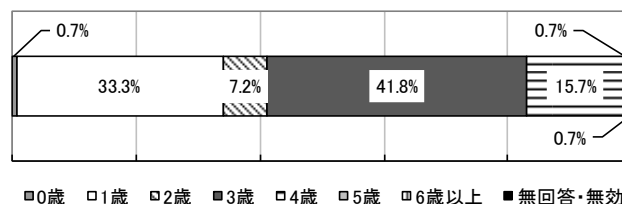
		票数	%
1	(子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない	107	40.7%
2	子どもの祖父母や親戚の人がみている	12	4.6%
3	近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
4	利用したいが、保育・教育の事業(幼稚園や保育所など)に空きがない	39	14.8%
5	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	7	2.7%
6	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	1	0.4%
7	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	3	1.1%
8	子どもがまだ小さいため〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている	153	58.2%
9	子育ては楽しいので、自分で育てたい	41	15.6%
10	その他	0	0.0%
	無回答・無効	2	0.8%
	合計	365	138.8%



利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている」が58.2%と最も多く、次いで「利用する必要がない」が40.7%となっています。

年齢(8を選んだ方)

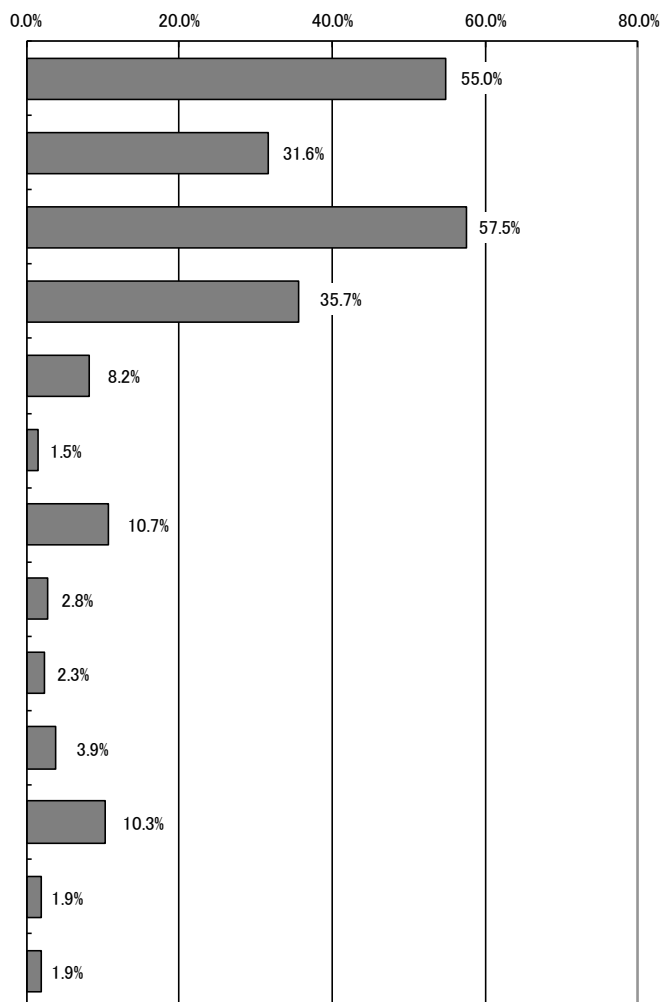
		票数	%
1	0歳	1	0.7%
2	1歳	51	33.3%
3	2歳	11	7.2%
4	3歳	64	41.8%
5	4歳	24	15.7%
6	5歳	1	0.7%
7	6歳以上	0	0.0%
	無回答・無効	1	0.7%
	合計	153	100.0%



子どもの年齢については、「3歳」が41.8%で最も多く、次いで「1歳」が33.3%となっています。「その他」では、「育休中のため」、「申請中のため」、「利用したいが入所条件に当てはまらない」、「空きがない」等の回答がありました。

問16 利用の有無にかかわらず、「定期的に」利用したい平日の教育・保育の事業について(複数回答)

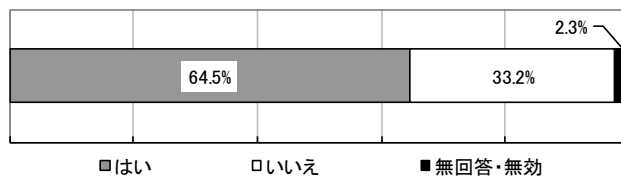
		票数	%
1	幼稚園(通常の就園時間の利用)	410	55.0%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	236	31.6%
3	認可保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	429	57.5%
4	認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	266	35.7%
5	小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	61	8.2%
6	家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育する事業)	11	1.5%
7	事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	80	10.7%
8	自治体の認証・認定保育施設(認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設)	21	2.8%
9	その他の認可外の保育施設	17	2.3%
10	居宅訪問型保育(ベビーシッターのように保育者が子どもの家庭で保育する事業)	29	3.9%
11	ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)	77	10.3%
12	その他	14	1.9%
	無回答・無効	14	1.9%
	合計	1665	223.2%



利用したい平日の教育・保育の事業については、「認可保育園」が57.5%と最も多く、次いで「幼稚園」が55.0%、「認定こども園」が35.7%となっています。「その他」では、「のぞみ園」、「居宅訪問型保育」等の回答がありました。

問 16-1 問 16 で「1. 幼稚園(通常の就園時間利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3~12(他の事業)にも○をした方 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を含む)の利用を強く希望するか

		票数	%
1	はい	165	64.5%
2	いいえ	85	33.2%
	無回答・無効	6	2.3%
	合計	256	100.0%

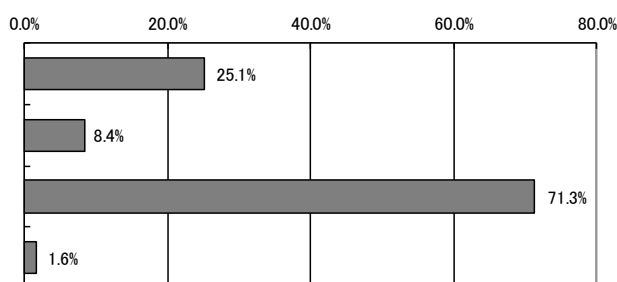


「強く希望する(はい)」が64.5%、「希望しない(いいえ)」が33.2%となっています。

■お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 現在、子育て広場を利用しているか(複数回答)

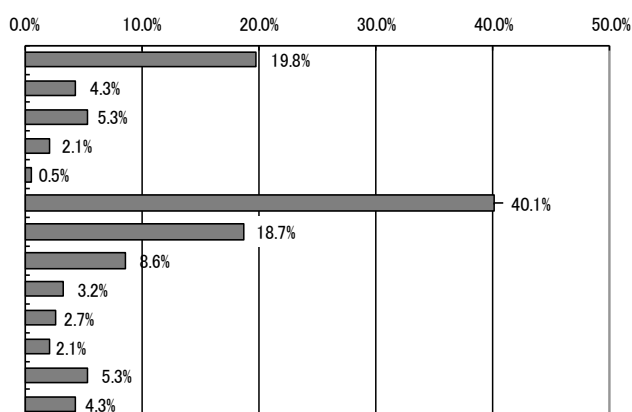
		票数	%
1	子育て広場(「すくすく広場」、「のびのび広場」、「ここここ広場」、「出張広場」等)	187	25.1%
2	認可保育園で実施している類似の事業(「ここここキッズ」「いちごくらぶ」等)	63	8.4%
3	利用していない	532	71.3%
	無回答・無効	12	1.6%
	合計	794	106.4%



問17で1と答えた方

■子育て広場の利用回数

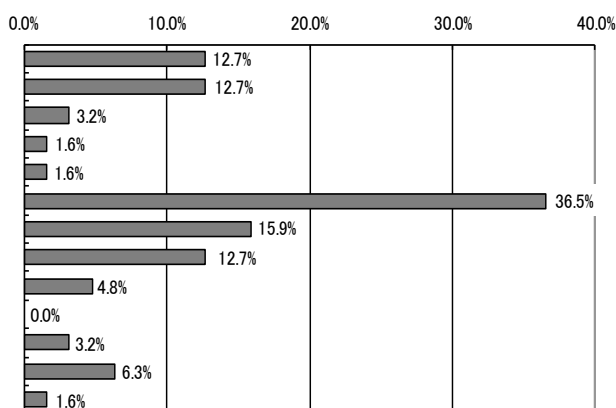
		票数	%
1	週に1回	37	19.8%
2	週に2回	8	4.3%
3	週に3回	10	5.3%
4	週に4回	4	2.1%
5	週に5回以上	1	0.5%
6	月に1回	75	40.1%
7	月に2回	35	18.7%
8	月に3回	16	8.6%
9	月に4回	6	3.2%
10	月に5回	5	2.7%
11	月に6回	4	2.1%
12	月に7回以上	10	5.3%
	無回答・無効	8	4.3%
	合計	219	117.1%



問17で2と答えた方

■認可保育園で実施している類似事業の利用回数

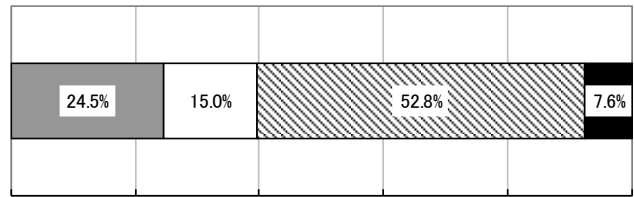
		票数	%
1	週に1回	8	12.7%
2	週に2回	8	12.7%
3	週に3回	2	3.2%
4	週に4回	1	1.6%
5	週に5回以上	1	1.6%
6	月に1回	23	36.5%
7	月に2回	10	15.9%
8	月に3回	8	12.7%
9	月に4回	3	4.8%
10	月に5回	0	0.0%
11	月に6回	2	3.2%
12	月に7回以上	4	6.3%
	無回答・無効	1	1.6%
	合計	71	112.7%



子育て広場については、「利用していない」が71.3%で最も多くなっています。
 利用している方は「子育て広場」(25.1%)の利用が多く、利用回数は「月に1回」が40.1%で最も多くなっています。
 認可保育園で実施している類似事業の利用回数も「月に1回」が36.5%と最も多くなっています。
 利用していない理由については、「まだ小さいため」、「行く時間がとれない」、「保育園(幼稚園)に通っているため」、「必要がないため」等の回答がありました。

問 18 子育て広場等について、「今は利用していないができれば今後利用したい」あるいは、「利用日数を増やしたい」と思うか

		票数	%
1	利用していないが、今後利用したい	183	24.5%
2	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	112	15.0%
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	394	52.8%
	無回答・無効	57	7.6%
	合計	746	100.0%

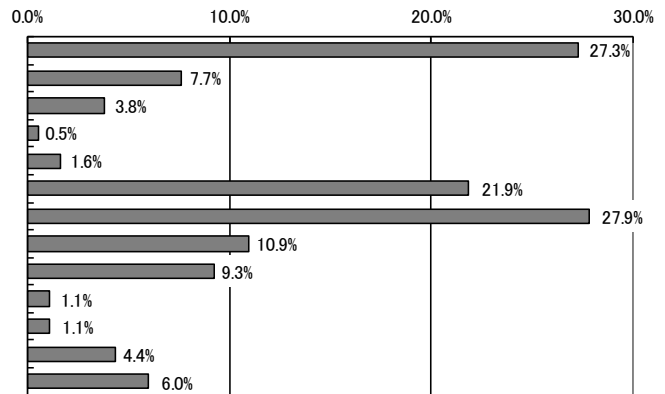


- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答・無効

問18で1と答えた方

■ 今後利用したい回数

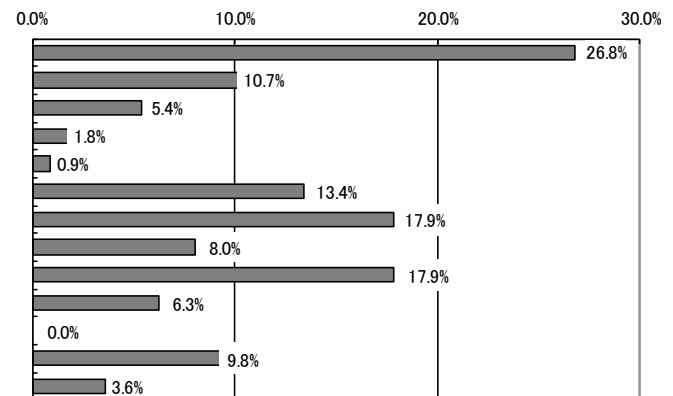
		票数	%
1	週に1回	50	27.3%
2	週に2回	14	7.7%
3	週に3回	7	3.8%
4	週に4回	1	0.5%
5	週に5回以上	3	1.6%
6	月に1回	40	21.9%
7	月に2回	51	27.9%
8	月に3回	20	10.9%
9	月に4回	17	9.3%
10	月に5回	2	1.1%
11	月に6回	2	1.1%
12	月に7回以上	8	4.4%
	無回答・無効	11	6.0%
	合計	226	123.5%



問18で2と答えた方

■ 今後増やしたい回数

		票数	%
1	週に1回	30	26.8%
2	週に2回	12	10.7%
3	週に3回	6	5.4%
4	週に4回	2	1.8%
5	週に5回以上	1	0.9%
6	月に1回	15	13.4%
7	月に2回	20	17.9%
8	月に3回	9	8.0%
9	月に4回	20	17.9%
10	月に5回	7	6.3%
11	月に6回	0	0.0%
12	月に7回以上	11	9.8%
	無回答・無効	4	3.6%
	合計	137	122.3%



子育て広場について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が52.8%と最も多く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が24.5%となっています。

今後利用したい回数は「月に2回」(27.9%)が最も多く、次いで「週に1回」(27.3%)となっています。また、今後増やしたい回数は「週に1回」(26.8%)が最も多く、次いで「月に2回」、「月に4回」(17.9%)となっています。

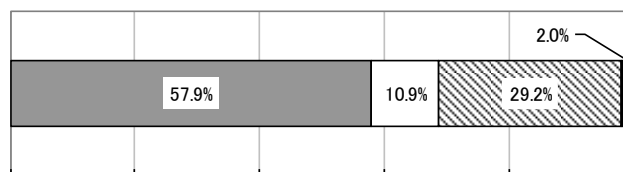
新たな利用や利用日数を増やしたいとは思わない理由については、「時間がない」、「今のままでいい」、「必要性を感じない」等の回答がありました。

■お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 19 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望について

(1) 土曜日

		票数	%
1	利用する必要はない	432	57.9%
2	ほぼ毎週利用したい	81	10.9%
3	月に1～2回は利用したい	218	29.2%
	無回答・無効	15	2.0%
	合計	746	100.0%



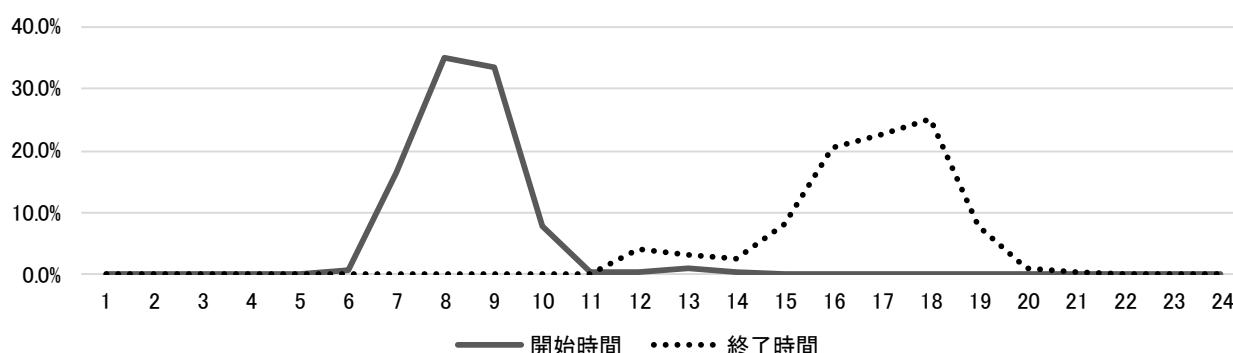
利用する必要はない ほぼ毎週利用したい
 月に1～2回は利用したい 無回答・無効

2、3を選択された方 利用したい時間帯
開始時間

		票数	%
	1時	0	0.0%
	2時	0	0.0%
	3時	0	0.0%
	4時	0	0.0%
	5時	0	0.0%
	6時	2	0.7%
	7時	49	16.4%
	8時	105	35.1%
	9時	100	33.4%
	10時	23	7.7%
	11時	1	0.3%
	12時	1	0.3%
	13時	3	1.0%
	14時	1	0.3%
	15時	0	0.0%
	16時	0	0.0%
	17時	0	0.0%
	18時	0	0.0%
	19時	0	0.0%
	20時	0	0.0%
	21時	0	0.0%
	22時	0	0.0%
	23時	0	0.0%
	24時	0	0.0%
	無回答・無効	14	4.7%
	合計	299	100.0%

終了時間

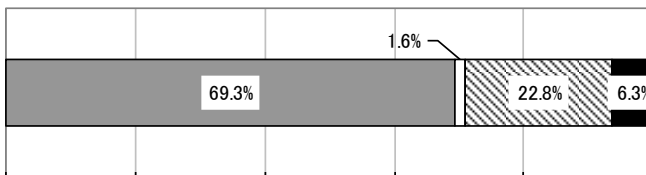
		票数	%
	1時	0	0.0%
	2時	0	0.0%
	3時	0	0.0%
	4時	0	0.0%
	5時	0	0.0%
	6時	0	0.0%
	7時	0	0.0%
	8時	0	0.0%
	9時	0	0.0%
	10時	0	0.0%
	11時	0	0.0%
	12時	12	4.0%
	13時	10	3.3%
	14時	8	2.7%
	15時	24	8.0%
	16時	61	20.4%
	17時	68	22.7%
	18時	75	25.1%
	19時	23	7.7%
	20時	3	1.0%
	21時	1	0.3%
	22時	0	0.0%
	23時	0	0.0%
	24時	0	0.0%
	無回答・無効	14	4.7%
	合計	299	100.0%



土曜日は「利用する必要はない」が57.9%と最も多くなっています。「利用したい」は合わせて40.1%で、主に「月に1～2回」(29.2%)の利用希望となっています。利用の希望開始時間は「8時」(35.1%)が最も多く、次いで「9時」(33.4%)となっており、終了時間は「18時」(25.1%)で最も多く、次いで「17時」(22.7%)、「16時」(20.4%)となっています。

(2) 日曜日・祝日

		票数	%
1	利用する必要はない	517	69.3%
2	ほぼ毎週利用したい	12	1.6%
3	月に1~2回は利用したい	170	22.8%
	無回答・無効	47	6.3%
	合計	746	100.0%



- 利用する必要はない
- ほぼ毎週利用したい
- 月に1~2回は利用したい
- 無回答・無効

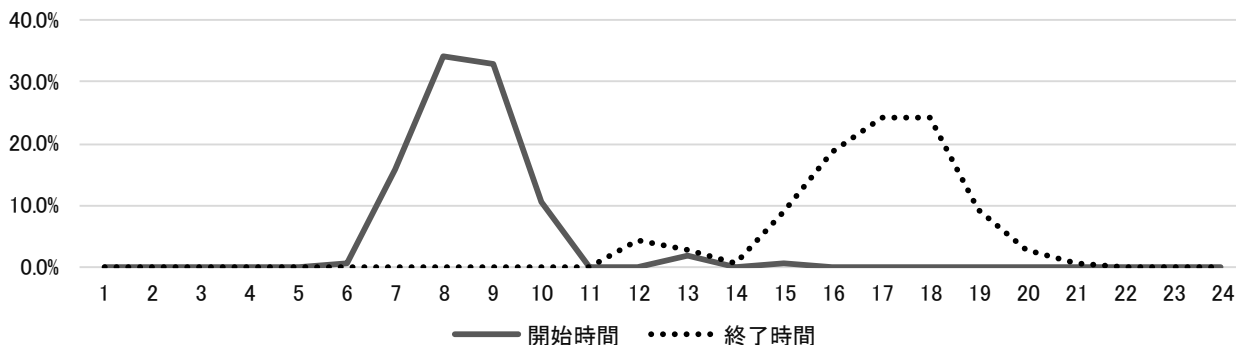
2、3を選択された方 利用したい時間帯

開始時間

	票数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	1	0.5%
7時	29	15.9%
8時	62	34.1%
9時	60	33.0%
10時	19	10.4%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	3	1.6%
14時	0	0.0%
15時	1	0.5%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
無回答・無効	7	3.8%
合計	182	100.0%

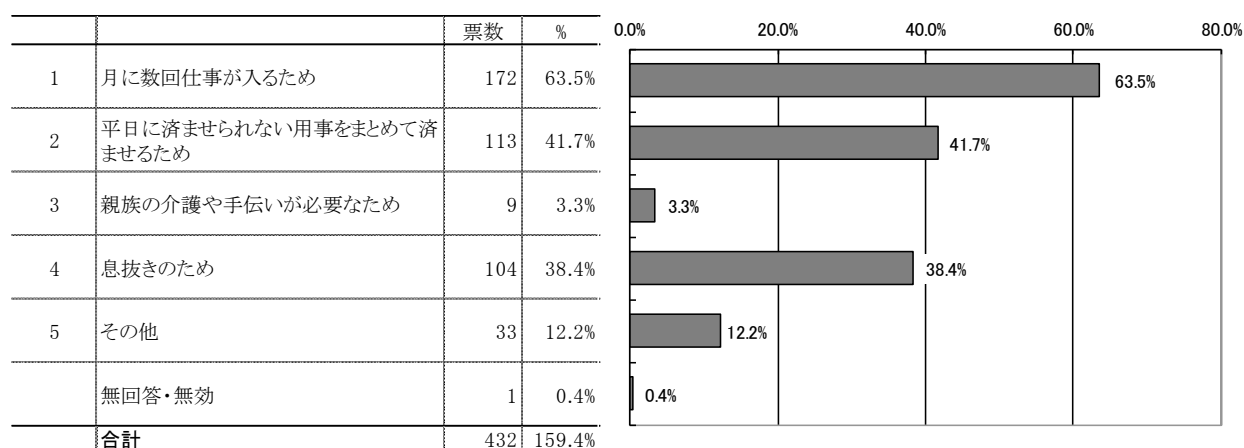
終了時間

	票数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	0	0.0%
7時	0	0.0%
8時	0	0.0%
9時	0	0.0%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	8	4.4%
13時	5	2.7%
14時	1	0.5%
15時	16	8.8%
16時	34	18.7%
17時	44	24.2%
18時	44	24.2%
19時	17	9.3%
20時	5	2.7%
21時	1	0.5%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
無回答・無効	7	3.8%
合計	182	100.0%



日曜日・祝日は「利用する必要はない」が69.3%と最も多くなっています。
 「利用したい」は合わせて24.4%で、主に「月に1~2回」(22.8%)の利用を希望しています。
 利用の希望開始時間は「8時」(34.1%)が最も多く、次いで「9時」(33.0%)となっており、終了時間は「17時」、「18時」がともに24.2%で最も多くなっています。

問 19-1 問 19(1)もしくは(2)で、「3月に1～2回は利用したい」に○をつけた方 毎週ではなく、たまに利用したい理由について(複数回答)

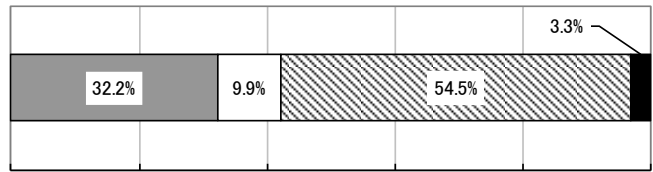


たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が63.5%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が41.7%、「息抜きのため」が38.4%となっています。

「その他」では、「急用の時」、「親以外と過ごす時間を作ってあげたい」、「通院のため」等の回答がありました。

問 20 「幼稚園」を利用されている方 夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望について

		票数	%
1	利用する必要はない	39	32.2%
2	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	12	9.9%
3	休みの期間中、週に数日利用したい	66	54.5%
	無回答・無効	4	3.3%
	合計	121	100.0%



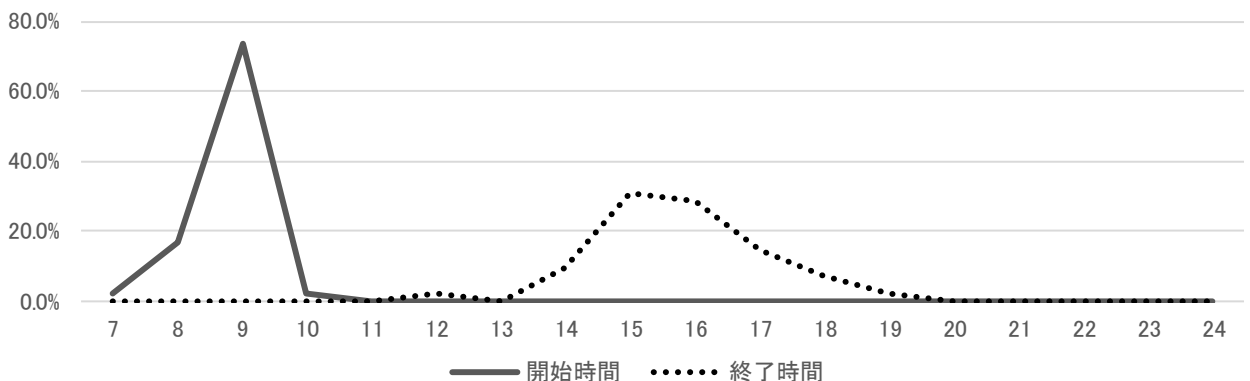
□利用する必要はない □休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 □休みの期間中、週に数日利用したい ■無回答・無効

2、3を選択された方 利用したい時間帯

開始時間	票数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	1	1.3%
7時	2	2.6%
8時	19	24.4%
9時	45	57.7%
10時	11	14.1%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
無回答・無効	0	0.0%
合計	78	100.0%

終了時間

終了時間	票数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	0	0.0%
7時	0	0.0%
8時	0	0.0%
9時	0	0.0%
10時	0	0.0%
11時	1	1.3%
12時	2	2.6%
13時	2	2.6%
14時	13	16.7%
15時	17	21.8%
16時	24	30.8%
17時	10	12.8%
18時	6	7.7%
19時	2	2.6%
20時	0	0.0%
21時	1	1.3%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
無回答・無効	0	0.0%
合計	78	100.0%

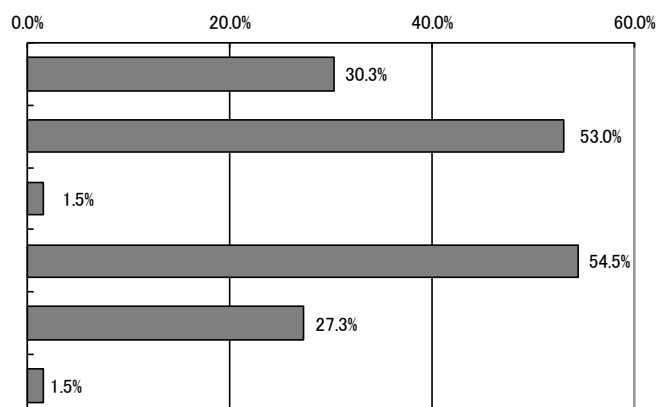


長期休暇中の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」、「休みの期間中、週に数日利用したい」が合わせて64.4%で、特に「週に数日利用したい」が54.5%と多くなっています。

希望の開始時間は「9時」(57.7%)が最も多く、次いで「8時」(24.4%)となっています。終了時間は「16時」(30.8%)で最も多く、次いで「15時」(21.8%)となっています。

問 20-1 問 20 で、「3週に数日利用したい」に○をつけた方 毎日ではなく、たまに利用したい理由について
(複数回答)

		票数	%
1	週に数回仕事が入るため	20	30.3%
2	買い物等の用事をまとめて済ませるため	35	53.0%
3	親等親族の介護や手伝いが必要なため	1	1.5%
4	息抜きのため	36	54.5%
5	その他	18	27.3%
	無回答・無効	1	1.5%
	合計	111	168.2%



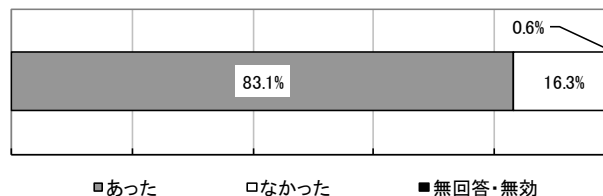
たまに利用したい理由については、「息抜きのため」が54.5%で最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が53.0%となっています。

「その他」では、「子どもが長時間自宅だと退屈してしまう」、「自分の体調が悪い時に利用したい」、「子どもが友達と遊びたいと言うので」等の回答がありました。

■お子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方(問 15 で 1に○))

問 21 この1年間にお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはあるか

		票数	%
1	あった	398	83.1%
2	なかった	78	16.3%
	無回答・無効	3	0.6%
	合計	479	100.0%

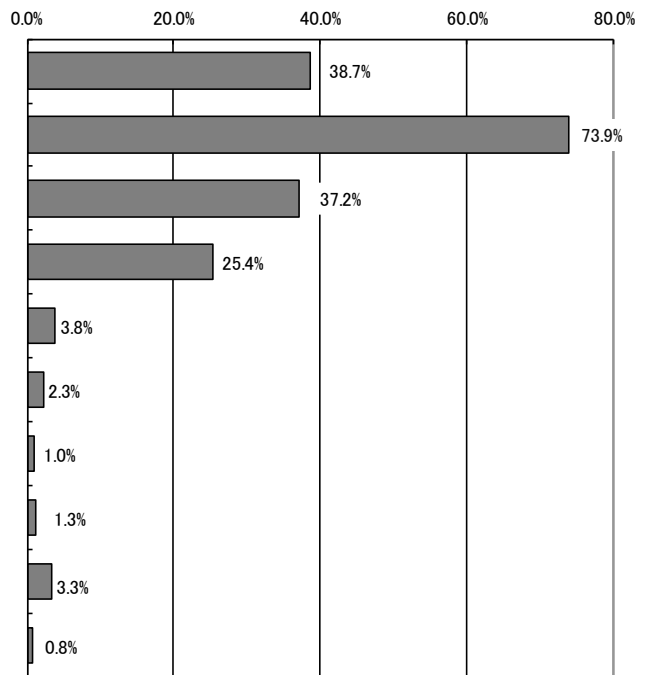


利用出来なかったことが「あった」が83.1%、「なかった」が16.3%となっています。

問 21-1 問 21「あった」に○をした方 教育・保育事業が利用できなかった場合、この1年間に行った対処方法と休んだ日数について(複数回答)

1年間の対処方法

		票数	%
ア	父親が休んだ	154	38.7%
イ	母親が休んだ	294	73.9%
ウ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	148	37.2%
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	101	25.4%
オ	病児・病後児の保育を利用した	15	3.8%
カ	ベビーシッターや民間の一時預かりの事業所を利用した	9	2.3%
キ	ファミリーサポートセンターを利用した	4	1.0%
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	5	1.3%
ケ	その他	13	3.3%
	無回答・無効	3	0.8%
	合計	746	187.4%



利用出来なかった場合の対処法としては、「母親が休んだ」が73.9%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が38.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が37.2%となっています。「その他」では、「職場に連れて行った」、「育児休暇中の親が面倒を見た」等の回答がありました。

休んだ日数

ア.父親が休んだ

		票数	%
1	1日	43	27.9%
2	2日	40	26.0%
3	3日	20	13.0%
4	4日	5	3.2%
5	5日	19	12.3%
6	6日	4	2.6%
7	7日	4	2.6%
8	8日	2	1.3%
9	9日	0	0.0%
10	10日	9	5.8%
11	15日	1	0.6%
12	20日	1	0.6%
13	30日以上	1	0.6%
	無回答・無効	5	3.2%
	合計	154	100.0%

イ.母親が休んだ

		票数	%
1	1日	20	6.8%
2	2日	23	7.8%
3	3日	29	9.9%
4	4日	6	2.0%
5	5日	59	20.1%
6	6日	3	1.0%
7	7日	15	5.1%
8	8日	6	2.0%
9	9日	0	0.0%
10	10日	57	19.4%
11	12日	4	1.4%
12	13日	1	0.3%
13	14日	6	2.0%
14	15日	14	4.8%
15	16日	2	0.7%
16	20日	14	4.8%
17	22日	1	0.3%
18	23日	1	0.3%
19	25日	2	0.7%
20	28日	1	0.3%
21	30日以上	13	4.4%
	無回答・無効	17	5.8%
	合計	294	100.0%

母親が休んだ日数は「5日」が20.1%で最も多く、次いで「10日」が19.4%となっています。父親が休んだ日数は「1日」が27.9%で最も多く、次いで「2日」が26.0%となっています。

ウ.親族・知人に子どもをみてもらった日数

		票数	%
1	1日	21	14.2%
2	2日	12	8.1%
3	3日	22	14.9%
4	4日	4	2.7%
5	5日	35	23.6%
6	6日	3	2.0%
7	7日	7	4.7%
8	8日	3	2.0%
9	9日	0	0.0%
10	10日	19	12.8%
11	11日	1	0.7%
12	13日	1	0.7%
13	20日	7	4.7%
14	30日以上	4	2.7%
	無回答・無効	9	6.1%
	合計	148	100.0%

エ.父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

		票数	%
1	1日	9	8.9%
2	2日	12	11.9%
3	3日	11	10.9%
4	4日	5	5.0%
5	5日	6	5.9%
6	6日	0	0.0%
7	7日	7	6.9%
8	8日	3	3.0%
9	9日	0	0.0%
10	10日	11	10.9%
11	12日	1	1.0%
12	14日	2	2.0%
13	15日	8	7.9%
14	18日	1	1.0%
15	20日	5	5.0%
16	25日	2	2.0%
17	30日以上	9	8.9%
	無回答・無効	9	8.9%
	合計	101	100.0%

オ.病児・病後児の保育を利用した日数

		票数	%
1	1日	8	53.3%
2	2日	2	13.3%
3	3日	1	6.7%
4	4日	0	0.0%
5	5日	2	13.3%
6	6日	1	6.7%
	無回答・無効	1	6.7%
	合計	15	100.0%

カ.ベビーシッター・民間の一時預かりを利用した日数

		票数	%
1	1日	5	55.6%
2	2日	1	11.1%
3	3日	2	22.2%
4	4日	0	0.0%
5	5日	1	11.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	9	100.0%

キ.ファミリーサポートセンターを利用した日数

		票数	%
1	1日	4	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	4	100.0%

ク.仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

		票数	%
1	1日	5	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	5	100.0%

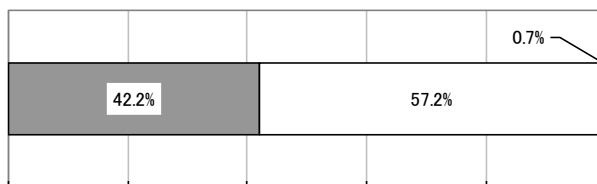
ケ.その他

		票数	%
1	1日	4	30.8%
2	2日	1	7.7%
3	3日	1	7.7%
4	5日	1	7.7%
5	7日	2	15.4%
6	10日	1	7.7%
	無回答・無効	3	23.1%
	合計	13	100.0%

問 A 群 問 21-1 で「ア」「イ」いずれかに○をした方

問 21-2 問 21-1 で「ア」「イ」いずれかに○をした方 休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか。 利用したい場合、利用希望日数について

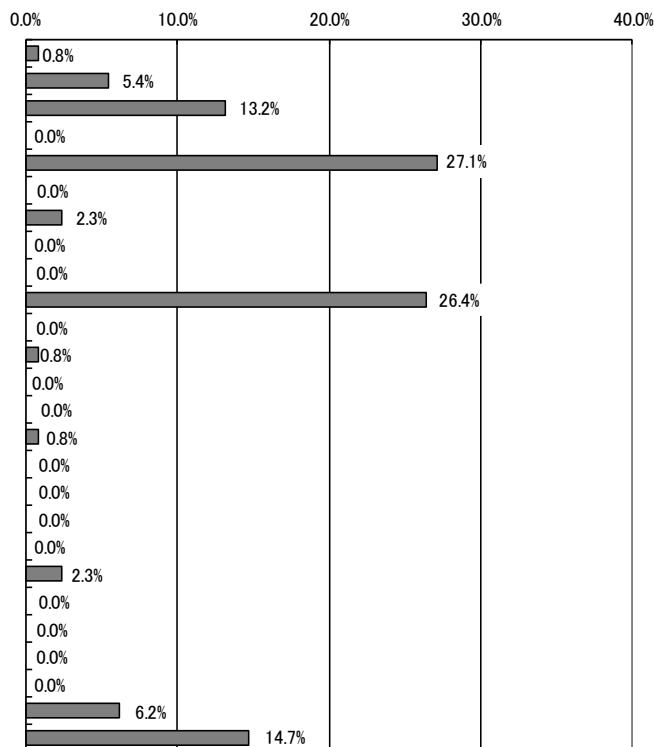
		票数	%
1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	129	42.2%
2	利用したいとは思わない	175	57.2%
	無回答・無効	2	0.7%
	合計	306	100.0%



□ できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
 □ 利用したいとは思わない
 ■ 無回答・無効

病児・病後児のための保育施設を利用したい日数(年間)

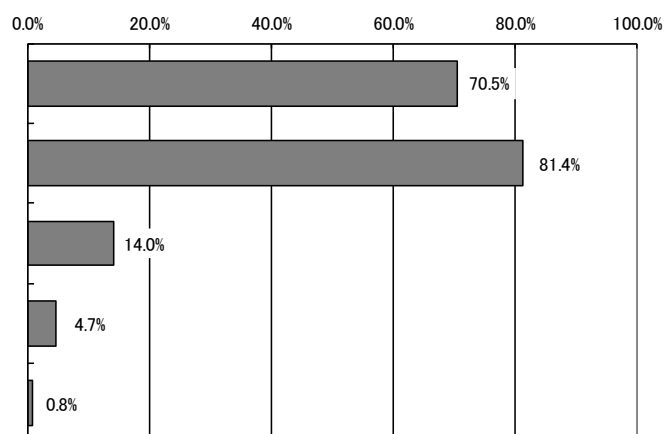
		票数	%
1	1日	1	0.8%
2	2日	7	5.4%
3	3日	17	13.2%
4	4日	0	0.0%
5	5日	35	27.1%
6	6日	0	0.0%
7	7日	3	2.3%
8	8日	0	0.0%
9	9日	0	0.0%
10	10日	34	26.4%
11	11日	0	0.0%
12	12日	1	0.8%
13	13日	0	0.0%
14	14日	0	0.0%
15	15日	1	0.8%
16	16日	0	0.0%
17	17日	0	0.0%
18	18日	0	0.0%
19	19日	0	0.0%
20	20日	3	2.3%
21	21日	0	0.0%
22	22日	0	0.0%
23	23日	0	0.0%
24	24日	0	0.0%
25	25日以上	8	6.2%
	無回答・無効	19	14.7%
	合計	129	100.0%



「利用したいとは思わない」が57.2%、「できれば利用したい」が42.2%となっています。利用の希望日数は「5日」が27.1%で最も多く、次いで「10日」が26.4%となっています。

問 21-3 問 21-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方
子どもを預ける場合、望ましい事業形態について(複数回答)

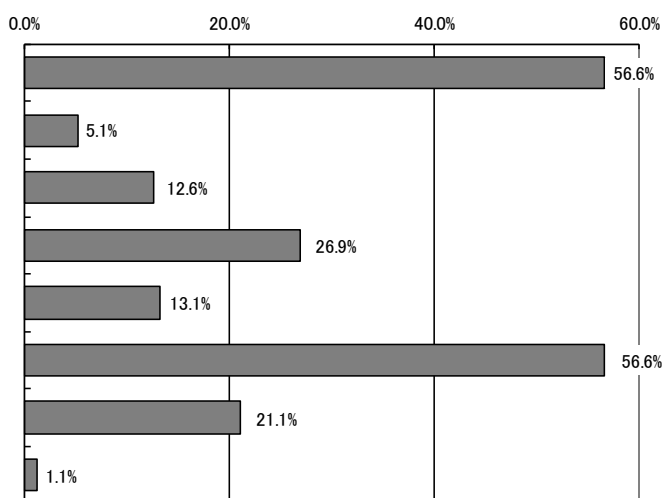
		票数	%
1	他の施設(例:幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業	91	70.5%
2	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	105	81.4%
3	地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例:ファミリーサポートセンター等)	18	14.0%
4	その他	6	4.7%
	無回答・無効	1	0.8%
	合計	221	171.3%



望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が81.4%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が70.5%となっています。「その他」では、「病児保育専門の看護師がいる施設」、「預かってもらえるなら何でも良い」等の回答がありました。

問 21-4 問 21-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方 利用したいと思わない理由(複数回答)

		票数	%
1	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	99	56.6%
2	地域の事業の質に不安がある	9	5.1%
3	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	22	12.6%
4	利用料がかかる・高い	47	26.9%
5	利用料がわからない	23	13.1%
6	親が仕事を休んで対応する	99	56.6%
7	その他	37	21.1%
8	無回答・無効	2	1.1%
	合計	338	193.1%



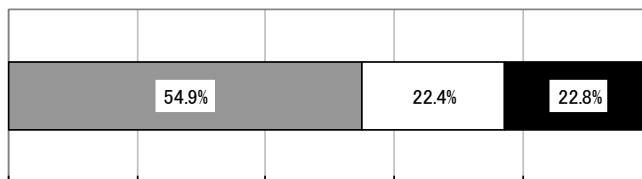
利用したいと思わない理由については、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」、「親が仕事を休んで対応する」がともに56.6%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が26.9%となっています。

「その他」では、「子どもに精神的負担をかけたくない」、「利用料が高い」、「利用できる病気の種類が特定されているため」等の回答がありました。

問 B 群 問 22-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに○をした方

問 21-5 問 21-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに○をした方 休んだ際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか。「ウ」～「ケ」に記入した日数のうち仕事を休んで看たかった日数について

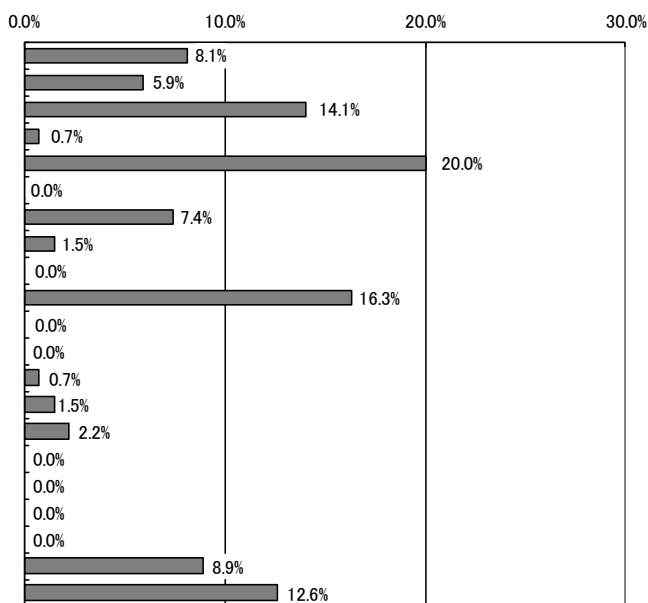
		票数	%
1	できれば仕事を休んでみたい	135	54.9%
2	休んでみることは非常に難しい	55	22.4%
	無回答・無効	56	22.8%
	合計	246	100.0%



できれば仕事を休んでみたい 休んでみることは非常に難しい
 無回答・無効

できれば仕事を休んでみたかった日数

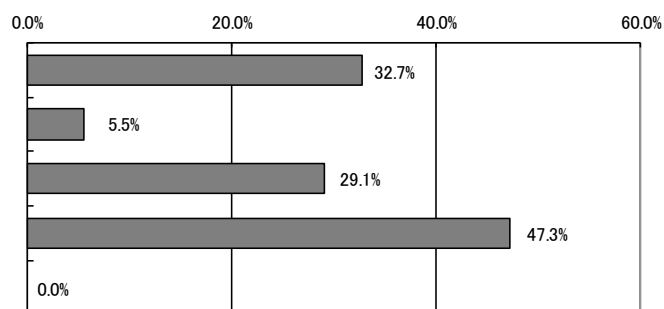
		票数	%
1	1日	11	8.1%
2	2日	8	5.9%
3	3日	19	14.1%
4	4日	1	0.7%
5	5日	27	20.0%
6	6日	0	0.0%
7	7日	10	7.4%
8	8日	2	1.5%
9	9日	0	0.0%
10	10日	22	16.3%
11	11日	0	0.0%
12	12日	0	0.0%
13	13日	1	0.7%
14	14日	2	1.5%
15	15日	3	2.2%
16	16日	0	0.0%
17	17日	0	0.0%
18	18日	0	0.0%
19	19日	0	0.0%
20	20日以上	12	8.9%
	無回答・無効	17	12.6%
	合計	135	100.0%



「できれば仕事を休んで看たい」が54.9%で最も多く、次いで「休んでみるのが難しい」は22.4%となっています。休んで看たかった日数は「5日」(20.0%)で最も多く、「10日」(16.3%)、「3日」(14.1%)となっています。

問 21-6 問 21-5 で「2. 休んでみることは非常に難しい」に○をつけた方
休んでみることは非常に難しい理由について(複数回答)

		票数	%
1	子どもの看護を理由に休みがとれない	18	32.7%
2	自営業なので休めない	3	5.5%
3	休暇日数が足りないので休めない	16	29.1%
4	その他	26	47.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	63	114.5%

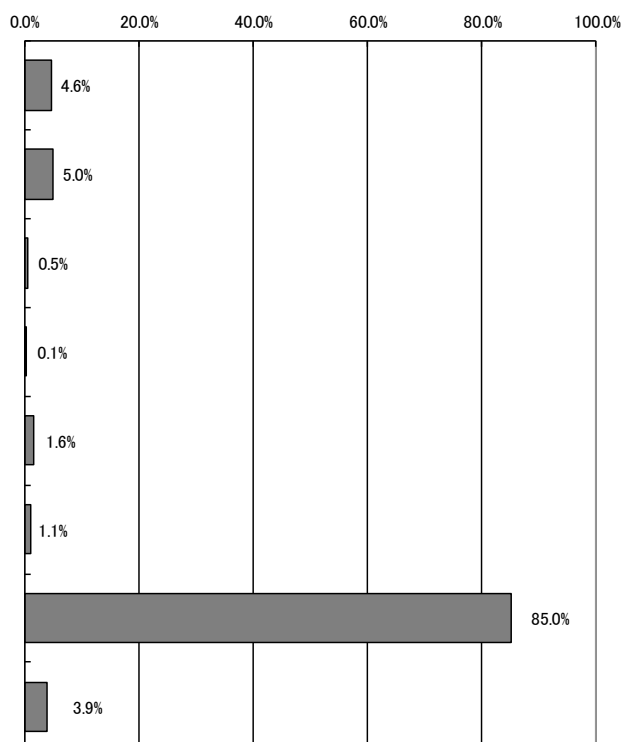


「その他」が47.3%で最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が32.7%、「休暇日数が足りないので休めない」が29.1%となっています。
「その他」では、「仕事の都合でどうしても休めない」、「就労していない親が看護をするため」、「急な休みを取りづらい」等の回答がありました。

■お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 22 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はあるか。ある場合は、1年間のおおよその利用日数について

		票数	%
1	一時預かり(私用など理由を問わずに保育所や幼稚園などで一時的に子どもを保育する事業)	34	4.6%
2	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	37	5.0%
3	ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	4	0.5%
4	夜間養護等事業:トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	1	0.1%
5	ベビーシッターや民間の一時預かりの事業所	12	1.6%
6	その他	8	1.1%
7	利用していない	634	85.0%
	無回答・無効	29	3.9%
	合計	759	101.7%



不定期に利用している事業については、「利用していない」が85.0%で最も多くなっています。利用している場合、「幼稚園の預かり保育」が5.0%、「一時預かり」が4.6%となっています。「その他」では、「病院内のナーサリースクール」等の回答がありました。

1.一時預かりの利用日数

		票数	%
1	1日	3	8.8%
2	2日	4	11.8%
3	3日	4	11.8%
4	5日	6	17.6%
5	8日	1	2.9%
6	10日	3	8.8%
7	12日	2	5.9%
8	15日	1	2.9%
9	16日	1	2.9%
10	20日	1	2.9%
11	30日以上	4	11.8%
	無回答・無効	4	11.8%
	合計	34	100.0%

3.ファミリー・サポート・センター利用日数

		票数	%
1	3日	1	25.0%
2	12日	1	25.0%
3	15日	1	25.0%
4	30日以上	1	25.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	4	100.0%

5.ベビーシッター・民間の一時預かりの利用日数

		票数	%
1	1日	1	8.3%
2	2日	2	16.7%
3	3日	3	25.0%
4	4日	2	16.7%
5	5日	1	8.3%
6	10日	2	16.7%
7	20日	1	8.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	12	100.0%

2.幼稚園の預かり保育の利用日数

		票数	%
1	1日	1	2.7%
2	2日	1	2.7%
3	3日	4	10.8%
4	4日	1	2.7%
5	5日	3	8.1%
6	7日	1	2.7%
7	10日	10	27.0%
8	15日	1	2.7%
9	20日	3	8.1%
10	30日以上	9	24.3%
	無回答・無効	3	8.1%
	合計	37	100.0%

4.夜間養護等事業(トワイライトステイ)の利用日数

		票数	%
1	5日	1	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

6.その他

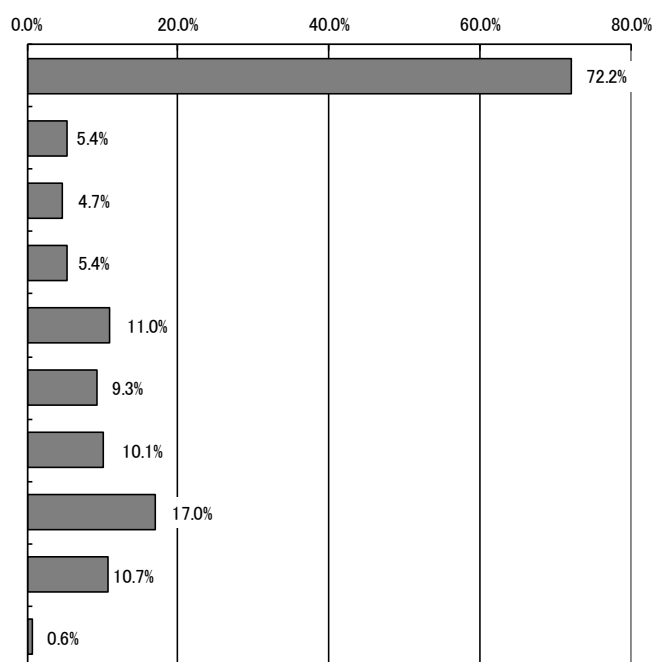
		票数	%
1	1日	1	12.5%
2	3日	1	12.5%
3	5日	1	12.5%
4	30日以上	3	37.5%
	無回答・無効	2	25.0%
	合計	8	100.0%

利用日数は「幼稚園の預かり保育」で「10日」(27.0%)が最も多くなっていますが、「30日以上」(24.3%)も多くなっています。

「一時預かり」では「5日」(17.6%)が最も多く、次いで「2日」、「3日」、「30日以上」(11.8%)となっています。

問 22-1 問 22 で「7. 利用していない」に○した方 現在利用していない理由について（複数回答）

		票数	%
1	特に利用する必要がない	458	72.2%
2	利用したい事業が地域にない	34	5.4%
3	地域の事業の質に不安がある	30	4.7%
4	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	34	5.4%
5	利用料がかかる・高い	70	11.0%
6	利用料がわからない	59	9.3%
7	自分が事業の対象者になるのかわからない	64	10.1%
8	事業の利用方法(手続き等)がわからない	108	17.0%
9	その他	68	10.7%
	無回答・無効	4	0.6%
	合計	929	146.5%

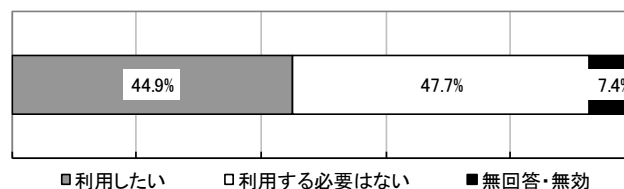


「特に利用する必要がない」が 72.2%で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 17.0%となっています。

「その他」では、「どこの園も一時保育を行っていなかったため」、「利用したい事業や施設に空きがなかった」等の回答が多く、利用したい層に情報が届いていないことが課題です。

問 23 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望について 利用希望の場合は、利用目的別の年間の希望日数について

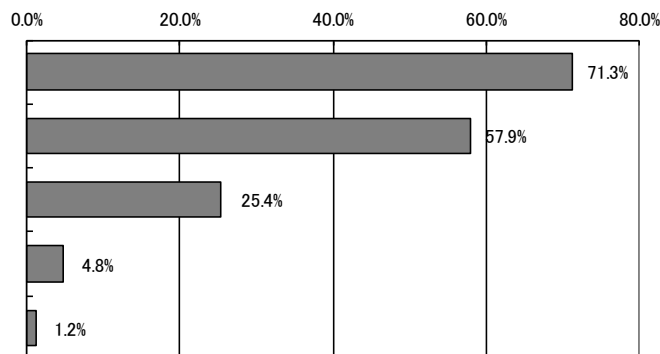
		票数	%
1	利用したい	335	44.9%
2	利用する必要はない	356	47.7%
	無回答・無効	55	7.4%
	合計	746	100.0%



「利用する必要はない」が 47.7%、「利用したい」は 44.9%となっています。

1と答えた方 利用目的

		票数	%
ア	私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	239	71.3%
イ	冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	194	57.9%
ウ	不定期の就労	85	25.4%
エ	その他	16	4.8%
	無回答・無効	4	1.2%
	合計	538	160.6%



利用したい場合、目的は「私用、リフレッシュ目的」が71.3%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が57.9%となっています。

「その他」では、「体調不良や病気の時」、「祖父母が不在の時」等の回答がありました。

事業の利用希望日数については、「私用」は「12日」が23.8%で最も多くなっています。

「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は「5日」が19.6%で最も多くなっています。

必要な日数

ア 私用、リフレッシュ目的での利用希望日数

		票数	%
1	1日	6	2.5%
2	2日	7	2.9%
3	3日	22	9.2%
4	4日	2	0.8%
5	5日	24	10.0%
6	6日	9	3.8%
7	7日	5	2.1%
8	10日	52	21.8%
9	12日	57	23.8%
10	14日	1	0.4%
11	15日	3	1.3%
12	16日	1	0.4%
13	20日	11	4.6%
14	24日	8	3.3%
15	25日以上	21	8.8%
	無回答・無効	10	4.2%
	合計	239	100.0%

イ 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等での利用希望日数

		票数	%
1	1日	9	4.6%
2	2日	19	9.8%
3	3日	28	14.4%
4	4日	3	1.5%
5	5日	38	19.6%
6	6日	9	4.6%
7	7日	5	2.6%
8	8日	2	1.0%
9	10日	32	16.5%
10	12日	23	11.9%
11	14日	1	0.5%
12	15日	3	1.5%
13	20日	6	3.1%
14	25日以上	6	3.1%
	無回答・無効	10	5.2%
	合計	194	100.0%

ウ 不定期の就労での利用希望日数

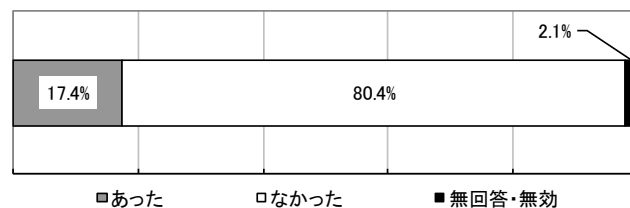
		票数	%
1	1日	2	2.4%
2	2日	3	3.5%
3	3日	9	10.6%
4	5日	8	9.4%
5	6日	1	1.2%
6	7日	1	1.2%
7	8日	2	2.4%
8	9日	1	1.2%
9	10日	18	21.2%
10	12日	7	8.2%
11	15日	2	2.4%
12	20日	5	5.9%
13	24日	3	3.5%
14	25日以上	17	20.0%
	無回答・無効	6	7.1%
	合計	85	100.0%

エ その他の利用希望日数

		票数	%
1	1日	1	6.3%
2	2日	1	6.3%
3	3日	5	31.3%
4	5日	1	6.3%
5	10日	4	25.0%
6	15日	1	6.3%
7	25日以上	1	6.3%
	無回答・無効	2	12.5%
	合計	16	100.0%

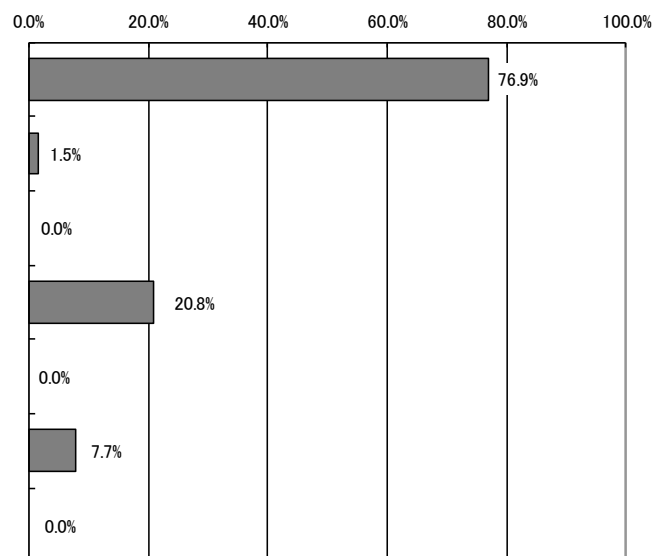
問 24 この1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか(預け先が見つからなかった場合も含む) あった場合、対処方法と日数(複数回答)

		票数	%
1	あった	130	17.4%
2	なかった	600	80.4%
	無回答・無効	16	2.1%
	合計	746	100.0%



1と答えた方 1年間の対処方法

		票数	%
ア	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	100	76.9%
イ	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	2	1.5%
ウ	イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0%
エ	仕方なく子どもを連れていった	27	20.8%
オ	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0%
カ	その他	10	7.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	139	106.9%



泊りがけで保護者以外にみてもらったことが「なかった」が80.4%、「あった」が17.4%となっています。あった場合は、「親族・知人にみてもらった」が76.9%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを連れていった」が20.8%となっています。

「その他」では、「預け先がなく用事を断った」、「夜間の企業保育園へ連れて行った」、「同じマンションの人にみてもらった」等の回答がありました。

日数(年間)

ア (同居者を含む)親族・知人にみてもらった日数

		票数	%
1	1日	18	18.0%
2	2日	16	16.0%
3	3日	17	17.0%
4	4日	7	7.0%
5	5日	9	9.0%
6	7日	7	7.0%
7	8日	1	1.0%
8	10日	5	5.0%
9	12日	1	1.0%
10	15日	1	1.0%
11	18日	1	1.0%
12	20日以上	10	10.0%
	無回答・無効	7	7.0%
	合計	100	100.0%

イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した日数

		票数	%
1	5日	1	50.0%
2	7日	1	50.0%
	合計	2	100.0%

ウ イ以外の保育事業を利用した日数

オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

※対象者なし

エ 仕方なく子どもを連れていった日数

		票数	%
1	1日	4	14.8%
2	2日	9	33.3%
3	3日	4	14.8%
4	4日	1	3.7%
5	5日	2	7.4%
6	6日	1	3.7%
20	20日以上	1	3.7%
	無回答・無効	5	18.5%
	合計	27	100.0%

カ その他の日数

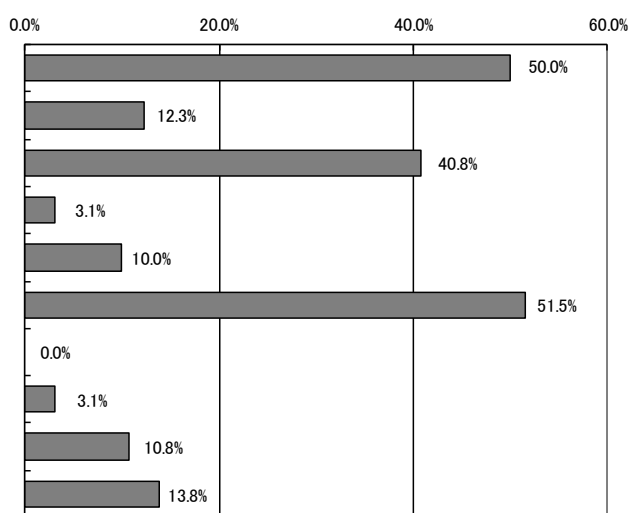
		票数	%
1	1日	2	20.0%
2	2日	3	30.0%
	無回答・無効	5	50.0%
	合計	10	100.0%

泊りがけで「親族・知人にみてもらった」日数は「1日」が18.0%で最も多く、次いで「3日」が17.0%となっています。「仕方なく同行させた」日数は、「2日」が33.3%で最も多くなっています。

■お子さんが5歳以上である方 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問25 小学校低学年(1~3年生)時の、放課後の時間を過ごさせたい場所と週当たり希望日数について(放課後児童クラブ(学童保育))の場合には、利用を希望する時間も

		票数	%
1	自宅	65	50.0%
2	祖父母宅や友人・知人宅	16	12.3%
3	習い事	53	40.8%
4	児童館※	4	3.1%
5	放課後カッパ塾	13	10.0%
6	放課後児童クラブ(学童保育)	67	51.5%
7	ファミリーサポートセンター	0	0.0%
8	放課後等デイサービス	4	3.1%
9	その他(区民会館、公園など)	14	10.8%
	無回答・無効	18	13.8%
	合計	254	195.4%



※児童館は現在牛久市にはありません。

低学年時は「放課後児童クラブ」が51.5%で最も多く、次いで「自宅」が50.0%、「習い事」が40.8%となっています。

1. 自宅ですごさせたい日数

		票数	%
1	1日	11	16.9%
2	2日	17	26.2%
3	3日	10	15.4%
4	4日	7	10.8%
5	5日	13	20.0%
6	7日	2	3.1%
	無回答・無効	5	7.7%
	合計	65	100.0%

3. 習い事(音楽、スポーツ、学習塾など)ですごさせたい日数

		票数	%
1	1日	22	41.5%
2	2日	15	28.3%
3	3日	13	24.5%
	無回答・無効	3	5.7%
	合計	53	100.0%

5. 放課後カッパ塾ですごさせたい日数

		票数	%
1	1日	6	46.2%
2	2日	5	38.5%
	無回答・無効	2	15.4%
	合計	13	100.0%

6. 放課後児童クラブ(学童保育)ですごさせたい日数

		票数	%
1	2日	10	14.9%
2	3日	13	19.4%
3	4日	8	11.9%
4	5日	33	49.3%
5	6日	1	1.5%
	無回答・無効	2	3.0%
	合計	67	100.0%

7. ファミリーサポートセンターですごさせたい日数

※対象者なし

8. 放課後等デイサービスですごさせたい日数

		票数	%
1	1日	1	25.0%
2	3日	1	25.0%
3	5日	1	25.0%
4	6日	1	25.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	4	100.0%

2. 祖父母宅や友人・知人宅ですごさせたい日数

		票数	%
1	1日	9	56.3%
2	2日	1	6.3%
3	3日	3	18.8%
4	5日	2	12.5%
	無回答・無効	1	6.3%
	合計	16	100.0%

4. 児童館ですごさせたい日数

		票数	%
1	1日	3	75.0%
2	4日	1	25.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	4	100.0%

放課後児童クラブの利用希望時間

		票数	%
1	16時まで	5	7.5%
2	17時まで	17	25.4%
3	18時まで	30	44.8%
4	19時まで	12	17.9%
	無回答・無効	3	4.5%
	合計	67	100.0%

9. その他(区民会館、公園など)

		票数	%
1	1日	3	21.4%
2	2日	5	35.7%
3	3日	2	14.3%
4	5日	3	21.4%
5	7日	1	7.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	14	100.0%

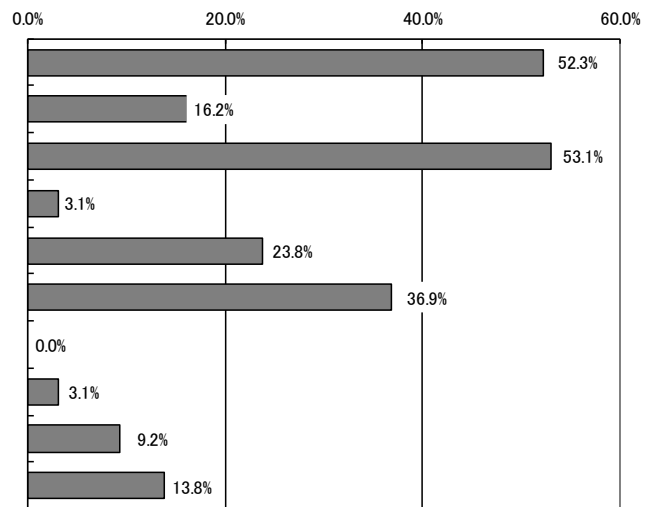
利用日数については、「放課後児童クラブ(学童保育)」で「5日」(49.3%)が最も多くなっています。

「自宅」は「2日」(26.2%)、「習い事」は「1日」(41.5%)が最も多くなっています。

放課後児童クラブの利用希望時間は「18時まで」が44.8%、次いで「17時まで」が25.4%となっています。

問26 小学校高学年(4～6年生)時の放課後の時間を過ごさせたい場所と週当たり希望日数について (放課後児童クラブ(学童保育))の場合には、利用を希望する時間も

		票数	%
1	自宅	68	52.3%
2	祖父母宅や友人・知人宅	21	16.2%
3	習い事	69	53.1%
4	児童館※	4	3.1%
5	放課後カッパ塾	31	23.8%
6	放課後児童クラブ(学童保育)	48	36.9%
7	ファミリーサポートセンター	0	0.0%
8	放課後等デイサービス	4	3.1%
9	その他(区民会館、公園など)	12	9.2%
	無回答・無効	18	13.8%
	合計	275	211.5%



※児童館は現在牛久市にはありません。

高学年時は「習い事」が53.1%で最も多く、次いで「自宅」が52.3%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が36.9%となっています。

1. 自宅で過ごさせたい日数

		票数	%
1	1日	14	20.6%
2	2日	10	14.7%
3	3日	19	27.9%
4	4日	3	4.4%
5	5日	15	22.1%
6	6日	1	1.5%
7	7日	2	2.9%
	無回答・無効	4	5.9%
	合計	68	100.0%

2. 祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数

		票数	%
1	1日	10	47.6%
2	2日	5	23.8%
3	3日	1	4.8%
4	5日	3	14.3%
	無回答・無効	2	9.5%
	合計	21	100.0%

3. 習い事(音楽、スポーツ、学習塾など)で過ごさせたい日数

		票数	%
1	1日	18	26.1%
2	2日	30	43.5%
3	3日	16	23.2%
4	4日	2	2.9%
	無回答・無効	3	4.3%
	合計	69	100.0%

4. 児童館で過ごさせたい日数

		票数	%
1	1日	1	25.0%
2	2日	2	50.0%
	無回答・無効	1	25.0%
	合計	4	100.0%

5. 放課後カッパ塾で過ごさせたい日数

		票数	%
1	1日	10	32.3%
2	2日	15	48.4%
3	3日	4	12.9%
	無回答・無効	2	6.5%
	合計	31	100.0%

習い事は「2日」が43.5%で最も多く、次いで「1日」が26.1%となっています。
 自宅で過ごさせたい日数は「3日」が27.9%で最も多く、次いで「5日」が22.1%となっています。

6. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごさせたい日数

		票数	%
1	1日	4	8.3%
2	2日	10	20.8%
3	3日	12	25.0%
4	4日	2	4.2%
5	5日	16	33.3%
	無回答・無効	4	8.3%
	合計	48	100.0%

放課後児童クラブの利用希望時間

		票数	%
1	16時まで	3	6.3%
2	17時まで	14	29.2%
3	18時まで	19	39.6%
4	19時まで	7	14.6%
	無回答・無効	5	10.4%
	合計	48	100.0%

7. ファミリーサポートセンターで過ごさせたい日数

※対象者なし

8. 放課後等デイサービスで過ごさせたい日数

		票数	%
1	1日	1	25.0%
2	3日	1	25.0%
3	5日	1	25.0%
4	6日	1	25.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	4	100.0%

9. その他(区民会館、公園など)

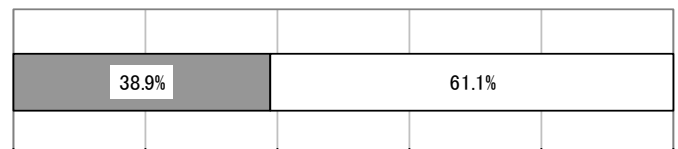
		票数	%
1	1日	2	16.7%
2	2日	5	41.7%
3	3日	2	16.7%
4	5日	3	25.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	12	100.0%

高学年時の放課後児童クラブの利用日数については「5日」が最も多く、次いで「3日」、「2日」となっています。希望時間は「18時まで」が最も多く、次いで「17時まで」となっています。

問 27 問 25 または問 26 で「5. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○つけた方 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望について

(1) 土曜日

		票数	%
1	利用したい	28	38.9%
2	利用する必要はない	44	61.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	72	100.0%



■ 利用したい □ 利用する必要はない ■ 無回答・無効

「1.」を選択した方

利用希望時間(開始時間)

		票数	%
1	7時	5	17.9%
2	8時	11	39.3%
3	9時	10	35.7%
4	10時	2	7.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	28	100.0%

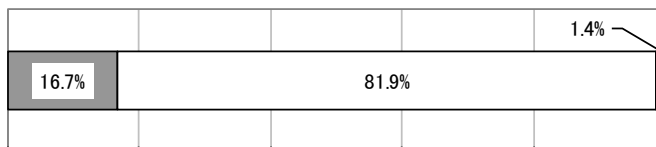
利用希望時間(終了時間)

		票数	%
1	12時	1	3.6%
2	14時	1	3.6%
3	15時	4	14.3%
4	17時	8	28.6%
5	18時	12	42.9%
6	19時	2	7.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	28	100.0%

土曜日は「利用する必要はない」が61.1%、「利用したい」は38.9%となっています。希望の開始時間は「8時」が最も多く、次いで「9時」となっています。終了時間は「18時」が最も多く、次いで「17時」となっています。日曜日・祝日に比べると利用したい層が多いことが伺えます。

(2) 日曜

		票数	%
1	利用したい	12	16.7%
2	利用する必要はない	59	81.9%
	無回答・無効	1	1.4%
	合計	72	100.0%



□利用したい □利用する必要はない ■無回答・無効

「1.」を選択した方

利用希望時間(開始時間)

		票数	%
1	7時	2	16.7%
2	8時	3	25.0%
3	9時	6	50.0%
4	10時	1	8.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	12	100.0%

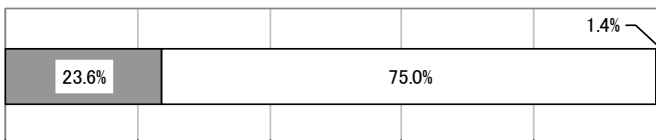
利用希望時間(終了時間)

		票数	%
1	12時	1	8.3%
2	15時	1	8.3%
3	17時	6	50.0%
4	18時	3	25.0%
5	19時	1	8.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	12	100.0%

日曜日は「利用する必要はない」が81.9%、「利用したい」は16.7%となっています。
希望の開始時間は「9時」が最も多く、終了時間は「17時」が最も多くなっています。

(3) 祝日

		票数	%
1	利用したい	17	23.6%
2	利用する必要はない	54	75.0%
	無回答・無効	1	1.4%
	合計	72	100.0%



□利用したい □利用する必要はない □無回答・無効

「1.」を選択した方

利用希望時間(開始時間)

		票数	%
1	7時	3	17.6%
2	8時	6	35.3%
3	9時	6	35.3%
4	10時	2	11.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	17	100.0%

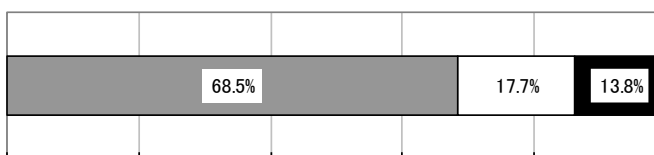
利用希望時間(終了時間)

		票数	%
1	12時	1	5.9%
2	15時	2	11.8%
3	16時	1	5.9%
4	17時	7	41.2%
5	18時	4	23.5%
6	19時	2	11.8%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	17	100.0%

祝日は「利用する必要はない」が75.0%、「利用したい」は23.6%となっています。
希望の開始時間は「8時」と「9時」がともに最も多く、終了時間は「17時」が最も多くなっています。

問 28 夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望について

		票数	%
1	利用したい	89	68.5%
2	利用する必要はない	23	17.7%
	無回答・無効	18	13.8%
	合計	130	100.0%



「1.」を選択した方

利用希望時間(開始時間)

		票数	%
1	6時	1	1.1%
2	7時	11	12.4%
3	8時	44	49.4%
4	9時	23	25.8%
5	10時	7	7.9%
	無回答・無効	3	3.4%
	合計	89	100.0%

□利用したい □利用する必要はない ■無回答・無効

利用希望時間(終了時間)

		票数	%
1	11時	2	2.2%
2	12時	1	1.1%
3	13時	1	1.1%
4	14時	1	1.1%
5	15時	7	7.9%
6	16時	8	9.0%
7	17時	25	28.1%
8	18時	32	36.0%
9	19時	8	9.0%
10	21時	1	1.1%
	無回答・無効	3	3.4%
	合計	89	100.0%

長期休暇中については、「利用したい」は68.5%で「利用する必要はない」は17.7%となっています。

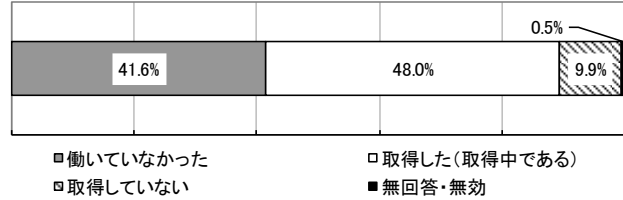
希望の開始時間は「8時」が49.4%で最も多く、次いで「9時」が25.8%となっており、終了時間は「18時」が36.0%で最も多く、次いで「17時」が28.1%となっています。

■育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 29 お子さんが生まれた時、保護者が育児休業を取得したか また、「3. 取得していない」に○をつけた方は取得していない理由について(複数回答)

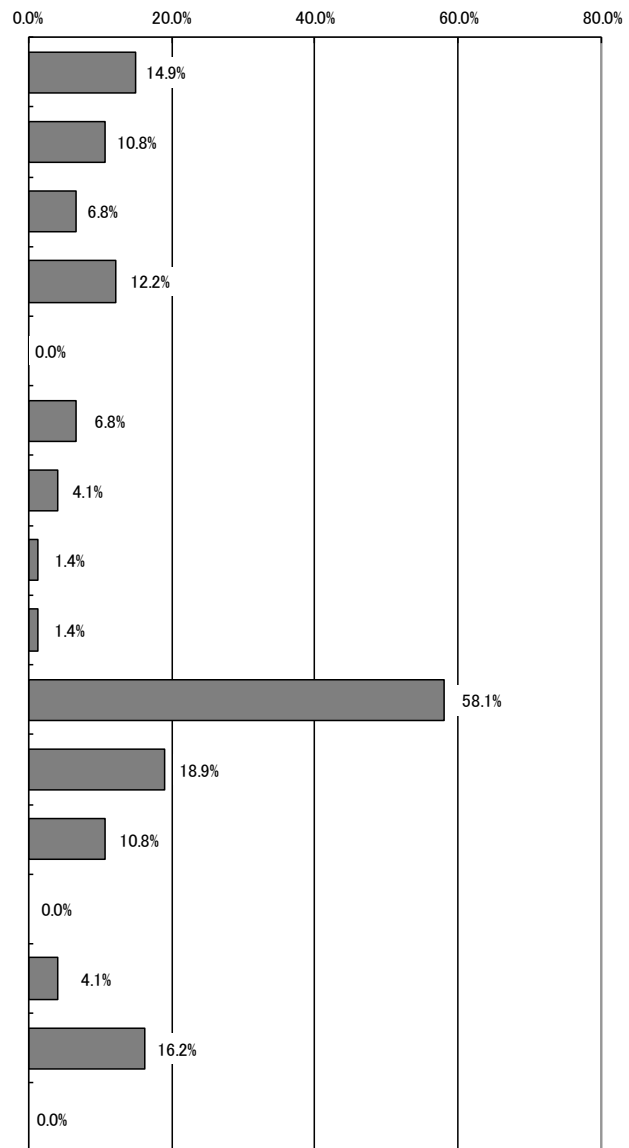
(1) 母親

		票数	%
1	働いていなかった	310	41.6%
2	取得した(取得中である)	358	48.0%
3	取得していない	74	9.9%
	無回答・無効	4	0.5%
	合計	746	100.0%



「3.取得していない」を選択された方 母親－育児休業を取得していない理由

		票数	%
1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	11	14.9%
2	仕事が忙しかった	8	10.8%
3	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	5	6.8%
4	仕事に戻るのが難しそうだった	9	12.2%
5	昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%
6	収入減となり、経済的に苦しくなる	5	6.8%
7	保育所(園)などに預けることができた	3	4.1%
8	配偶者が育児休業制度を利用した	1	1.4%
9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	1	1.4%
10	子育てや家事に専念するため退職した	43	58.1%
11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	14	18.9%
12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	8	10.8%
13	育児休業を取得できることを知らなかった	0	0.0%
14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	3	4.1%
15	その他	12	16.2%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	123	166.2%



母親は「取得した(取得中である)」が48.0%で最も多く、次いで「働いていなかった」が41.6%となっています。

取得していない理由は「子育てや家事に専念するため退職した」が58.1%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が18.9%となっています。

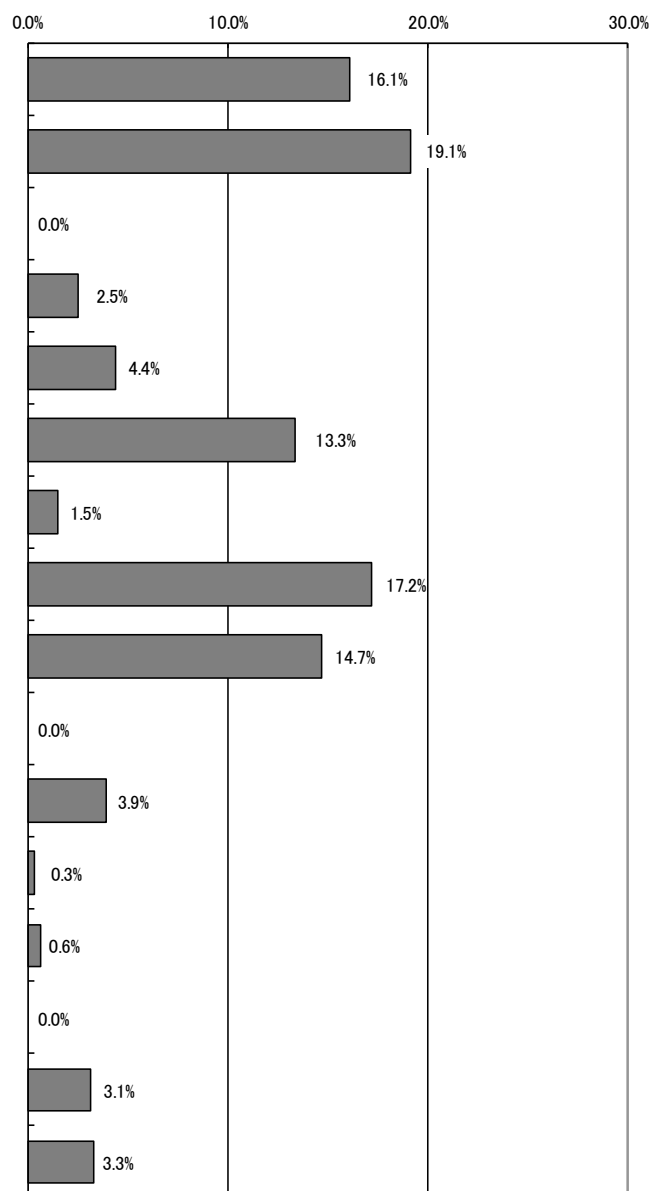
「その他」では、「自営業のため」、「在宅フリーランスで働いていたため」等の回答がありました。

(2) 父親

		票数	%
1	働いていなかった	6	0.8%
2	取得した(取得中である)	42	5.6%
3	取得していない	660	88.5%
	無回答・無効	38	5.1%
	合計	746	100.0%

**「3.取得していない」を選択された方
父親－育児休業を取得していない理由**

		票数	%
1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	221	16.1%
2	仕事が忙しかった	262	19.1%
3	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	0	0.0%
4	仕事に戻るのが難しそうだった	34	2.5%
5	昇給・昇格などが遅れそうだった	60	4.4%
6	収入減となり、経済的に苦しくなる	183	13.3%
7	保育所(園)などに預けることができた	20	1.5%
8	配偶者が育児休業制度を利用した	236	17.2%
9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	201	14.7%
10	子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	54	3.9%
12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	4	0.3%
13	育児休業を取得できることを知らなかった	8	0.6%
14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0	0.0%
15	その他	43	3.1%
	無回答・無効	45	3.3%
	合計	1371	100.0%



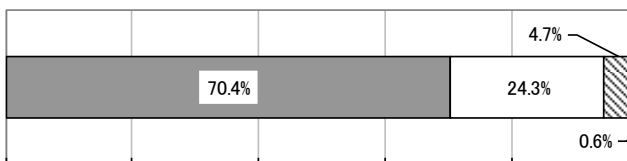
父親は「取得していない」が88.5%で、「取得した(取得中である)」が5.6%となっています。取得しない理由は「仕事が忙しかった」が19.1%で最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が17.2%となっています。

「その他」では、「自営業の為」、「海外にいた為」、「年休・有休・特別休暇などを取得した」等の回答がありました。

問 29-1 問 29 で育児休業を「2.取得した(取得中である)」に○した方 育児休業取得後、職場に復帰したか

(1) 母親

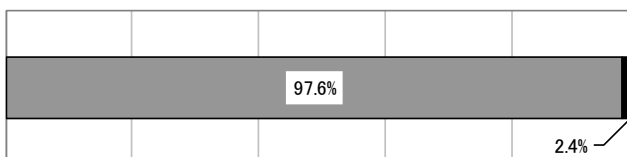
		票数	%
1	育児休業取得後、職場に復帰した	252	70.4%
2	現在も育児休業中である	87	24.3%
3	育児休業中に離職した	17	4.7%
	無回答・無効	2	0.6%
	合計	358	100.0%



育児休業取得後、職場に復帰した
 現在も育児休業中である
 育児休業中に離職した
 無回答・無効

(2) 父親

		票数	%
1	育児休業取得後、職場に復帰した	41	97.6%
2	現在も育児休業中である	0	0.0%
3	育児休業中に離職した	0	0.0%
	無回答・無効	1	2.4%
	合計	42	100.0%



育児休業取得後、職場に復帰した
 現在も育児休業中である
 育児休業中に離職した
 無回答・無効

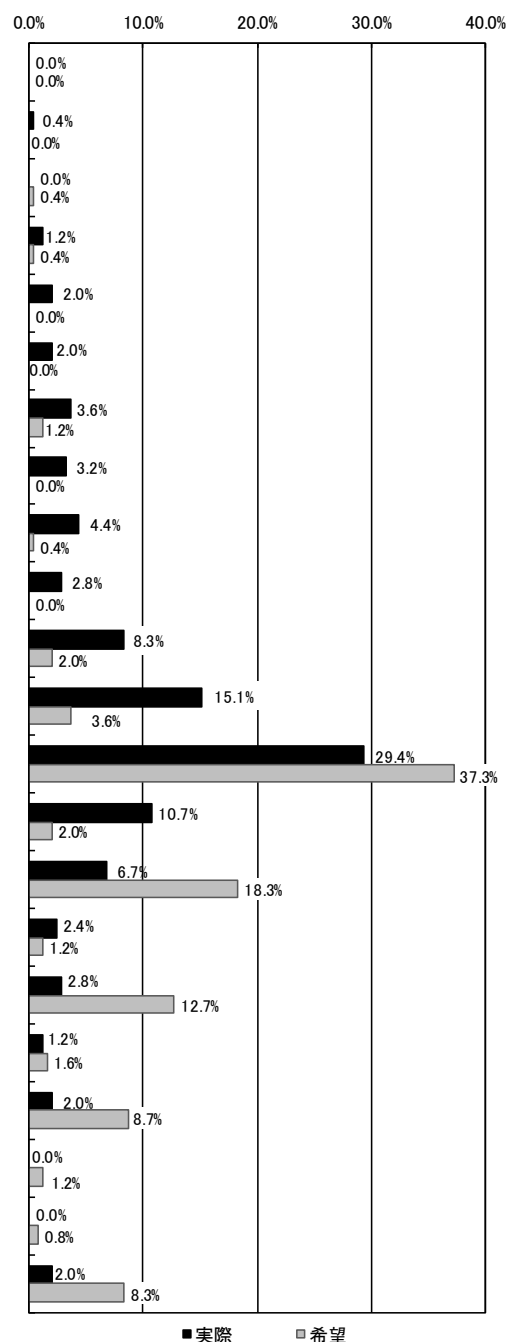
母親は「取得後、復帰した」が70.4%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が24.3%となっています。

父親は「取得後、復帰した」が最も多くなっています。

問 29-2 お子さんが何歳の時に「実際」に職場復帰したか。勤め先の制度の期間内で、何歳の時まで「希望」があったか

(1) 母親

		実際	%	希望	%
1	0ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
2	1ヶ月	1	0.4%	0	0.0%
3	2ヶ月	0	0.0%	1	0.4%
4	3ヶ月	3	1.2%	1	0.4%
5	4ヶ月	5	2.0%	0	0.0%
6	5ヶ月	5	2.0%	0	0.0%
7	6ヶ月	9	3.6%	3	1.2%
8	7ヶ月	8	3.2%	0	0.0%
9	8ヶ月	11	4.4%	1	0.4%
10	9ヶ月	7	2.8%	0	0.0%
11	10ヶ月	21	8.3%	5	2.0%
12	11ヶ月	38	15.1%	9	3.6%
13	1歳	74	29.4%	94	37.3%
14	1歳1ヶ月～1歳3ヶ月	27	10.7%	5	2.0%
15	1歳4ヶ月～1歳6ヶ月	17	6.7%	46	18.3%
16	1歳7ヶ月～1歳9ヶ月	6	2.4%	3	1.2%
17	1歳10ヶ月～2歳	7	2.8%	32	12.7%
18	2歳1ヶ月～2歳6ヶ月	3	1.2%	4	1.6%
19	2歳7ヶ月～3歳	5	2.0%	22	8.7%
20	3歳1ヶ月～3歳6ヶ月	0	0.0%	3	1.2%
21	3歳7ヶ月以上	0	0.0%	2	0.8%
	無回答・無効	5	2.0%	21	8.3%
	合計	252	100.0%	252	100.0%

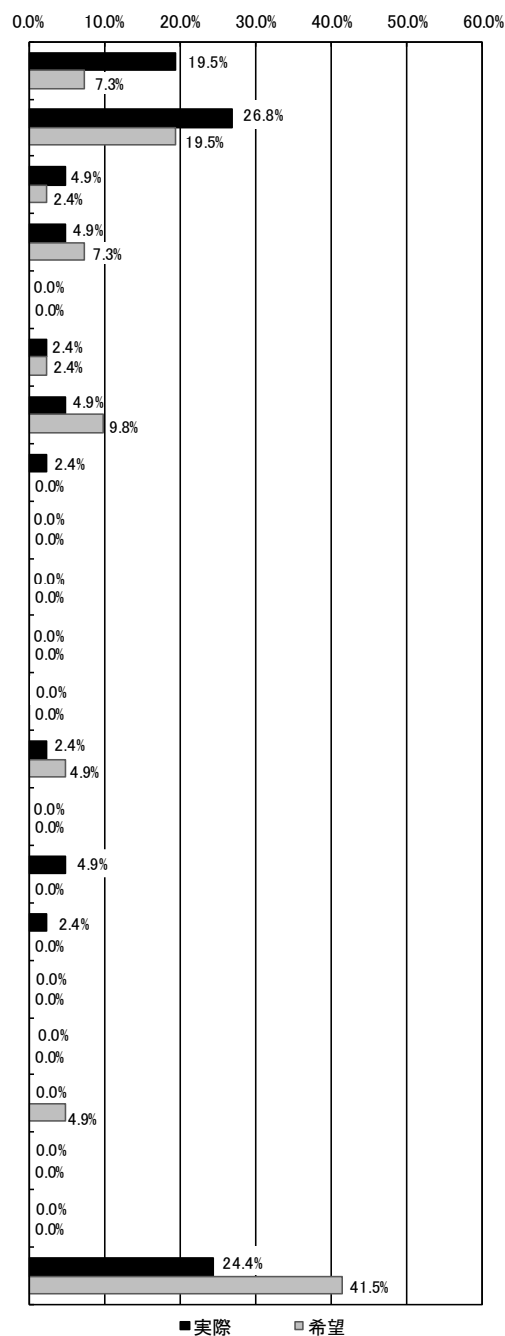


母親は「実際」の復帰時はお子さんが「1歳」の時が29.4%で最も多く、次いで「11ヶ月」が15.1%となっています。

「希望」は「1歳」が37.3%で最も多く、「1歳4ヶ月～1歳6ヶ月」が18.3%となっています。実際の日数に比べて、希望の日数は1歳以降の希望が多くなっています。

(2) 父親

		実際	%	希望	%
1	0ヶ月	8	19.5%	3	7.3%
2	1ヶ月	11	26.8%	8	19.5%
3	2ヶ月	2	4.9%	1	2.4%
4	3ヶ月	2	4.9%	3	7.3%
5	4ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
6	5ヶ月	1	2.4%	1	2.4%
7	6ヶ月	2	4.9%	4	9.8%
8	7ヶ月	1	2.4%	0	0.0%
9	8ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
10	9ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
11	10ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
12	11ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
13	1歳	1	2.4%	2	4.9%
14	1歳1ヶ月～1歳3ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
15	1歳4ヶ月～1歳6ヶ月	2	4.9%	0	0.0%
16	1歳7ヶ月～1歳9ヶ月	1	2.4%	0	0.0%
17	1歳10ヶ月～2歳	0	0.0%	0	0.0%
18	2歳1ヶ月～2歳6ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
19	2歳7ヶ月～3歳	0	0.0%	2	4.9%
20	3歳1ヶ月～3歳6ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
21	3歳7ヶ月以上	0	0.0%	0	0.0%
	無回答・無効	10	24.4%	17	41.5%
	合計	41	100.0%	41	100.0%



父親は「実際」の復帰時はお子さんが「1ヶ月」の時が26.8%で最も多く、次いで「0ヶ月」内が19.5%となっています。

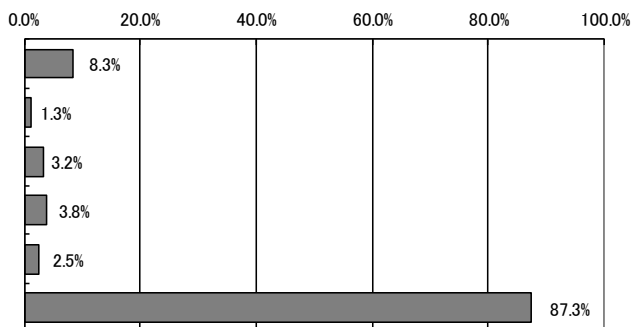
「希望」は「1ヶ月」が19.5%で最も多く、次いで「6ヶ月」が9.8%となっています。

問 29-3 問 29-2 で「実際」の復帰と「希望」が異なる方 希望の時期に職場復帰しなかった理由（複数回答）

(1) 「希望」より早く復帰した方

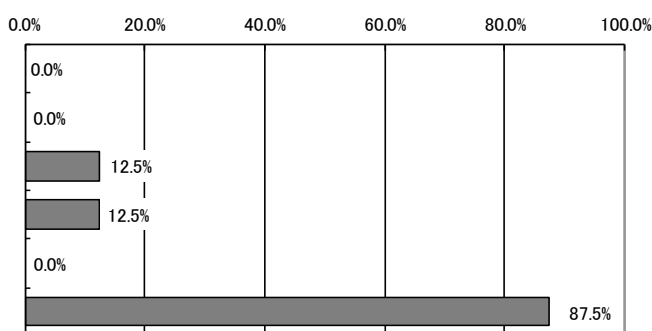
母親

		票数	%
1	希望する保育所に入るため	13	8.3%
2	配偶者や家族の希望があったため	2	1.3%
3	経済的な理由で早く復帰する必要があるため	5	3.2%
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	6	3.8%
5	その他	4	2.5%
	無回答・無効	137	87.3%
	合計	167	106.4%



父親

		票数	%
1	希望する保育所に入るため	0	0.0%
2	配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
3	経済的な理由で早く復帰する必要があるため	1	12.5%
4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	1	12.5%
5	その他	0	0.0%
	無回答・無効	7	87.5%
	合計	9	112.5%

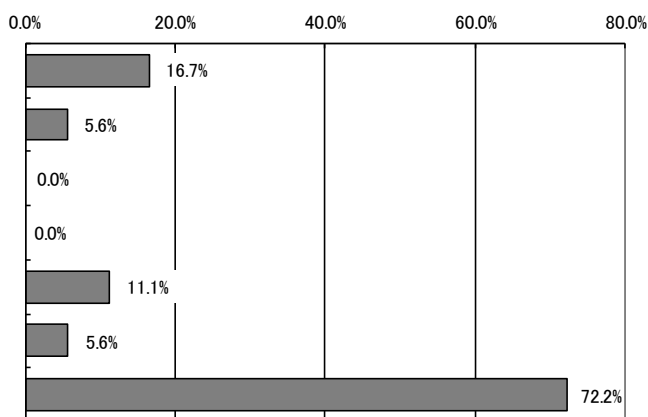


早く復帰した母親は「希望する保育所に入るため」が最も多くなっています。

(2) 「希望」より遅く復帰した方

(1)母親

		票数	%
1	希望する保育所に入れなかったため	3	16.7%
2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	1	5.6%
3	配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%
5	子どもをみてくれる人がいなかったため	2	11.1%
6	その他	1	5.6%
	無回答・無効	13	72.2%
	合計	20	111.1%



(2)父親

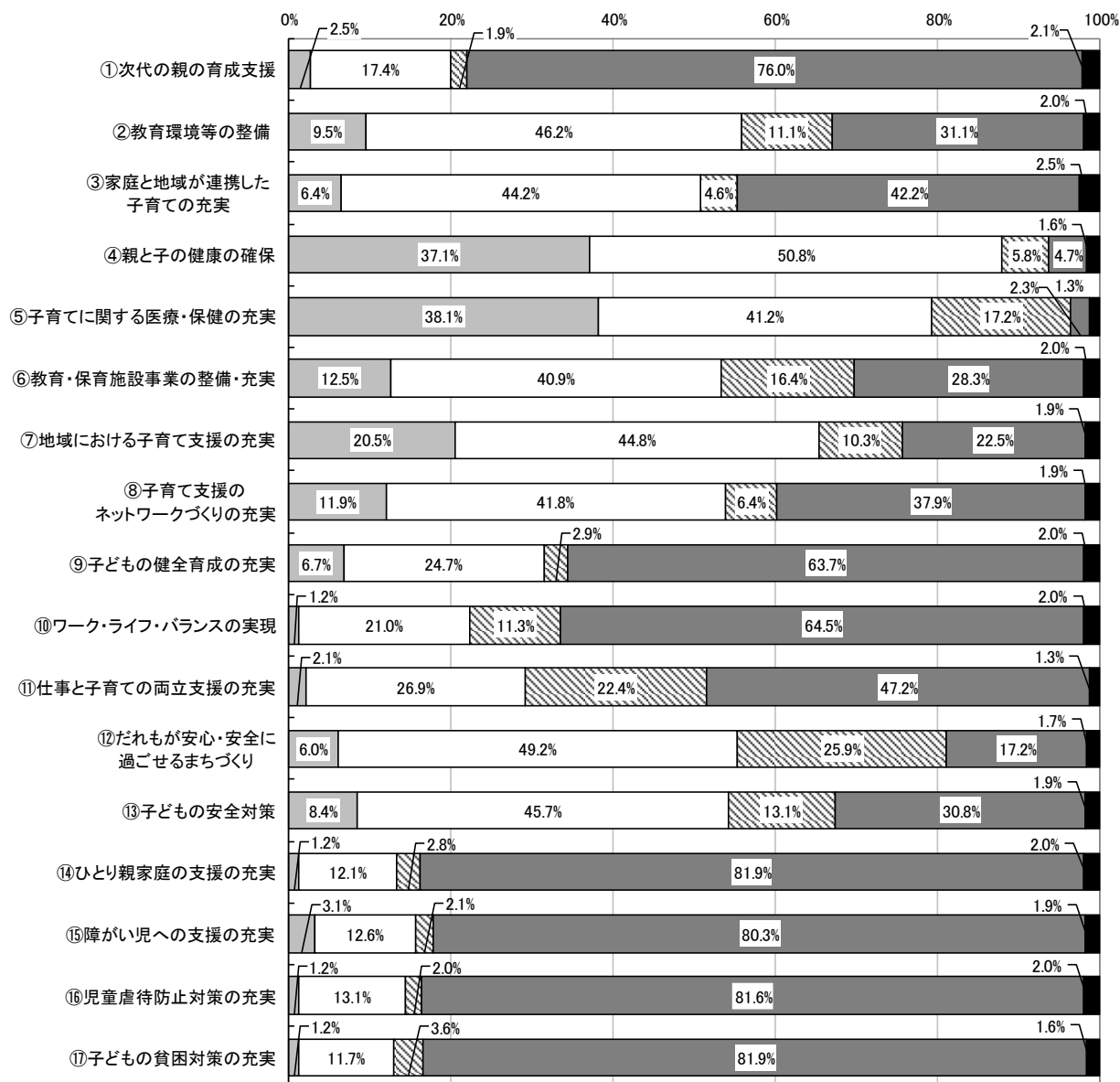
※対象者なし

遅く復帰した母親は「希望する保育所に入れなかったため」が最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」となっています。

■牛久市の子育て環境や支援について

問 30 牛久市の子ども・子育て支援に関わる項目①～⑰の「A 満足度」と「B 必要性(重要性)」牛久市独自設問

【満足度】



□満足 □ふつう □不満 □わからない ■無回答・無効

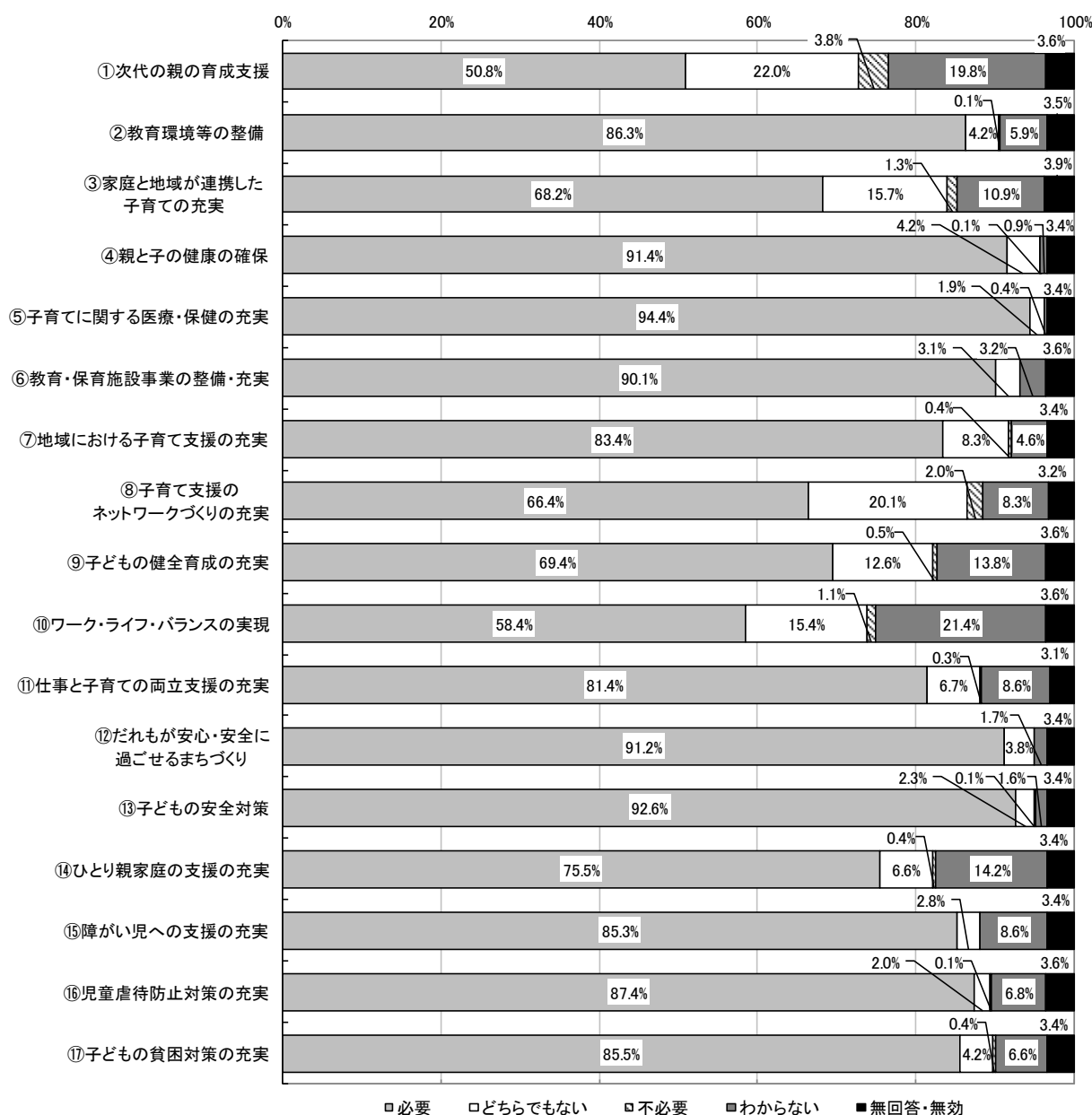
※①～⑰に当てはまる事業等について

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| ①将来親となる中高生との交流の機会の提供(幼児とのふれあい体験事業)など | ⑨放課後カッパ塾、子育てサロン、スポーツ少年団の活動支援など |
| ②幼児教育、学校教育など | ⑩男女共同参画の推進 |
| ③家庭教育学級、地域での社会奉仕活動 | ⑪雇用環境、労働環境の改善 |
| ④妊産婦健康診査、乳児検診、食育推進など | ⑫通学路の整備、公園の整備、バリアフリー化など |
| ⑤予防接種、医療費助成など | ⑬防犯・防災、交通安全 |
| ⑥延長保育、一時預かり、放課後児童クラブなど | ⑭母子家庭、父子家庭への支援など |
| ⑦家庭児童相談、子育て広場、地域子育て支援センターなど | ⑮各種相談事業、発達支援など |
| ⑧赤ちゃん交流、育児サークル等の支援など | ⑯虐待の早期発見・早期対応など |
| | ⑰就学援助・支援など |

子ども・子育て支援に関する満足度は「子育てに関する医療・保健の充実」が38.1%と最も高く、次いで「親と子の健康の確保」が37.1%となっており、特に満足度が高い項目だと分かります。

一方で、「親と子の健康の確保」、「だれもが安心・安全に過ごせるまちづくり」、「子どもの安全対策」は「不満」が約5割と高くなっています。

【重要性(必要性)】



子ども・子育て支援に関する重要性（必要性）は「子育てに関する医療・保健の充実」が94.4%と最も高く、次いで「子どもの安全対策」で92.6%、「親と子の健康の確保」で91.4%、「誰もが安心・安全に過ごせるまちづくり」で91.2%となっています。

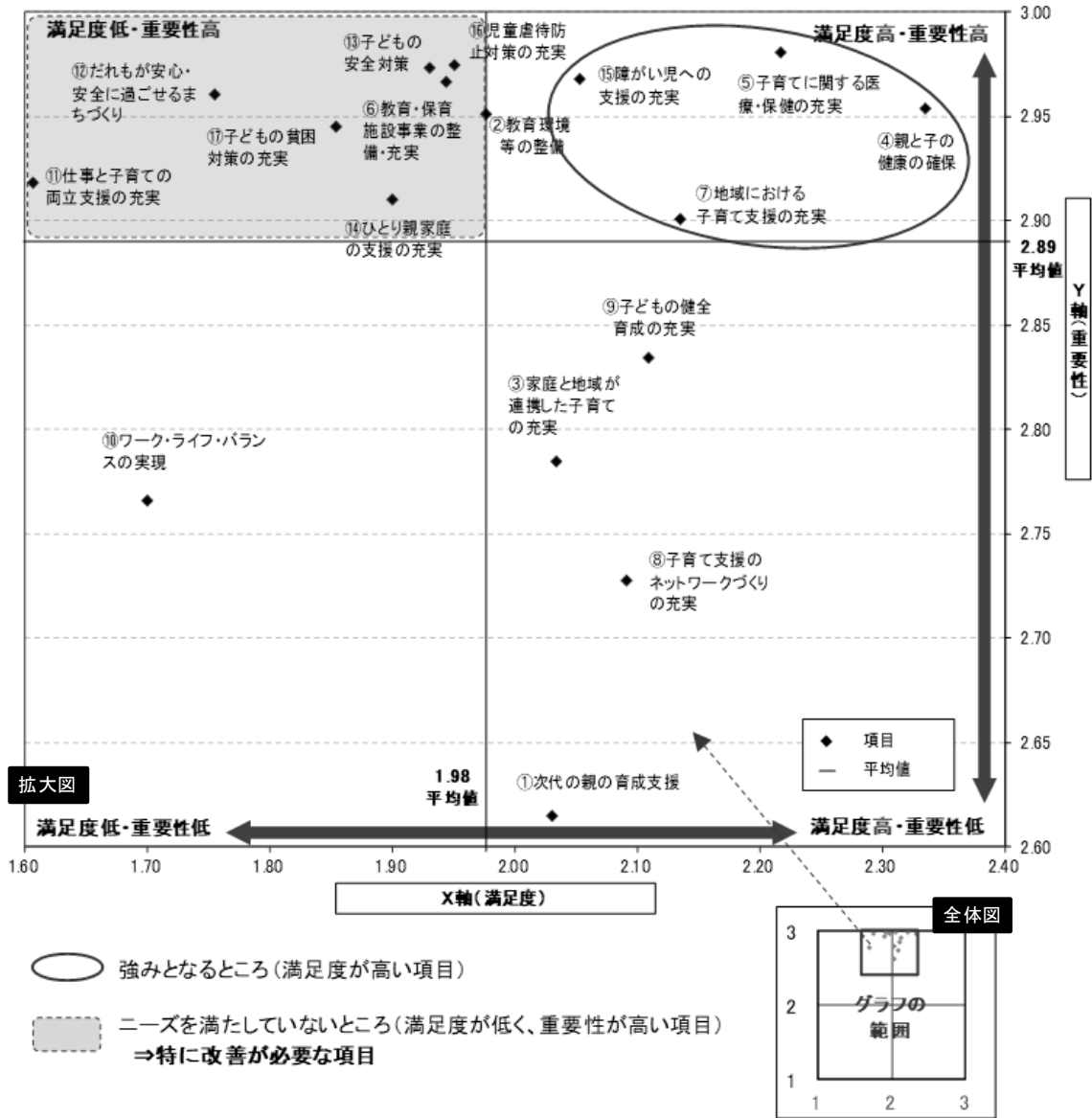
全体をみると、ほとんどの項目も「必要」が約7～9割以上であり、重要性が高いことが伺えますが、「次代の親の育成支援」は約5割と低くなっています。

【CS分析】

【※CS分析とは】CS分析は、満足度、重要性(必要性)の回答を点数化し、設問(項目)ごとに平均して数値を算出します。満足度を横軸、重要性(必要性)を縦軸として、点数化した各設問(項目)を分布することで、改善する項目と優先順位を明らかにする分析です。

【参考】点数化については、1～17項目の回答を以下の通り点数化し、平均値を算出しています。(「無効・無回答」はのぞく)

満足度 満足 3点 ふつう 2点 不満 1点
重要(必要)度 必要 3点 どちらでもない 2点 不必要 1点



「満足=3ポイント」、「ふつう=2ポイント」、「不満=1ポイント」、重要性(重要性)についても同様の方法により、ポイントに変換して散布図を作成

満足度	満足 = 3	重要性	必要 = 3
	ふつう = 2		どちらでもない = 2
	不満 = 1		不必要 = 1

牛久市の子ども・子育て支援における満足度および必要性(重要性)については、全項目の平均値が満足度で1.98、重要性で2.89となっており、満足度の評価が2.00をやや下回っています。

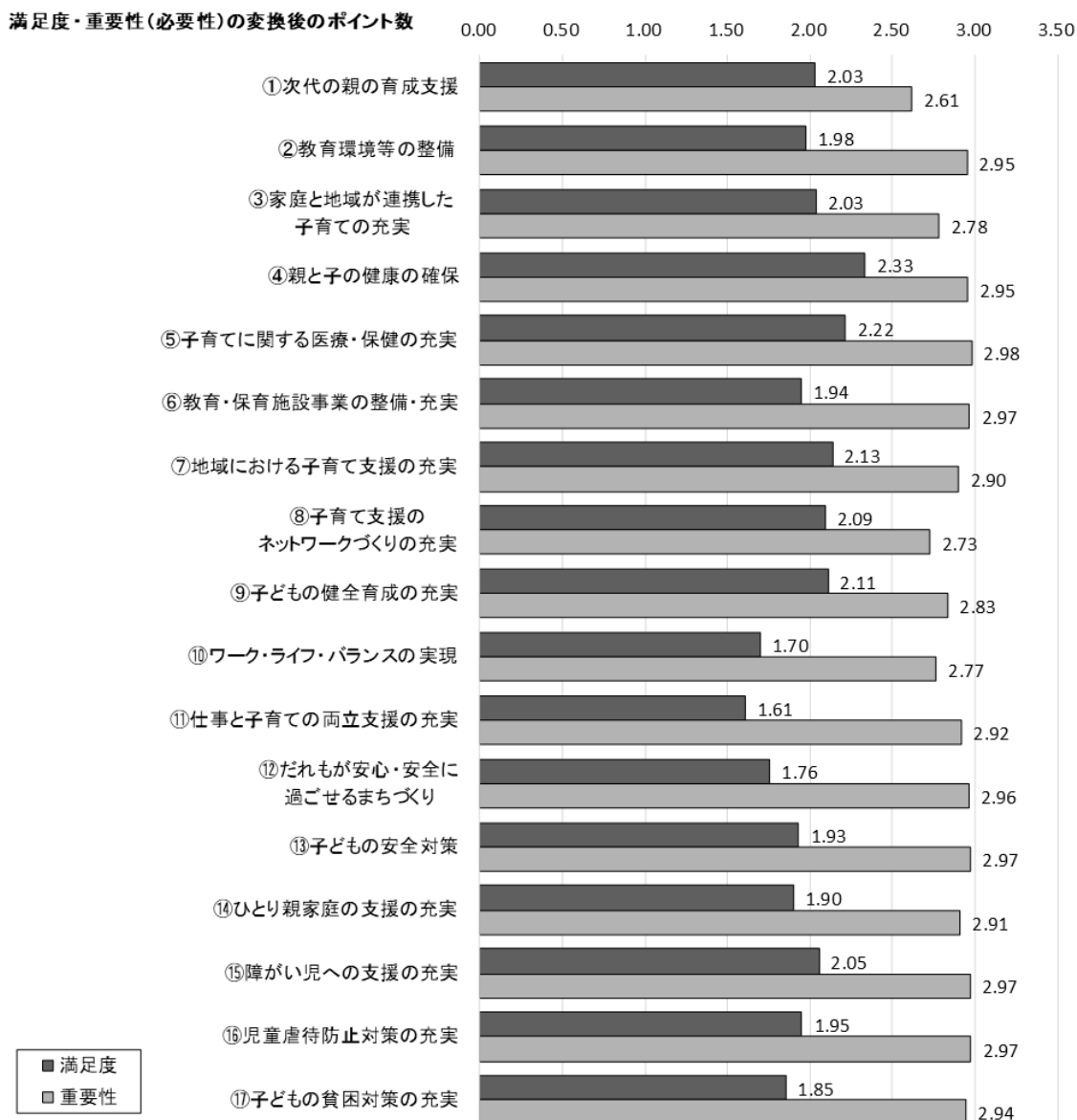
満足度が高く・重要性が高い「強み」は右上の丸囲み内、「④親と子の健康の確保」などの4項目で、一方、重要性が高いにも関わらず満足度が低い、「特に改善が必要な項目」は、左上の四角囲み内、「⑪仕事と子育ての両立支援の充実」、「⑫だれもが安心・安全に過ごせるまちづくり」など7項目です。

【満足度・重要度(必要性)の変換後のポイント数】

アンケート項目	満足度	重要性
①次代の親の育成支援(将来親となる中高生との交流の機会)	2.03	2.61
②教育環境等の整備(幼児教育・学校教育)	1.98	2.95
③家庭と地域が連携した子育ての充実(家庭教育学級・地域での社会奉仕活動)	2.03	2.78
④親と子の健康の確保(妊産婦健康診査・乳児検診・食育推進など)	2.33	2.95
⑤子育てに関する医療・保健の充実(予防接種・医療費助成など)	2.22	2.98
⑥教育・保育施設事業の整備・充実(延長保育・一時預かり・放課後児童クラブなど)	1.94	2.97
⑦地域における子育て支援の充実(家庭児童相談・子育て広場・地域子育て支援センターなど)	2.13	2.90
⑧子育て支援のネットワークづくりの充実(赤ちゃん交流・育児サークル等の支援など)	2.09	2.73
⑨子どもの健全育成の充実(放課後カッパ塾・子育てサロン・スポーツ少年団の活動支援など)	2.11	2.83
⑩ワーク・ライフ・バランスの実現(男女共同参画の推進)	1.70	2.77
⑪仕事と子育ての両立支援の充実(雇用環境・労働環境の改善)	1.61	2.92
⑫だれもが安心・安全に過ごせるまちづくり(通学路の整備・公園の整備・バリアフリー化など)	1.76	2.96
⑬子どもの安全対策(防犯・防災・交通安全)	1.93	2.97
⑭ひとり親家庭の支援の充実(母子家庭・父子家庭への支援など)	1.90	2.91
⑮障がい児への支援の充実(各種相談事業・発達支援など)	2.05	2.97
⑯児童虐待防止対策の充実(虐待の早期発見・早期対応など)	1.95	2.97
⑰子どもの貧困対策の充実(就学援助・支援など)	1.85	2.94
項目の平均値	1.98	2.89

最大値
 最低値

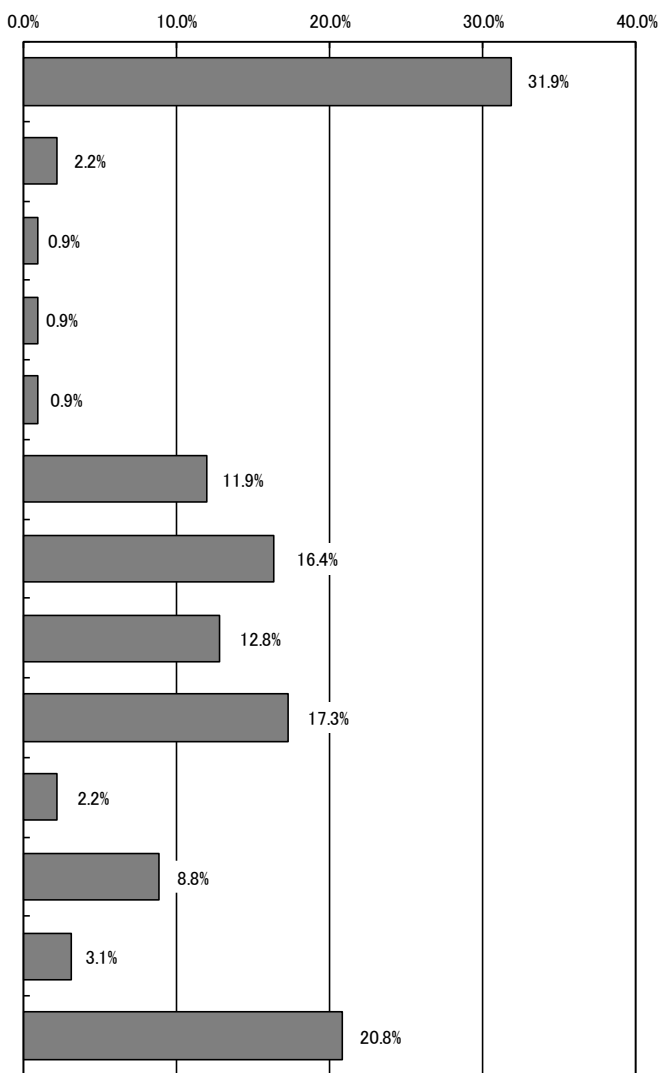
【ポイント数のグラフ】



問 31 牛久市の子育ての環境や支援に関してのご意見について(自由回答/項目別に整理)

■意見内容

		票数	%
1	保育園について(公立・私立)	72	31.9%
2	幼稚園について(公立・私立)	5	2.2%
3	認定こども園について	2	0.9%
4	保育ママ・小規模保育・認可外保育園・事業所内保育・ベビーホテル等	2	0.9%
5	放課後児童クラブ(学童保育)等について	2	0.9%
6	地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター・子育て広場)等	27	11.9%
7	妊娠・出産・周産期医療・母子保健等について	37	16.4%
8	防災・防犯・交通安全について	29	12.8%
9	遊び場・子どもの居場所・公園について	39	17.3%
10	ファミリーサポートセンターについて	5	2.2%
11	利用者支援について(相談事業・情報提供・コンシェルジュ)	20	8.8%
15	アンケートについて	7	3.1%
16	その他(補助助成、病院・小児科、障がい児・療養施設、市のまちづくり、他等)	47	20.8%
	合計	294	130.1%



※1人の回答者が複数の項目にわたって回答している場合は、それぞれの項目に票を入れているため、回答者数と票数は一致しない。

教育・保育環境の充実等子育ての環境や支援に関してのご意見については、

「地域子ども・子育て支援事業」が最も多くなっています。

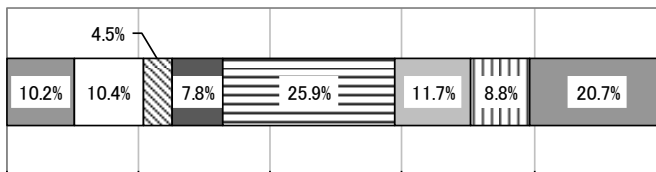
意見内容を項目別に細分化すると、「保育園について」(31.9%)、「その他」(20.8%)、「遊び場・子どもの居場所・公園について」(17.3%)の要望が多く寄せられています。

(2) 小学生

■お住まいの地域について

問1 お住まいの地区について

		票数	%
1	牛久小学校区	71	10.2%
2	岡田小学校区	72	10.4%
3	奥野小学校区	31	4.5%
4	牛久第二小学校区	54	7.8%
5	中根小学校区	180	25.9%
6	向台小学校区	81	11.7%
7	神谷小学校区	61	8.8%
8	ひたち野うしく小学校区	144	20.7%
9	わからない	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	694	100.0%



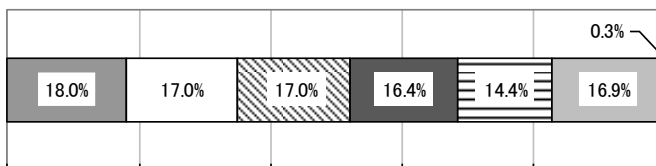
- 牛久小学校区
- 岡田小学校区
- 奥野小学校区
- 牛久第二小学校区
- 中根小学校区
- 向台小学校区
- 神谷小学校区
- ひたち野うしく小学校区
- わからない
- 無回答・無効

地区の内訳は、「中根小学校区」が25.9%で最も多く、次いで「ひたち野うしく小学校区」が20.7%、「向台小学校区」が11.7%となっています。

■お子さんとご家族の状況について

問2 お子さんの学年

		票数	%
1	小学1年生	125	18.0%
2	小学2年生	118	17.0%
3	小学3年生	118	17.0%
4	小学4年生	114	16.4%
5	小学5年生	100	14.4%
6	小学6年生	117	16.9%
	無回答・無効	2	0.3%
	合計	694	100.0%



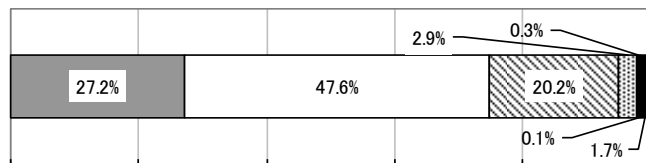
- 小学1年生
- 小学2年生
- 小学3年生
- 小学4年生
- 小学5年生
- 小学6年生
- 無回答・無効

学年の内訳は、「小学1年生」が18.0%と最も多く、次いで「小学2年生」、「小学3年生」が17.0%となっています。全学年で概ね均等な割合で回答を得られています。

問3 お子さんのきょうだい数・末子の生年月日について

きょうだい数

		票数	%
1	1人	189	27.2%
2	2人	330	47.6%
3	3人	140	20.2%
4	4人	20	2.9%
5	5人	2	0.3%
6	6人	0	0.0%
7	7人以上	1	0.1%
	無回答・無効	12	1.7%
	合計	694	100.0%

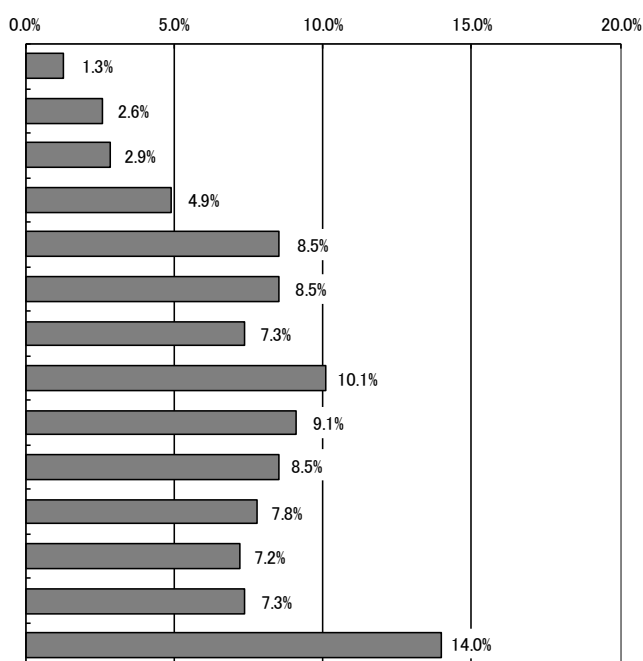


- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人
- 7人以上
- 無回答・無効

「2人きょうだい」が47.6%と最も多く、次いで「1人」が27.2%となっています。

末子の年齢

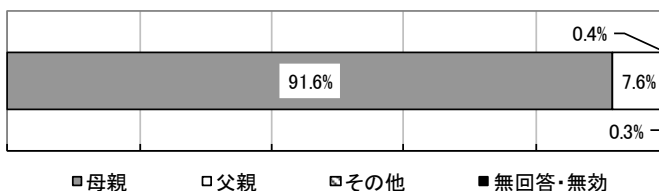
		票数	%
1	0歳	9	1.3%
2	1歳	18	2.6%
3	2歳	20	2.9%
4	3歳	34	4.9%
5	4歳	59	8.5%
6	5歳	59	8.5%
7	6歳	51	7.3%
8	7歳	70	10.1%
9	8歳	63	9.1%
10	9歳	59	8.5%
11	10歳	54	7.8%
12	11歳	50	7.2%
13	12歳	51	7.3%
	無回答・無効	97	14.0%
	合計	694	100.0%



末子の年齢は「7歳」が10.1%と最も多く、次いで「8歳」が9.1%となっています。

問4 調査票の回答者について

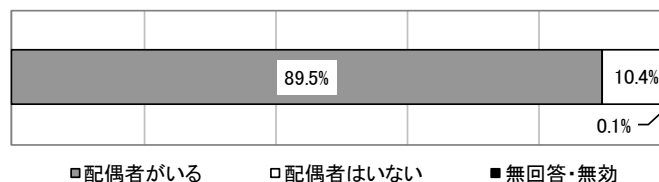
		票数	%
1	母親	636	91.6%
2	父親	53	7.6%
3	その他	2	0.3%
	無回答・無効	3	0.4%
	合計	694	100.0%



回答者は「母親」が91.6%、「父親」が7.6%で、9割以上が「母親」となっています。「その他」では、「里親」、「祖父母」等の回答が挙げられています。

問5 調査票に回答いただいている方の配偶関係について

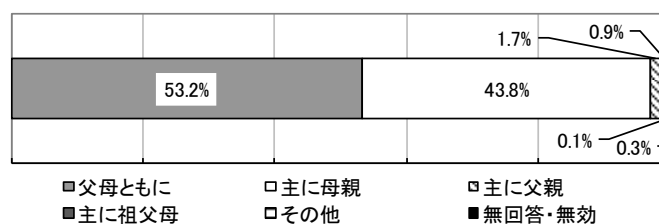
		票数	%
1	配偶者がいる	621	89.5%
2	配偶者がいない	72	10.4%
	無回答・無効	1	0.1%
	合計	694	100.0%



「配偶者がいる」が89.5%、「配偶者がいない」が10.4%となっています。

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方について

		票数	%
1	父母ともに	369	53.2%
2	主に母親	304	43.8%
3	主に父親	12	1.7%
4	主に祖父母	6	0.9%
5	その他	1	0.1%
	無回答・無効	2	0.3%
	合計	694	100.0%

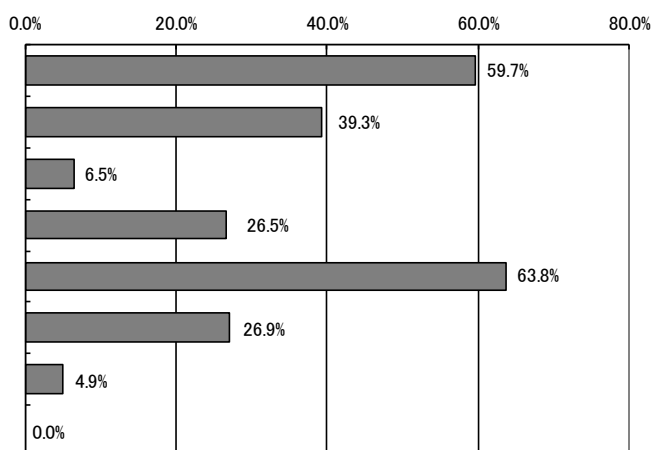


「父母ともに」が53.2%で最も多く、次いで「主に母親」が43.8%となっています。

■子どもの育ちをめぐる環境について

問7 子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方(施設)について(複数回答)

		票数	%
1	父母ともに	414	59.7%
2	母親	273	39.3%
3	父親	45	6.5%
4	祖父母	184	26.5%
5	小学校	443	63.8%
6	放課後児童クラブ(学童保育)	187	26.9%
7	その他	34	4.9%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1580	227.7%



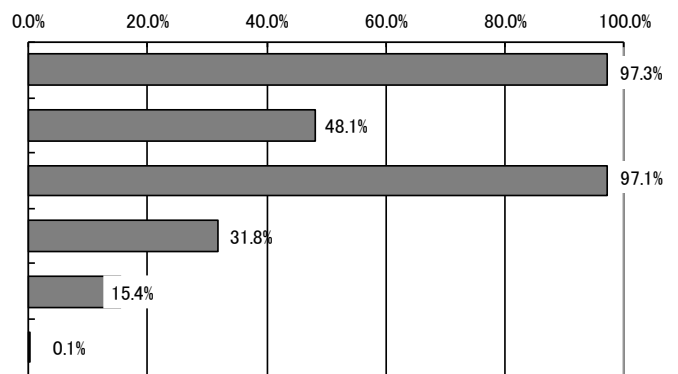
子育て(教育)に関わっている人は、「父母ともに」が59.7%と最も多く、次いで「母親」が39.3%、「祖父母」が26.5%となっています。

施設については、「小学校」が63.8%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ(学童)」が26.9%となっています。

「その他」では、「習い事の先生」、「スポーツ少年団」、「放課後デイサービス」等の回答がありました。

問8 子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境について(複数回答)

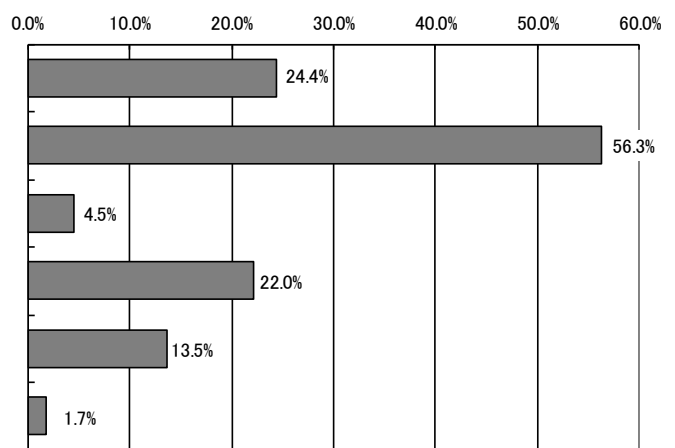
		票数	%
1	家庭	675	97.3%
2	地域	334	48.1%
3	小学校	674	97.1%
4	放課後児童クラブ(学童保育)	221	31.8%
5	その他	107	15.4%
	無回答・無効	1	0.1%
	合計	2012	289.9%



子育て(教育)に影響する環境は、「家庭」(97.3%)、「小学校」(97.1%)がほぼ同じ割合で高くなっており、次いで「地域」(48.1%)となっています。
 「その他」では、「祖父母」、「友達」、「塾(習い事)」、「スポーツ少年団」等の回答がありました。

問9 日頃お子さんを見てもらえる親族・知人について

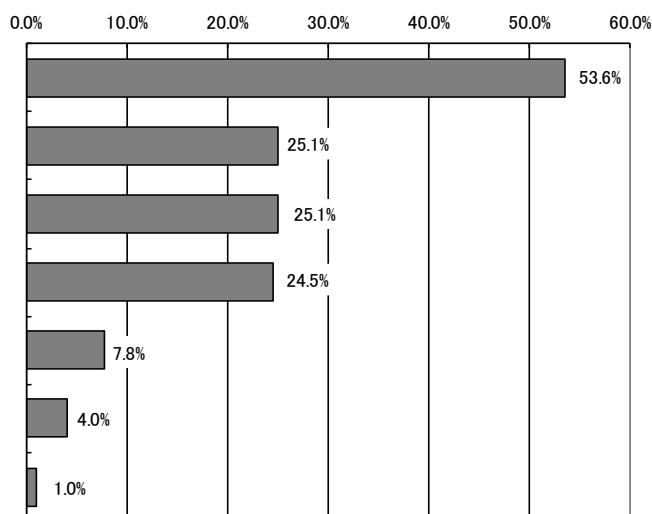
		票数	%
1	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	169	24.4%
2	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	391	56.3%
3	日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる	31	4.5%
4	緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる	153	22.0%
5	いずれもない	94	13.5%
	無回答・無効	12	1.7%
	合計	850	122.5%



「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が56.3%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が24.4%となっています。
 友人・知人については、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が22.0%と最も多くなっています。
 一方、「いずれもない」は13.5%となっています。

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について
(複数回答)

		票数	%
1	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	282	53.6%
2	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	132	25.1%
3	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	132	25.1%
4	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	129	24.5%
5	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	41	7.8%
6	その他	21	4.0%
	無回答・無効	5	1.0%
	合計	742	141.1%



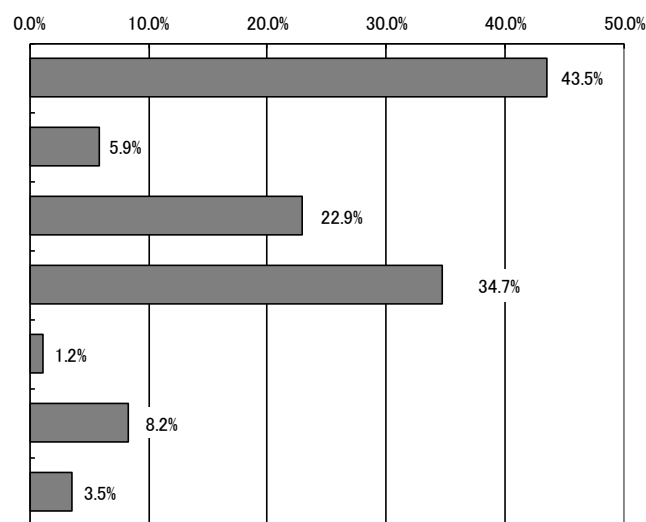
祖父母等の親族に「安心してみてもらえる」が53.6%と最も多くなっています。

一方で、「身体的負担・精神的負担」が心配と感じている方も合わせて50.2%、また、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」も24.5%となっており、子どもを見てもらうことに心苦しさを感じている方が多くなっています。

「その他」の回答では、「遠方のため気軽に預けるのが難しい」等の回答がありました。

問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について
(複数回答)

		票数	%
1	友人・知人の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	74	43.5%
2	友人・知人の親族の身体的負担が大きく心配である	10	5.9%
3	友人・知人の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	39	22.9%
4	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	59	34.7%
5	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	2	1.2%
6	その他	14	8.2%
	無回答・無効	6	3.5%
	合計	204	120.0%



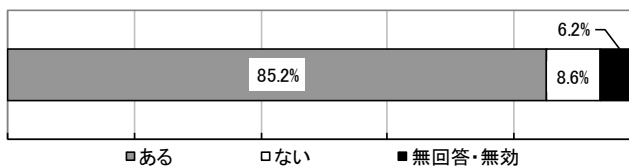
友人・知人に「安心してみてもらえる」が43.5%と最も多くなっています。

一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が次いで34.7%となっており、また、「身体的負担・精神的負担」が心配と感じている方も合わせて30.6%となっていることから、子どもを見てもらうことに心苦しさを感じている方が多くなっています。

「その他」の回答では、「頼れる友人はいるが、そうした状況になったことがない」、「頼むのに気が引けてしまう」等の回答がありました。

問 10 子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(場所)はある/あるか

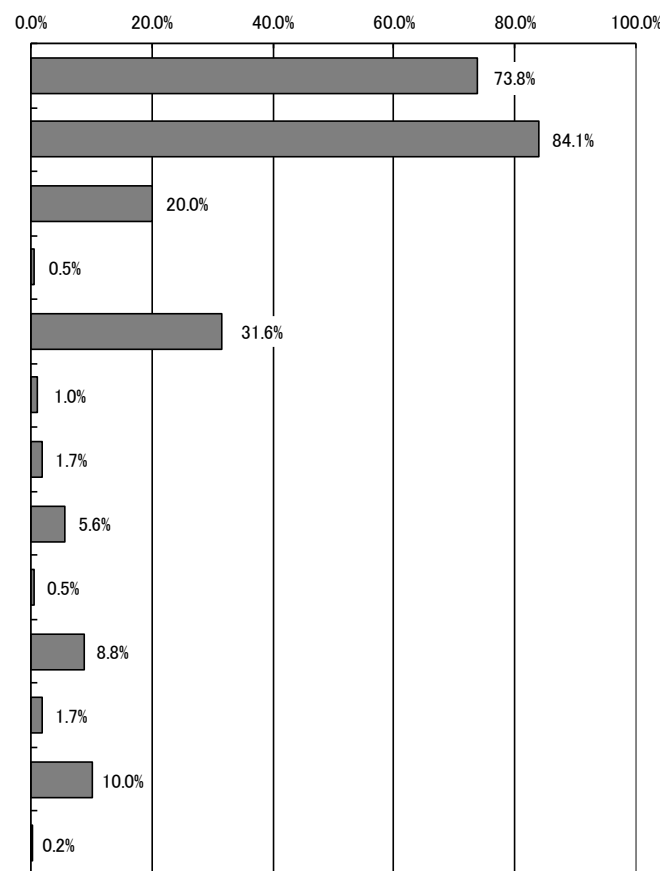
		票数	%
1	ある	591	85.2%
2	ない	60	8.6%
	無回答・無効	43	6.2%
	合計	694	100.0%



子育て(教育)をする上で、気軽に相談できる先がある人は 88.9%、ない人は 7.7%となっています。

問 10-1 問 10で「1. いる/ある」に○をつけた方 子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)か(複数回答)

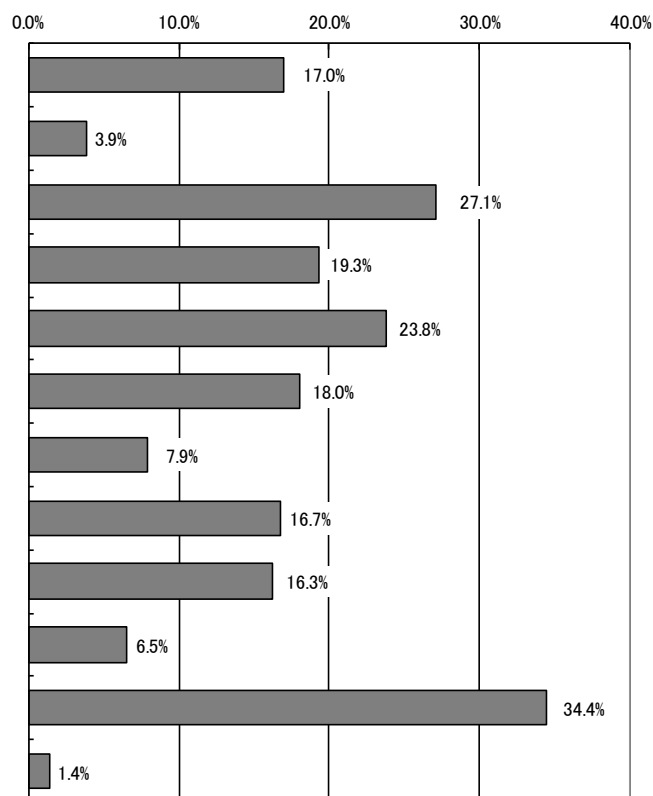
		票数	%
1	祖父母等の親族	436	73.8%
2	友人や知人	497	84.1%
3	近所の人	118	20.0%
4	NPO(子ども食堂等)	3	0.5%
5	小学校教諭	187	31.6%
6	養護教諭	6	1.0%
7	スクールカウンセラー	10	1.7%
8	放課後児童クラブ支援員	33	5.6%
9	民生委員・児童委員	3	0.5%
10	かかりつけの医師	52	8.8%
11	市の子育て関連担当窓口(市家庭児童相談室等)	10	1.7%
12	その他	59	10.0%
	無回答・無効	1	0.2%
	合計	1415	239.4%



相談先については、「友人や知人」が 84.1%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が 73.8%、「小学校教諭」が 32.1%となっています。
 「その他」では、「きぼうの広場」、「習い事の先生」等が多く挙げられ、「夫」、「職場の先輩」、「姉」等の回答がありました。

問 11 毎日の育児で大変なことや困っていることはあるか(複数回答)

		票数	%
1	育児疲れがたまり毎日疲労感が取れない	118	17.0%
2	毎日の生活にやる気がおきない	27	3.9%
3	子どもに手がかかるので、いつも時間に追われている	188	27.1%
4	子どもがわずらわしくてイライラしてしまうことがある	134	19.3%
5	子どものことでどうしたらよいかわからなくなることがある	165	23.8%
6	子どもをおいて外出するのは心配で仕方ない	125	18.0%
7	自分ひとりで子どもを育てているのだという圧迫感を感じてしまう	55	7.9%
8	毎日、同じことの繰り返ししかしていないと思う	116	16.7%
9	経済的に余裕がなく、子供を育てることに不安がある	113	16.3%
10	子どもを育てるために、がまんばかりしていると思う	45	6.5%
11	特に困っていることはない	239	34.4%
	無回答・無効	10	1.4%
	合計	1335	192.4%

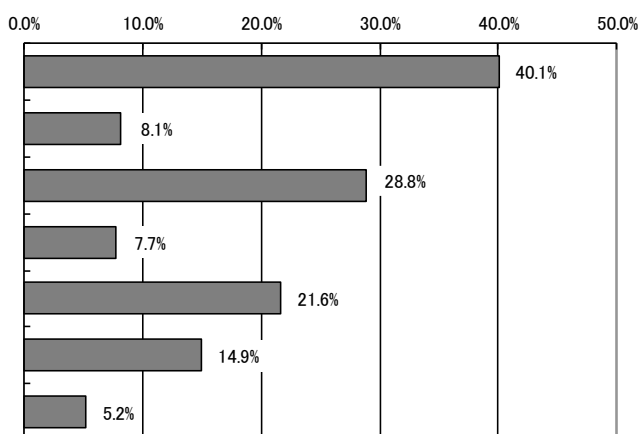


毎日の育児について、「特に困っていることはない」が34.4%と最も多くなっています。

悩みを抱えている人は、「子どもに手がかかるので、いつも時間に追われている」が27.1%と最も多く、次いで「子どもがわずらわしくてイライラしてしまうことがある」が23.8%となっています。

問 11-1 問 11 で「1.~10.」のいずれかに○をつけた方 育児で大変な時や困っていることに対してどのような支援が必要か(複数回答)

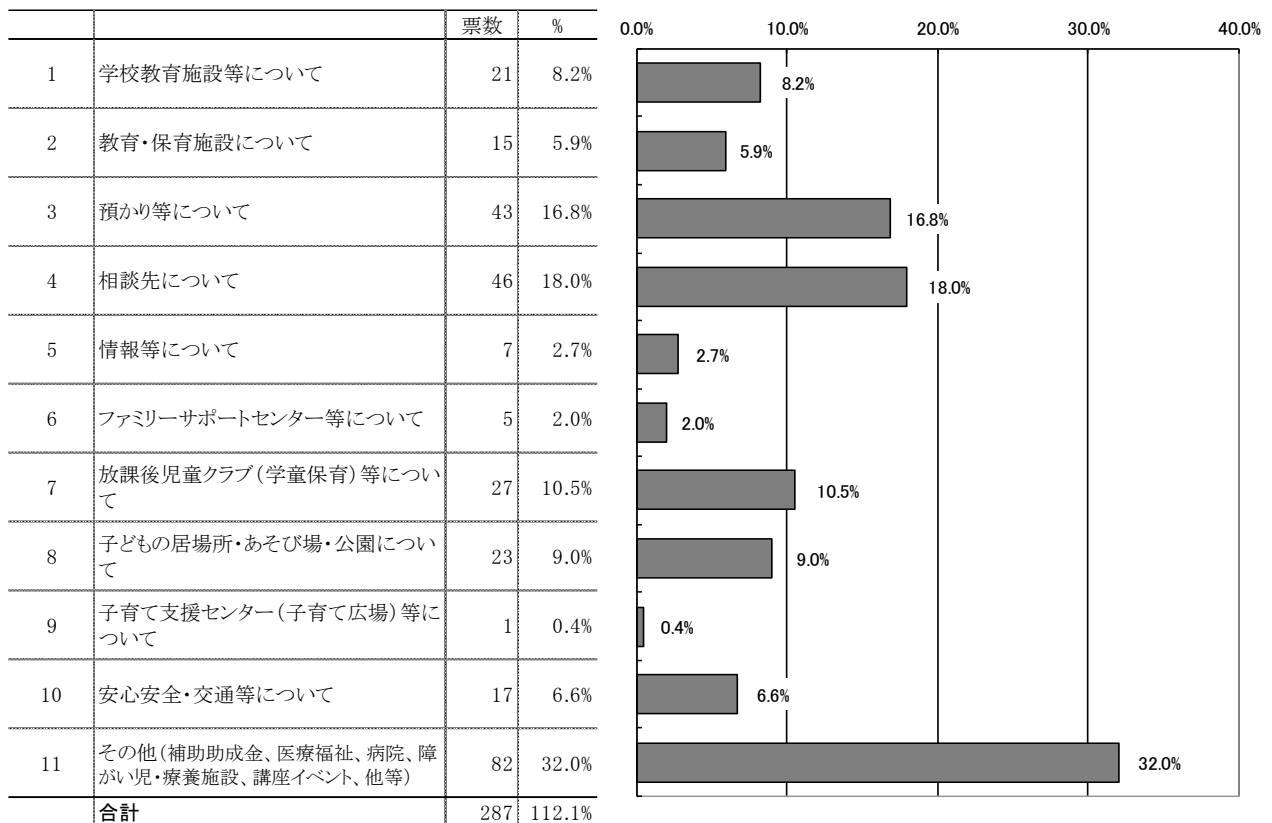
		票数	%
1	話を聞いてくれて助言をしてくれる	178	40.1%
2	地域の人が何時間か子ども預かってくれる	36	8.1%
3	日中、何時間か子ども預かってくれる施設	128	28.8%
4	1泊以上の泊まりで子どもを預かってくれる施設	34	7.7%
5	支援は必要ない	96	21.6%
6	その他	66	14.9%
	無回答・無効	23	5.2%
	合計	561	126.4%



育児で大変な時や困っていることに対して必要な支援については「話を聞いてくれて助言をしてくれる」が40.0%と最も多く、次いで「日中、何時間か子ども預かってくれる施設」が28.8%、「支援は必要ない」が21.6%となっています。

「その他」では、「経済的支援」、「家族の協力」、「地域の交流所」、「LINE等で気軽に情報共有出来る場」等の回答がありました。

問 11-2 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者等)からどのようなサポートがあればよいか(自由記述/項目別に整理)



子育てをする上で望ましいサポートについては、「その他(補助助成金、医療福祉、病院、障がい児・療養施設・講座イベント、他等)」に関する意見が 32.0%と最も多く、次いで「相談先について」が 18.0%、「預かり等について」が 16.8%となっています。

主な意見として「その他」は、「習い事の送迎」、「経済的援助」、「近所の人と接する機会」等の回答がありました。

「相談先について」は、「メールなどで簡単に相談できる場」、「体験談・アドバイス」、「相談したい時にすぐに相談できる環境」等の回答がありました。

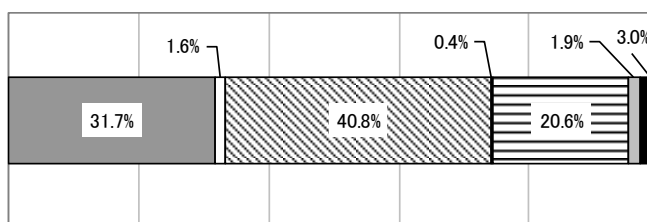
「預かり等について」は、「気軽に何時間かみてくれる場」、「土日や夜間でも預けられる場」等の回答がありました。

■お子さんの保護者の就労状況について

問 12 保護者の方の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について

(1)母親

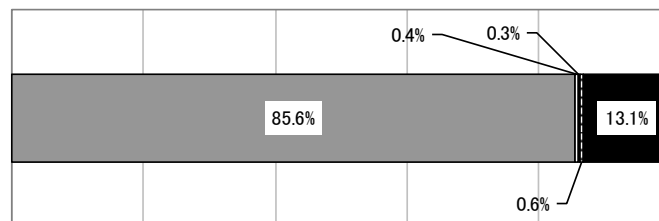
		票数	%
1	フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	220	31.7%
2	フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	11	1.6%
3	短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	283	40.8%
4	短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である	3	0.4%
5	以前は働いていたが、現在は働いていない	143	20.6%
6	これまで働いたことがない	13	1.9%
	無回答・無効	21	3.0%
	合計	694	100.0%



- フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である
- 短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- 短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は働いていたが、現在は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答・無効

(2)父親

		票数	%
1	フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	594	85.6%
2	フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	3	0.4%
3	短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	2	0.3%
4	短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
5	以前は働いていたが、現在は働いていない	4	0.6%
6	これまで働いたことがない	0	0.0%
	無回答・無効	91	13.1%
	合計	694	100.0%



- フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である
- 短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない
- 短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は働いていたが、現在は働いていない
- これまで働いたことがない
- 無回答・無効

母親は産休・育休・介護休業中を含め、「フルタイムで就労中」が 33.3%、「短時間就労中」が 41.2%で、合わせて 74.5%が就労中です。

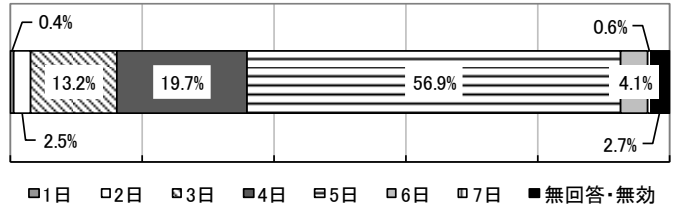
父親は産休・育休・介護休業中を含め、「フルタイムで就労中」が 86.0%、「短時間就労中」が 0.3%で、86.3%が就労中です。

問 12-1 問 12 で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」について また、家を出る時刻と帰宅時刻について

(1)母親

週当たりの「就労日数」

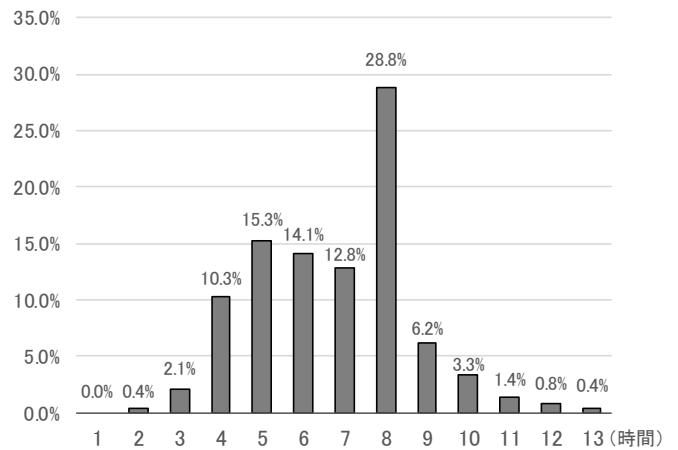
		票数	%
1	1日	2	0.4%
2	2日	13	2.5%
3	3日	68	13.2%
4	4日	102	19.7%
5	5日	294	56.9%
6	6日	21	4.1%
7	7日	3	0.6%
	無回答・無効	14	2.7%
	合計	517	100.0%



母親の就労日数については「5日」が 56.9%と最も多く、次いで「4日」が 19.7%となっています。

日当たりの「就労時間」

		票数	%
	1時間	0	0.0%
	2時間	2	0.4%
	3時間	11	2.1%
	4時間	53	10.3%
	5時間	79	15.3%
	6時間	73	14.1%
	7時間	66	12.8%
	8時間	149	28.8%
	9時間	32	6.2%
	10時間	17	3.3%
	11時間	7	1.4%
	12時間	4	0.8%
	13時間	2	0.4%
	14時間	0	0.0%
	15時間	0	0.0%
	16時間	0	0.0%
	17時間	0	0.0%
	18時間	0	0.0%
	19時間	0	0.0%
	20時間	0	0.0%
	21時間	0	0.0%
	22時間	0	0.0%
	23時間	0	0.0%
	24時間	0	0.0%
	無回答・無効	22	4.3%
	合計	517	100.0%



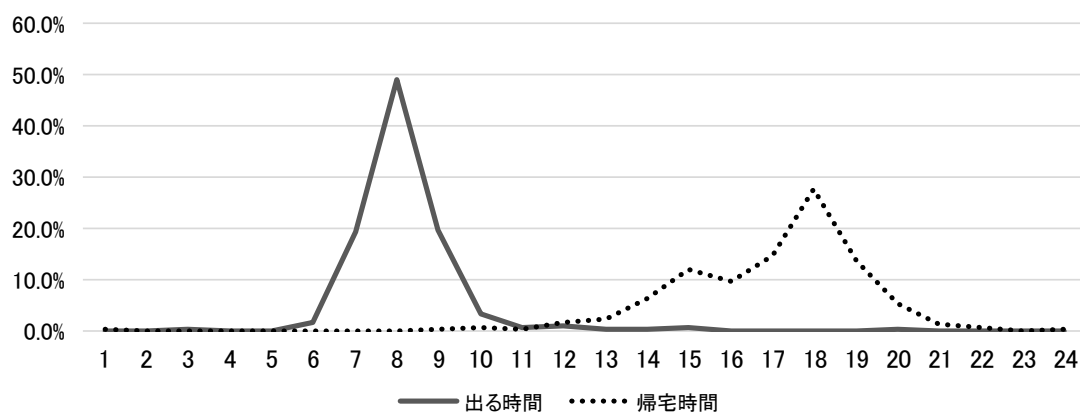
母親の就労時間は「8時間」が 28.8%、と最も多く、次いで「5時間」が 15.3%、「6時間」が 14.1%となっています。

出る時刻

	票数	%
1時	0	0.0%
2時	0	0.0%
3時	1	0.2%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	7	1.4%
7時	100	19.3%
8時	254	49.1%
9時	101	19.5%
10時	17	3.3%
11時	3	0.6%
12時	4	0.8%
13時	1	0.2%
14時	1	0.2%
15時	2	0.4%
16時	0	0.0%
17時	0	0.0%
18時	0	0.0%
19時	0	0.0%
20時	1	0.2%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
無回答・無効	25	4.8%
合計	517	100.0%

帰宅時刻

	票数	%
1時	1	0.2%
2時	0	0.0%
3時	0	0.0%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	0	0.0%
7時	0	0.0%
8時	0	0.0%
9時	1	0.2%
10時	2	0.4%
11時	1	0.2%
12時	8	1.5%
13時	12	2.3%
14時	32	6.2%
15時	61	11.8%
16時	49	9.5%
17時	76	14.7%
18時	143	27.7%
19時	70	13.5%
20時	27	5.2%
21時	6	1.2%
22時	2	0.4%
23時	0	0.0%
24時	1	0.2%
無回答・無効	25	4.8%
合計	517	100.0%

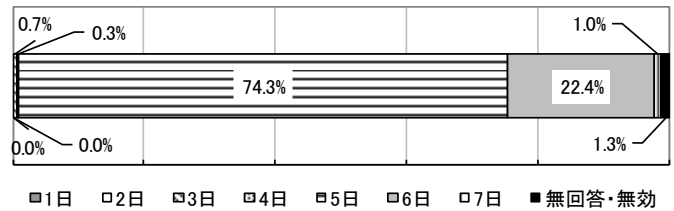


母親の家を出る時刻は7～9時がピークで、「8時」が49.1%と最も多く、帰宅時刻は14～19時がピークで、「18時」が27.7%と最も多くなっています。

(2)父親

週当たりの「就労日数」

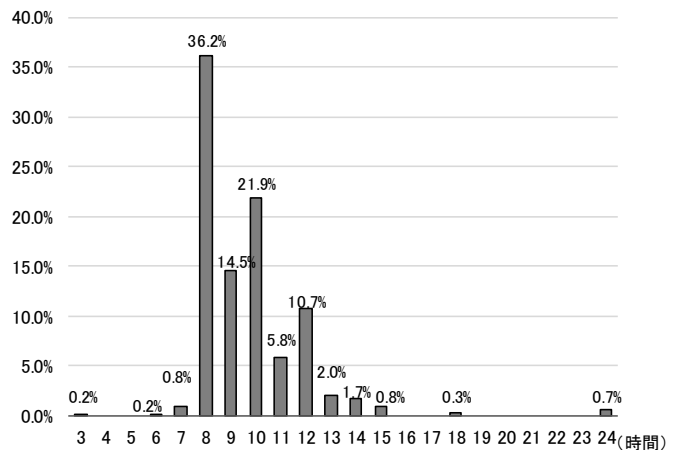
		票数	%
1	1日	0	0.0%
2	2日	0	0.0%
3	3日	4	0.7%
4	4日	2	0.3%
5	5日	445	74.3%
6	6日	134	22.4%
7	7日	6	1.0%
	無回答・無効	8	1.3%
	合計	599	100.0%



父親の就労日数については「5日」が74.3%と最も多く、次いで「6日」が22.4%となっています。

日当たりの「就労時間」

		票数	%
	1時間	0	0.0%
	2時間	0	0.0%
	3時間	1	0.2%
	4時間	0	0.0%
	5時間	0	0.0%
	6時間	1	0.2%
	7時間	5	0.8%
	8時間	217	36.2%
	9時間	87	14.5%
	10時間	131	21.9%
	11時間	35	5.8%
	12時間	64	10.7%
	13時間	12	2.0%
	14時間	10	1.7%
	15時間	5	0.8%
	16時間	0	0.0%
	17時間	0	0.0%
	18時間	2	0.3%
	19時間	0	0.0%
	20時間	0	0.0%
	21時間	0	0.0%
	22時間	0	0.0%
	23時間	0	0.0%
	24時間	4	0.7%
	無回答・無効	25	4.2%
	合計	599	100.0%



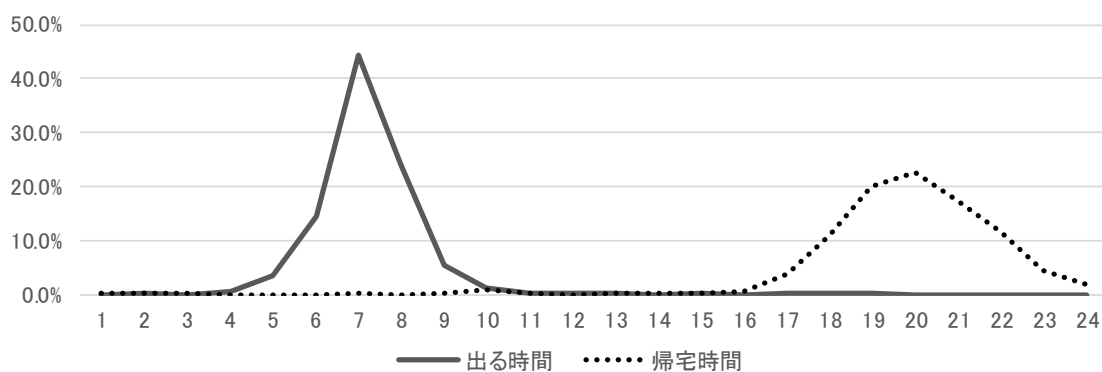
父親の就労時間は「8時間」が36.2%で最も多く、次いで「10時間」が21.9%となっています。

出る時刻

	票数	%
1時	0	0.0%
2時	1	0.2%
3時	0	0.0%
4時	4	0.7%
5時	21	3.5%
6時	86	14.4%
7時	266	44.4%
8時	146	24.4%
9時	33	5.5%
10時	7	1.2%
11時	2	0.3%
12時	1	0.2%
13時	1	0.2%
14時	0	0.0%
15時	1	0.2%
16時	0	0.0%
17時	1	0.2%
18時	1	0.2%
19時	1	0.2%
20時	0	0.0%
21時	0	0.0%
22時	0	0.0%
23時	0	0.0%
24時	0	0.0%
無回答・無効	27	4.5%
合計	599	100.0%

帰宅時刻

	票数	%
1時	2	0.3%
2時	1	0.2%
3時	2	0.3%
4時	0	0.0%
5時	0	0.0%
6時	0	0.0%
7時	1	0.2%
8時	0	0.0%
9時	1	0.2%
10時	5	0.8%
11時	1	0.2%
12時	0	0.0%
13時	1	0.2%
14時	1	0.2%
15時	1	0.2%
16時	3	0.5%
17時	22	3.7%
18時	65	10.9%
19時	119	19.9%
20時	135	22.5%
21時	105	17.5%
22時	70	11.7%
23時	26	4.3%
24時	11	1.8%
無回答・無効	27	4.5%
合計	599	100.0%

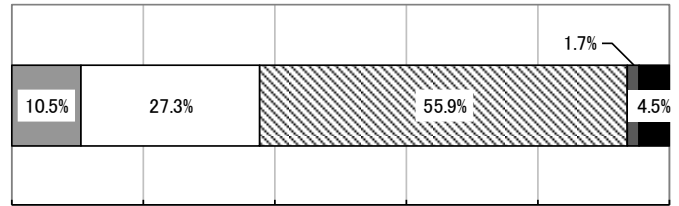


父親は家を出る時刻は7～8時がピークで、「7時」が44.4%と最も多く、帰宅時刻は18時～21時がピークで、「20時」が22.5%と最も多くなっています。

問 13 問 12 で「3・4」(短時間の就労をしている)に○をつけた方 フルタイムへの転換希望はあるか

(1)母親

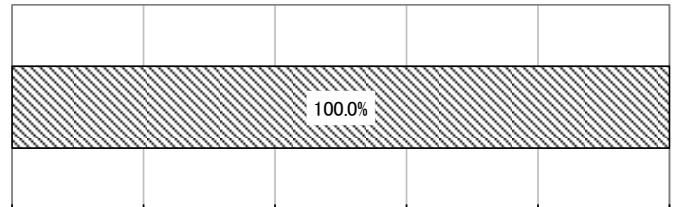
		票数	%
1	フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある	30	10.5%
2	フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない	78	27.3%
3	短時間就労で働き続けることを希望	160	55.9%
4	短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい	5	1.7%
	無回答・無効	13	4.5%
	合計	286	100.0%



- フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない
- ▨ 短時間就労で働き続けることを希望
- 短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答・無効

(2)父親

		票数	%
1	フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
2	フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0%
3	短時間就労で働き続けることを希望	2	100.0%
4	短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	2	100.0%



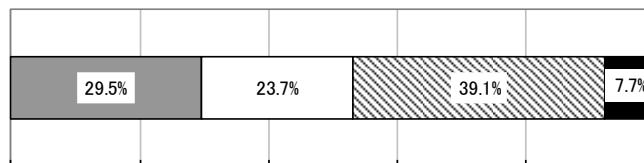
- フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない
- ▨ 短時間就労で働き続けることを希望
- 短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答・無効

フルタイムへの転換希望について、母親は「短時間の就労を続ける」(55.9%)が最も多くなっています。見込みの有無に関係なく「フルタイムへの転換希望」がある方は合わせて37.8%となっています。

問 14 問 12 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方 就労希望はあるか

(1)母親

		票数	%
1	子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)	46	29.5%
2	1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに働きたい	37	23.7%
3	すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	61	39.1%
	無回答・無効	12	7.7%
	合計	156	100.0%

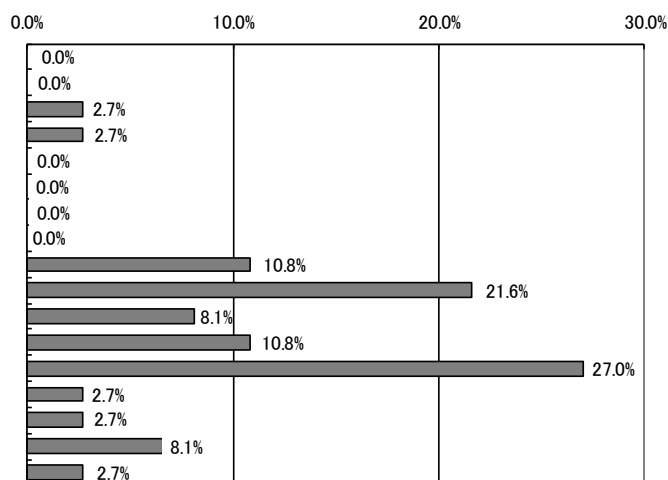


- 子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに働きたい
- すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
- 無回答・無効

母親は「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が39.1%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が29.5%となっています。

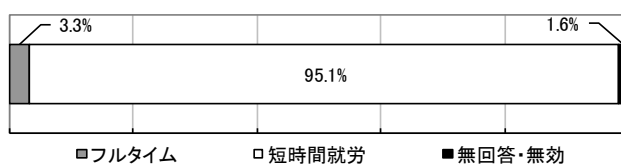
2に○をつけた方 希望する年齢

		票数	%
1	1歳	0	0.0%
2	2歳	0	0.0%
3	3歳	1	2.7%
4	4歳	1	2.7%
5	5歳	0	0.0%
6	6歳	0	0.0%
7	7歳	0	0.0%
8	8歳	0	0.0%
9	9歳	4	10.8%
10	10歳	8	21.6%
11	11歳	3	8.1%
12	12歳	4	10.8%
13	13歳	10	27.0%
14	14歳	1	2.7%
15	15歳	1	2.7%
16	16歳	3	8.1%
	無回答・無効	1	2.7%
	合計	37	100.0%



3に○をつけた方 就労の希望

		票数	%
ア	フルタイム	2	3.3%
イ	短時間就労	58	95.1%
	無回答・無効	1	1.6%
	合計	61	100.0%



イに○をつけた方. 週当たりの「希望就労日数」

		票数	%
1	1日	0	0.0%
2	2日	4	6.9%
3	3日	30	51.7%
4	4日	18	31.0%
5	5日	4	6.9%
	無回答・無効	2	3.4%
	合計	58	100.0%

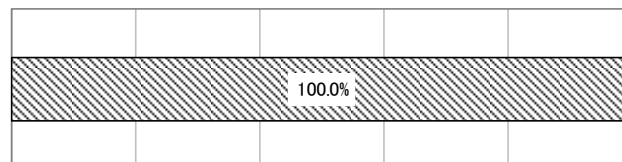
イに○をつけた方. 日当たりの「希望就労時間」

		票数	%
1	3時間	3	5.2%
2	4時間	16	27.6%
3	5時間	28	48.3%
4	6時間	8	13.8%
5	15時間	1	1.7%
	無回答・無効	2	3.4%
	合計	58	100.0%

就労のタイミングは「13歳」の時が27.0%と最も多く、次いで「10歳」が21.6%となっており、子どもが高学年になるまで子育てに専念したい人が多いことが分かります。
 就労形態は「短時間就労」を希望が95.1%となっています。
 希望就労日数は「3日」(51.7%)が最も多く、次いで「4日」(31.0%)となっており、希望就労時間は「5時間」(48.3%)が最も多く、次いで「4時間」(27.6%)となっています。

(2)父親

		票数	%
1	子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)	0	0.0%
2	1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに働きたい	0	0.0%
3	すぐにも、もしくは1年以内に働きたい	4	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	4	100.0%



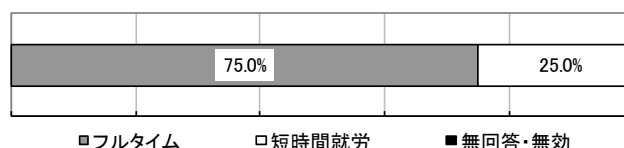
- 子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに働きたい
- すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
- 無回答・無効

2に○をつけた方。希望する年齢

※該当者なし

3に○をつけた方。就労の希望

		票数	%
ア	フルタイム	3	75.0%
イ	短時間就労	1	25.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	4	100.0%



- フルタイム
- 短時間就労
- 無回答・無効

イに○をつけた方。週当たりの「希望就労日数」

		票数	%
1	1日	0	0.0%
2	2日	0	0.0%
3	3日	1	100.0%
4	4日	0	0.0%
5	5日	0	0.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

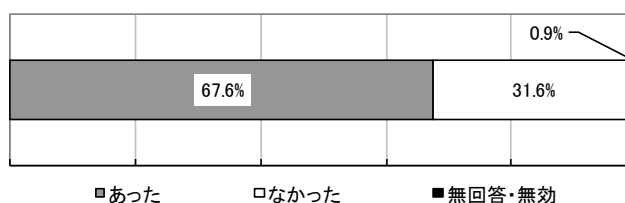
イに○をつけた方。日当たりの「希望就労時間」

		票数	%
1	5時間	1	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

■お子さんの病気の際の対応について

問 15 この1年間にお子さんが病気やケガで学校を休んだことはあるか

		票数	%
1	あった	469	67.6%
2	なかった	219	31.6%
	無回答・無効	6	0.9%
	合計	694	100.0%



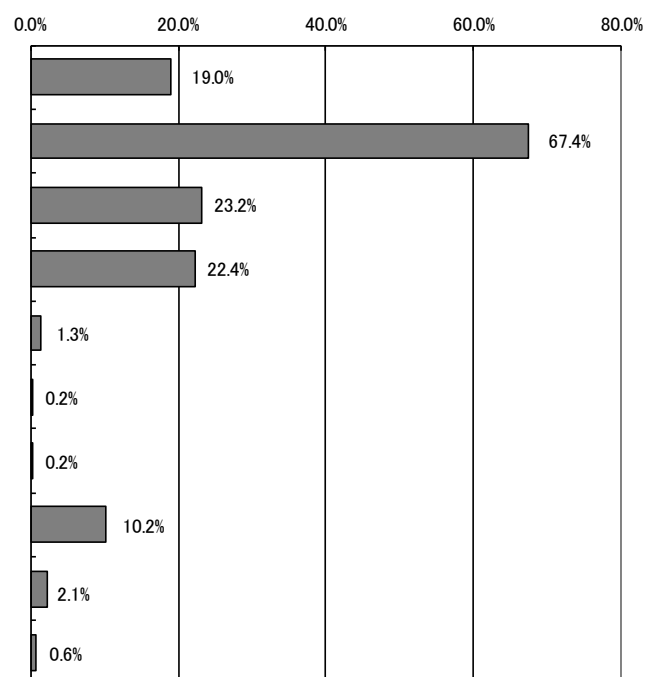
- あった
- なかった
- 無回答・無効

学校を休んだことが「あった」が67.6%、「なかった」が31.6%となっています。

問 15-1 問 15「あった」に○をした方 病気やケガで休んだ場合、この1年間に行った対処方法と休んだ日数について(複数回答)

1年間の対処方法

		票数	%
ア	父親が休んだ	89	19.0%
イ	母親が休んだ	316	67.4%
ウ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	109	23.2%
エ	父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	105	22.4%
オ	病児・病後児の保育施設を利用した	6	1.3%
カ	ベビーシッターや民間の一時預かりの事業所を利用した	1	0.2%
キ	ファミリーサポートセンターを利用した	1	0.2%
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	48	10.2%
ケ	その他	10	2.1%
	無回答・無効	3	0.6%
	合計	688	146.7%



対処方法については、「母親が休んだ」が67.4%と最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が23.2%、「父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた」が22.4%となっています。

「その他」では、「仕事へ連れて行った」、「自営なので、様子を見ながら仕事もした」等の回答がありました。

休んだ日数

ア.父親が休んだ

		票数	%
1	1日	47	52.8%
2	2日	23	25.8%
3	3日	6	6.7%
4	4日	2	2.2%
5	5日	5	5.6%
6	10日	2	2.2%
	無回答・無効	4	4.5%
	合計	89	100.0%

イ.母親が休んだ

		票数	%
1	1日	84	26.6%
2	2日	58	18.4%
3	3日	60	19.0%
4	4日	12	3.8%
5	5日	38	12.0%
6	6日	5	1.6%
7	7日	10	3.2%
8	8日	3	0.9%
9	10日	20	6.3%
10	11日	1	0.3%
11	12日	1	0.3%
12	13日	1	0.3%
13	15日	2	0.6%
14	16日	1	0.3%
15	20日	4	1.3%
16	30日以上	1	0.3%
	無回答・無効	15	4.7%
	合計	316	100.0%

ウ.親族・知人に子どもをみてもらった日数

		票数	%
1	1日	36	33.0%
2	2日	26	23.9%
3	3日	14	12.8%
4	4日	0	0.0%
5	5日	12	11.0%
6	6日	1	0.9%
7	7日	2	1.8%
8	8日	1	0.9%
9	9日	0	0.0%
10	10日	5	4.6%
11	14日	1	0.9%
12	15日	1	0.9%
13	20日	1	0.9%
14	30日以上	1	0.9%
	無回答・無効	8	7.3%
	合計	109	100.0%

エ.父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた日数

		票数	%
1	1日	22	21.0%
2	2日	19	18.1%
3	3日	17	16.2%
4	4日	6	5.7%
5	5日	12	11.4%
6	6日	1	1.0%
7	7日	6	5.7%
8	8日	1	1.0%
9	9日	1	1.0%
10	10日	6	5.7%
11	12日	1	1.0%
12	15日	1	1.0%
13	20日	1	1.0%
	無回答・無効	11	10.5%
	合計	105	100.0%

オ.病児・病後児の保育施設を利用した日数

		票数	%
1	1日	1	16.7%
2	2日	3	50.0%
3	6日	1	16.7%
4	7日	1	16.7%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	6	100.0%

カ.ベビーシッター・民間の一時預かりを利用した日数

		票数	%
1	1日	1	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

キ.ファミリーサポートセンターを利用した日数

		票数	%
1	1日	1	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

ク.仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

		票数	%
1	1日	24	50.0%
2	2日	14	29.2%
3	3日	4	8.3%
4	5日	1	2.1%
5	30日以上	2	4.2%
	無回答・無効	3	6.3%
	合計	48	100.0%

ケ.その他

		票数	%
1	1日	4	40.0%
2	2日	3	30.0%
3	3日	1	10.0%
4	5日	1	10.0%
	無回答・無効	1	10.0%
	合計	10	100.0%

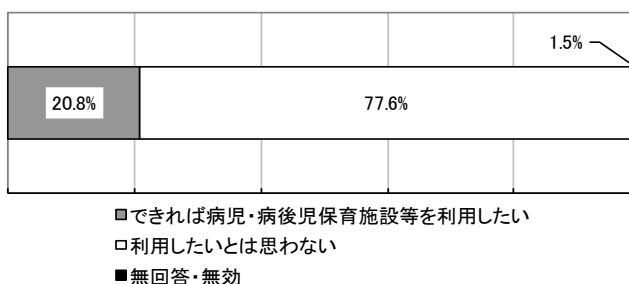
母親が休んだ日数は「1日」が26.6%と最も多く、次いで「3日」が19.0%、「2日」が18.4%とほぼ同じ割合となっています。親族・知人に子どもをみてもらった日数は「1日」が33.0%と最も多く、次いで「2日」が23.9%となっています。

問 A 群 問 15-1 で「ア」「イ」いずれかに○をした方

問 15-2 問 15-1 で「ア」「イ」いずれかに回答した方

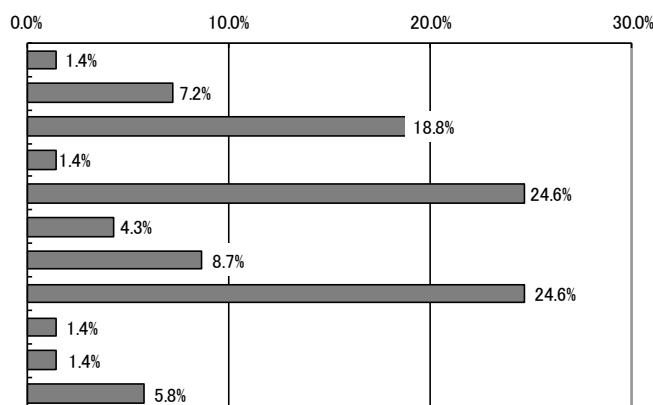
病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか 利用したい場合、利用希望日数について

		票数	%
1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	69	20.8%
2	利用したいとは思わない	257	77.6%
	無回答・無効	5	1.5%
	合計	331	100.0%



病児・病後児のための保育施設を利用したい日数(年間)

		票数	%
1	1日	1	1.4%
2	2日	5	7.2%
3	3日	13	18.8%
4	4日	1	1.4%
5	5日	17	24.6%
6	6日	3	4.3%
7	7日	6	8.7%
8	10日	17	24.6%
9	20日	1	1.4%
10	30日以上	1	1.4%
	無回答・無効	4	5.8%
	合計	69	100.0%

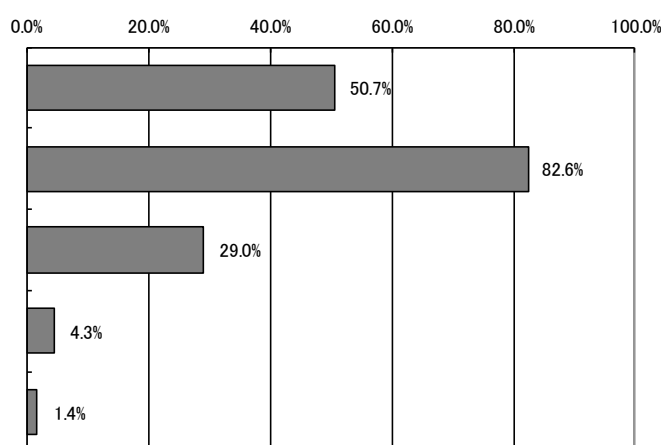


「利用したいとは思わない」が77.6%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が20.8%となっています。利用したい日数は、「5日」「10日」がともに24.6%と最も多く、次いで「3日」が18.8%となっています。

問 15-3 問 15-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方

病児・病後児保育施設等に子どもを預ける場合、どのような事業形態が望ましいか(複数回答)

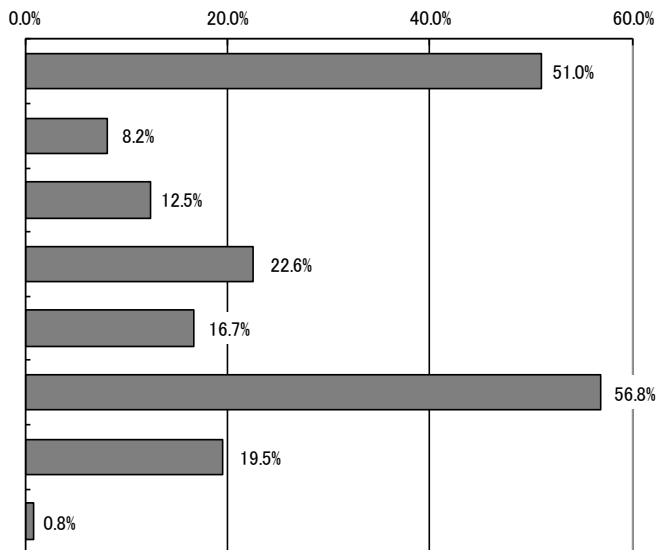
		票数	%
1	他の施設(例:幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業	35	50.7%
2	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	57	82.6%
3	地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリーサポートセンター等)	20	29.0%
4	その他	3	4.3%
	無回答・無効	1	1.4%
	合計	116	168.1%



望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が82.6%と最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が50.7%となっています。「その他」では、「小学校に併設」、「医療的ケア児用の施設」等の回答がありました。

問 15-4 問 15-2 で「2.利用したいとは思わない」に○をつけた方
 病児・病後児保育施設等を利用したくない理由(複数回答)

		票数	%
1	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	131	51.0%
2	地域の事業の質に不安がある	21	8.2%
3	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	32	12.5%
4	利用料がかかる・高い	58	22.6%
5	利用料がわからない	43	16.7%
6	親が仕事を休んで対応する	146	56.8%
7	その他	50	19.5%
	無回答・無効	2	0.8%
	合計	483	187.9%



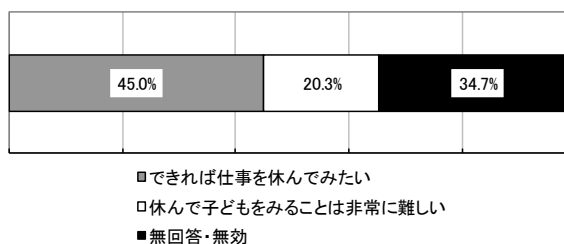
利用したいとは思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」が56.8%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が51.0%となっています。

「その他」では、「子どもが嫌がる」、「自分でみてあげたい」、「祖父母が預かれる」等の回答が多く、「施設があることを知らなかった」、「他者からの感染(二次感染)が心配」、「職場に併設してあるから」等の回答もありました。

問 B 群 問 15-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに○をした方

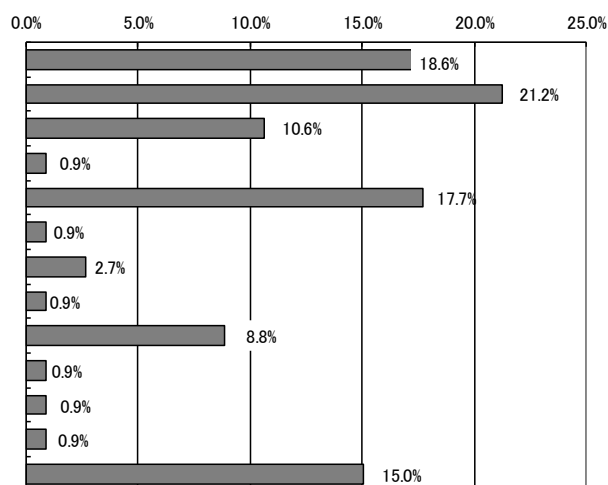
問 15-5 問 15-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方
 病気やけがで学校に行けなかった場合、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思っか

		票数	%
1	できれば仕事を休んで看たい	113	45.0%
2	休んで子どもを看ることは非常に難しい	51	20.3%
	無回答・無効	87	34.7%
	合計	251	100.0%



できれば仕事を休んでみたかった日数

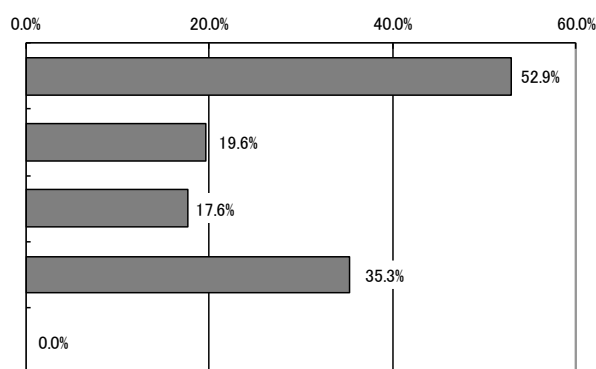
		票数	%
1	1日	21	18.6%
2	2日	24	21.2%
3	3日	12	10.6%
4	4日	1	0.9%
5	5日	20	17.7%
6	6日	1	0.9%
7	7日	3	2.7%
8	8日	1	0.9%
9	10日	10	8.8%
10	13日	1	0.9%
11	20日	1	0.9%
12	30日以上	1	0.9%
	無回答・無効	17	15.0%
	合計	113	100.0%



「できれば仕事を休んで看たい」が45.0%、「休んでみるのが難しい」が20.3%となっています。休んで看たかった日数は「2日」(21.2%)が最も多く、次いで「1日」(18.6%)、「5日」(17.7%)となっています。

問 15-6 問 15-5 で「2. 休んで子どもを看ることは非常に難しい」に○をつけた方
 休んでみることは非常に難しいと思う理由(複数回答)

		票数	%
1	子どもの看護を理由に休みがとれない	27	52.9%
2	自営業なので休めない	10	19.6%
3	休暇日数が足りないので休めない	9	17.6%
4	その他	18	35.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	64	125.5%

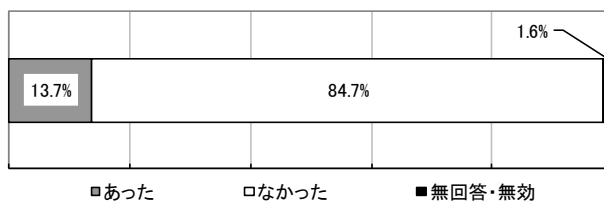


「子どもの看護を理由に休みがとれない」が52.9%と最も多く、次いで「その他」が35.3%となっています。「その他」は、「人手不足」、「仕事が忙しくて休めない」、「休みにくい」等の回答が挙げられています。

■お子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について

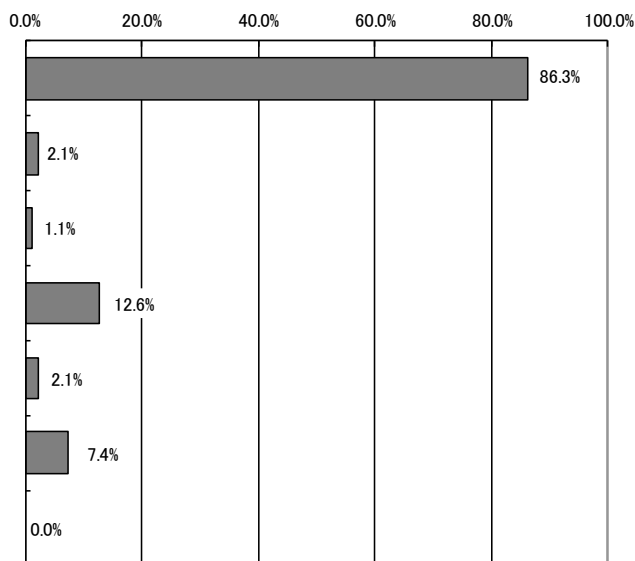
問 16 の1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか(預け先が見つからなかった場合も含む) あった場合、対処方法と日数(複数回答)

		票数	%
1	あった	95	13.7%
2	なかった	588	84.7%
	無回答・無効	11	1.6%
	合計	694	100.0%



1と答えた方 1年間の対処方法

		票数	%
ア	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	82	86.3%
イ	子育て短期援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	2	2.1%
ウ	イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	1	1.1%
エ	仕方なく子どもを連れていった	12	12.6%
オ	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	2.1%
カ	その他	7	7.4%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	106	111.6%



泊りがけで保護者以外にみてもらったことが「なかった」が84.7%で、「あった」が13.7%となっています。

あった場合は、「(同居人含む)親族・知人にみてもらった」が86.3%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを連れていった」が12.6%となっています。

「その他」では、「用事を断念した」等の回答がありました。

泊りがけでみてもらった日数

日数(年間)

ア (同居者を含む)親族・知人にみてもらった日数

		票数	%
1	1日	30	36.6%
2	2日	19	23.2%
3	3日	10	12.2%
4	4日	5	6.1%
5	5日	7	8.5%
7	7日	1	1.2%
8	8日	1	1.2%
10	10日	3	3.7%
12	12日	1	1.2%
15	15日	1	1.2%
21	25日	0	0.0%
	無回答・無効	4	4.9%
	合計	82	100.0%

イ 子育て短期援助事業(ショートステイ)を利用した日数

		票数	%
1	1日	1	50.0%
2	30日以上	0	0.0%
	無回答・無効	1	50.0%
	合計	2	100.0%

ウ イ以外の保育事業を利用した日数

		票数	%
1	10日	1	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

エ 仕方なく子どもを連れていった日数

		票数	%
1	1日	4	33.3%
2	2日	2	16.7%
3	3日	2	16.7%
4	5日	1	8.3%
5	7日	1	8.3%
	無回答・無効	2	16.7%
	合計	12	100.0%

オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

		票数	%
1	1日	1	50.0%
2	2日	1	50.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	2	100.0%

カ その他の日数

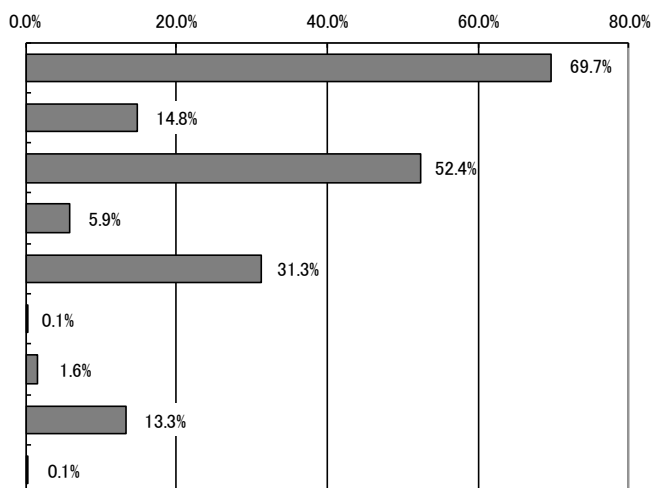
		票数	%
1	1日	1	14.3%
2	2日	2	28.6%
	無回答・無効	4	57.1%
	合計	7	100.0%

泊りがけで「(同居人含む)親族・知人にみてもらった」日数は「1日」が36.6%で最も多く、次いで「2日」が23.2%となっています。

■お子さんの放課後の過ごし方について

問 17 お子さんは放課後をどのような場所で過ごしているか（放課後児童クラブ(学童保育)」の場合には、利用を希望する時間も）(複数回答)

		票数	%
1	自宅	484	69.7%
2	祖父母宅や友人・知人宅	103	14.8%
3	習い事(音楽、スポーツ、学習塾など)	364	52.4%
4	放課後カッパ塾	41	5.9%
5	放課後児童クラブ(学童保育)	217	31.3%
6	ファミリーサポートセンター	1	0.1%
7	放課後等デイサービス	11	1.6%
8	その他(区民会館、公園など)	92	13.3%
	無回答・無効	1	0.1%
	合計	1314	189.3%



「自宅」が69.7%と最も多く、次いで「習い事」が52.4%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が31.3%となっています。

1. 自宅で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	75	15.5%
2	2日	88	18.2%
3	3日	85	17.6%
4	4日	41	8.5%
5	5日	147	30.4%
6	6日	8	1.7%
7	7日	20	4.1%
	無回答・無効	20	4.1%
	合計	484	100.0%

2. 祖父母宅や友人・知人宅で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	48	46.6%
2	2日	21	20.4%
3	3日	10	9.7%
4	4日	6	5.8%
5	5日	15	14.6%
	無回答・無効	3	2.9%
	合計	103	100.0%

3. 習い事で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	98	26.9%
2	2日	122	33.5%
3	3日	83	22.8%
4	4日	38	10.4%
5	5日	17	4.7%
6	6日	2	0.5%
7	7日	1	0.3%
	無回答・無効	3	0.8%
	合計	364	100.0%

4. 放課後カッパ塾で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	23	56.1%
2	2日	17	41.5%
	無回答・無効	1	2.4%
	合計	41	100.0%

5. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	4	1.8%
2	2日	11	5.1%
3	3日	30	13.8%
4	4日	29	13.4%
5	5日	139	64.1%
6	6日	2	0.9%
	無回答・無効	2	0.9%
	合計	217	100.0%

5. 放課後児童クラブ(学童保育)利用時間

		票数	%
1	16時まで	8	3.7%
2	17時まで	63	29.0%
3	18時まで	100	46.1%
4	19時まで	40	18.4%
5	21時まで	1	0.5%
	無回答・無効	5	2.3%
	合計	217	100.0%

6. ファミリーサポートセンターで過ごしている日数

		票数	%
1	1日	1	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

8. その他(区民会館、公園など)

		票数	%
1	1日	26	28.3%
2	2日	22	23.9%
3	3日	20	21.7%
4	4日	13	14.1%
5	5日	10	10.9%
	無回答・無効	1	1.1%
	合計	92	100.0%

7. 放課後等デイサービスで過ごしている日数

		票数	%
1	1日	1	9.1%
2	2日	2	18.2%
3	3日	2	18.2%
4	4日	1	9.1%
5	5日	4	36.4%
6	6日	1	9.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	11	100.0%

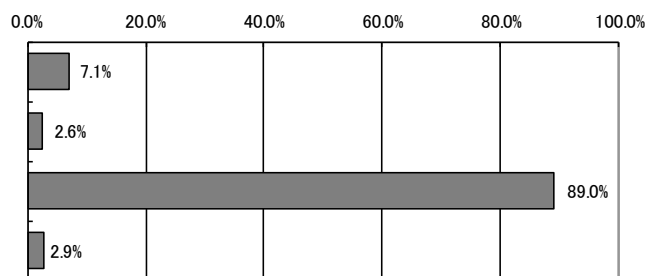
利用日数については、「自宅」は「5日」(30.4%)で最も多く、次いで「2日」が18.2%となっています。習い事は「2日」が33.5%、放課後児童クラブ(学童保育)は「5日」が64.1%と最も多くなっています。

また、放課後児童クラブの利用時間については、「18時まで」が46.1%、次いで「17時まで」が29.0%となっています。

問 18 土・日・祝日の放課後児童クラブの利用希望と利用したい時間帯について

(1)土曜日

		票数	%
1	低学年(1～3年生)で利用したい(している)	49	7.1%
2	高学年(4～6年生)で利用したい(している)	18	2.6%
3	利用する必要はない	618	89.0%
	無回答・無効	20	2.9%
	合計	705	101.6%

「1.低学年で利用したい(している)」を選択した方
土曜の(希望)開始時間

		票数	%
1	7時	8	16.3%
2	8時	24	49.0%
3	9時	14	28.6%
4	15時	2	4.1%
	無回答・無効	1	2.0%
	合計	49	100.0%

(希望)終了時間

		票数	%
1	11時	1	2.0%
2	12時	1	2.0%
3	13時	1	2.0%
4	14時	1	2.0%
5	15時	5	10.2%
6	16時	2	4.1%
7	17時	10	20.4%
8	18時	19	38.8%
9	19時	6	12.2%
10	20時	2	4.1%
	無回答・無効	1	2.0%
	合計	49	100.0%

「2.高学年で利用したい(している)」を選択した方
土曜の放課後児童クラブ(希望)開始時間

		票数	%
1	7時	5	27.8%
2	8時	5	27.8%
3	9時	6	33.3%
4	15時	2	11.1%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	18	100.0%

(希望)終了時間

		票数	%
1	12時	1	5.6%
2	13時	1	5.6%
3	15時	1	5.6%
4	16時	1	5.6%
5	17時	2	11.1%
6	18時	7	38.9%
7	19時	4	22.2%
8	20時	1	5.6%
	無回答・無効	1	5.6%
	合計	18	100.0%

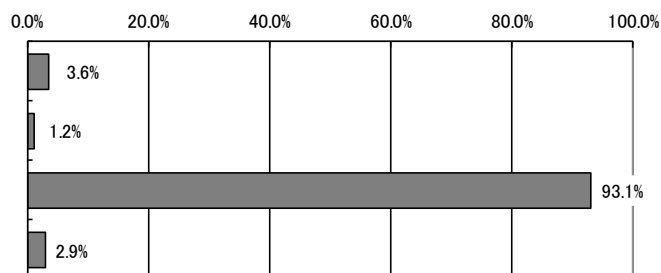
土曜日は「利用する必要はない」が89.0%で最も多くなっています。

「利用したい(している)」は合わせて9.7%で、「低学年」での希望が多くなっています。

また、低学年の希望の開始時間は「8時」が49.0%、終了時間は「18時」が38.8%で最も多くなっています。高学年の希望の開始時間は「9時」が33.3%、終了時間は「18時」が38.9%で最も多くなっています。

(2)日曜日

		票数	%
1	低学年(1～3年生)で利用したい(している)	25	3.6%
2	高学年(4～6年生)で利用したい(している)	8	1.2%
3	利用する必要はない	646	93.1%
	無回答・無効	20	2.9%
	合計	699	100.7%



「1.低学年で利用したい(している)」を選択した方 日曜の放課後児童クラブ(希望)開始時間

		票数	%
1	7時	4	16.0%
2	8時	12	48.0%
3	9時	7	28.0%
4	10時	1	4.0%
5	13時	1	4.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	25	100.0%

(希望)終了時間

		票数	%
1	11時	1	4.0%
2	15時	2	8.0%
3	16時	2	8.0%
4	17時	5	20.0%
5	18時	11	44.0%
6	19時	3	12.0%
7	20時	1	4.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	25	100.0%

「2.高学年で利用したい(している)」を選択した方 日曜の(希望)開始時間

		票数	%
1	7時	2	25.0%
2	8時	3	37.5%
3	9時	1	12.5%
4	10時	2	25.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	8	100.0%

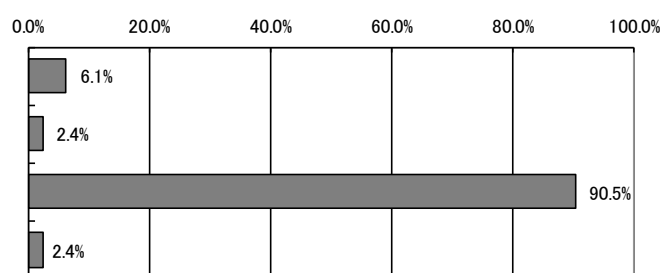
(希望)終了時間

		票数	%
1	17時	2	25.0%
2	18時	3	37.5%
3	19時	2	25.0%
4	20時	1	12.5%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	8	100.0%

日曜日は「利用する必要はない」が93.1%で最も多くなっています。
「利用したい(している)」は合わせて4.8%で、「低学年」での希望が多くなっています。
また、低学年の希望の開始時間は「8時」が48.0%、終了時間は「18時」が44.0%で最も多くなっています。

(3)祝日

		票数	%
1	低学年(1～3年生)で利用したい(している)	42	6.1%
2	高学年(4～6年生)で利用したい(している)	17	2.4%
3	利用する必要はない	628	90.5%
	無回答・無効	17	2.4%
	合計	704	101.4%



**「1.低学年で利用したい(している)」を選択した方
祝日の放課後児童クラブ(希望)開始時間**

		票数	%
1	7時	7	16.7%
2	8時	21	50.0%
3	9時	12	28.6%
4	10時	1	2.4%
	無回答・無効	1	2.4%
	合計	42	100.0%

(希望)終了時間

		票数	%
1	15時	4	9.5%
2	16時	2	4.8%
3	17時	7	16.7%
4	18時	20	47.6%
5	19時	7	16.7%
6	20時	1	2.4%
	無回答・無効	1	2.4%
	合計	42	100.0%

**「2.高学年で利用したい(している)」を選択した方
祝日の放課後児童クラブ(希望)開始時間**

		票数	%
1	7時	4	23.5%
2	8時	7	41.2%
3	9時	6	35.3%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	17	100.0%

(希望)終了時間

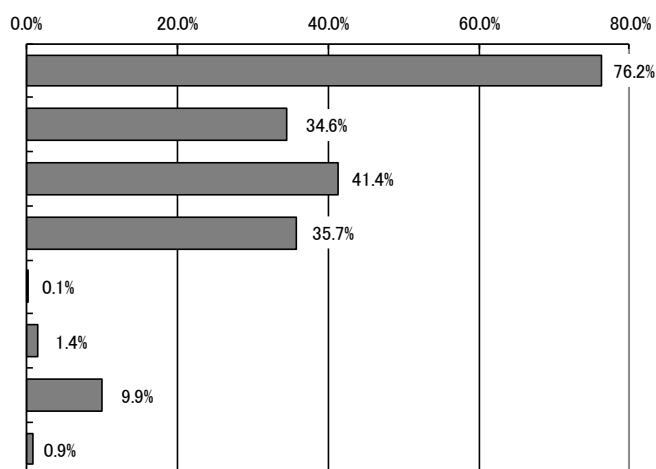
		票数	%
1	15時	1	5.9%
2	17時	5	29.4%
3	18時	7	41.2%
4	19時	3	17.6%
5	20時	1	5.9%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	17	100.0%

祝日は「利用する必要はない」が90.5%と最も多くなっています。
「利用したい(している)」は合わせて8.5%で、「低学年」の希望が多くなっています。
また、低学年の希望の開始時間は「8時」が50.0%、終了時間は「18時」が47.6%で最も多くなっています。
高学年の希望の開始時間は「8時」、終了時間は「18時」が最も多くなっています。

■お子さんの長期休暇の過ごし方について

問 19 お子さんは夏休み・冬休み等長期の休暇期間中をどのような場所で過ごしているか。
 (「放課後児童クラブ(学童保育)」の場合、利用時間も)(複数回答)

		票数	%
1	自宅	529	76.2%
2	祖父母宅や友人・知人宅	240	34.6%
3	習い事(音楽・スポーツ・学習塾等)	287	41.4%
4	放課後児童クラブ(学童保育)	248	35.7%
5	ファミリーサポートセンター	1	0.1%
6	放課後等デイサービス	10	1.4%
7	その他(区民間、公園など)	69	9.9%
	無回答・無効	6	0.9%
	合計	1390	200.3%



「自宅」が76.2%と最も多く、次いで「習い事(音楽・スポーツ・学習塾等)」が41.4%、「放課後児童クラブ(学童保育)」が35.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が34.6%でほぼ同じ割合となっています。

1. 自宅で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	39	7.4%
2	2日	87	16.4%
3	3日	59	11.2%
4	4日	56	10.6%
5	5日	106	20.0%
6	6日	20	3.8%
7	7日	129	24.4%
	無回答・無効	33	6.2%
	合計	529	100.0%

2. 祖父母宅や友人・知人宅で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	95	39.6%
2	2日	61	25.4%
3	3日	31	12.9%
4	4日	10	4.2%
5	5日	21	8.8%
6	6日	1	0.4%
7	7日	5	2.1%
	無回答・無効	16	6.7%
	合計	240	100.0%

3. 習い事で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	59	20.6%
2	2日	97	33.8%
3	3日	64	22.3%
4	4日	26	9.1%
5	5日	28	9.8%
6	6日	4	1.4%
7	7日	2	0.7%
	無回答・無効	7	2.4%
	合計	287	100.0%

4. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごしている日数

		票数	%
1	1日	7	2.8%
2	2日	11	4.4%
3	3日	45	18.1%
4	4日	43	17.3%
5	5日	132	53.2%
6	6日	7	2.8%
	無回答・無効	3	1.2%
	合計	248	100.0%

4. 放課後児童クラブ(学童保育)利用時間

		票数	%
1	12時まで	1	0.4%
2	14時まで	2	0.8%
3	15時まで	4	1.6%
4	16時まで	31	12.5%
5	17時まで	67	27.0%
6	18時まで	107	43.1%
7	19時まで	32	12.9%
8	21時まで	1	0.4%
	無回答・無効	3	1.2%
	合計	248	100.0%

5. ファミリーサポートセンターで過ごしている日数

		票数	%
1	1日	1	100.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	1	100.0%

6. 放課後等デイサービスで過ごしている日数

		票数	%
1	1日	1	10.0%
2	2日	0	0.0%
3	3日	1	10.0%
4	4日	1	10.0%
5	5日	6	60.0%
6	6日	1	10.0%
	無回答・無効	0	0.0%
	合計	10	100.0%

7. その他(区民会館、公園など)

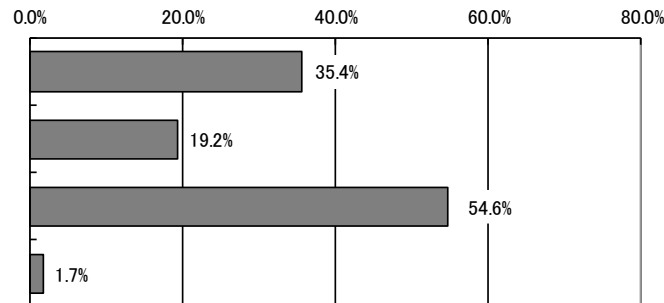
		票数	%
1	1日	20	29.0%
2	2日	20	29.0%
3	3日	11	15.9%
4	4日	6	8.7%
5	5日	6	8.7%
6	6日	1	1.4%
7	7日	1	1.4%
	無回答・無効	4	5.8%
	合計	69	100.0%

利用日数は、「自宅」が「7日」で24.4%と最も多く、次いで「5日」が20.0%となっています。習い事(音楽・スポーツ・学習塾等)は「2日」で33.8%、放課後児童クラブ(学童保育)は「5日」の53.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」は「1日」が39.6%で最も多くなっています。

また、放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望時間は、「18時まで」が43.1%で最も多くなっています。

問 20 夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について(複数回答)

		票数	%
1	低学年(1~3年生)で利用したい(している)	246	35.4%
2	高学年(4~6年生)で利用したい(している)	133	19.2%
3	利用する必要はない	379	54.6%
	無回答・無効	12	1.7%
	合計	770	111.0%



長期の休暇期間中は「利用する必要はない」が54.6%で最も多くなっています。「利用したい(している)」は合わせて54.6%で、「低学年」での希望が35.4%と多くなっています。

「1.低学年で利用したい(している)」を選択した方
放課後児童クラブ利用(希望)開始時間

		票数	%
1	7時	48	19.5%
2	8時	134	54.5%
3	9時	49	19.9%
4	10時	5	2.0%
5	11時	0	0.0%
6	12時	0	0.0%
7	13時	0	0.0%
8	14時	0	0.0%
9	15時	1	0.4%
	無回答・無効	9	3.7%
	合計	246	100.0%

(希望)終了時間

		票数	%
1	12時	1	0.4%
2	13時	0	0.0%
3	14時	1	0.4%
4	15時	16	6.5%
5	16時	27	11.0%
6	17時	56	22.8%
7	18時	100	40.7%
8	19時	30	12.2%
9	20時	6	2.4%
10	21時	1	0.4%
	無回答・無効	8	3.3%
	合計	246	100.0%

「2.高学年で利用したい(している)」を選択した方
放課後児童クラブ利用(希望)開始時間

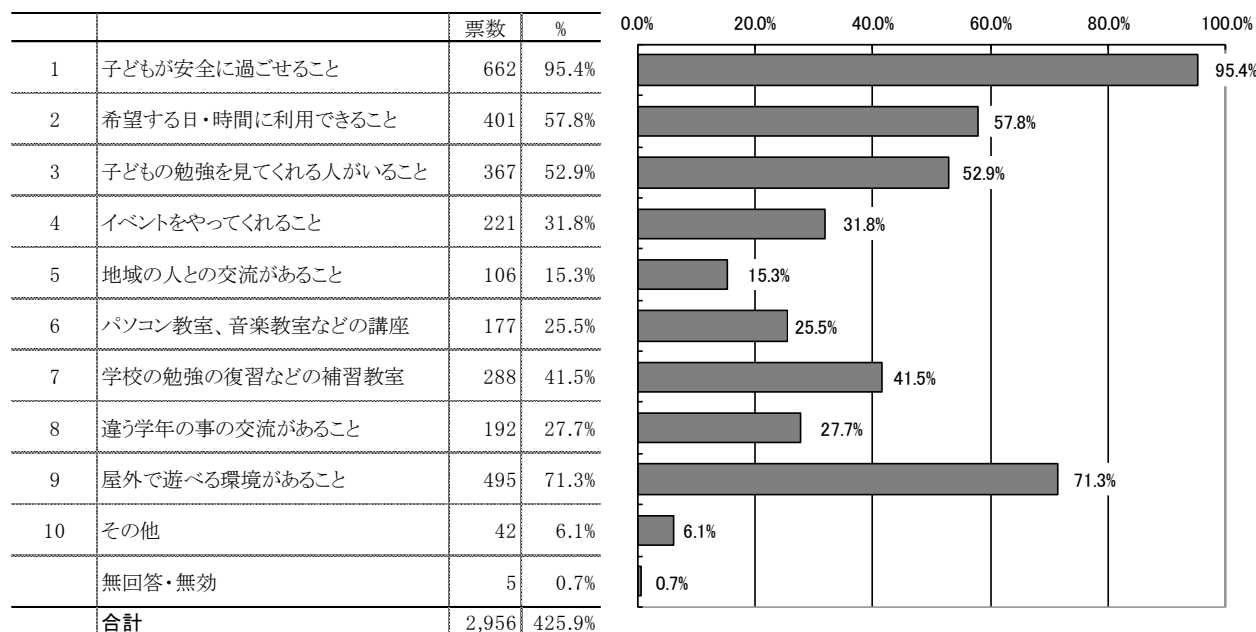
		票数	%
1	7時	27	20.3%
2	8時	73	54.9%
3	9時	28	21.1%
4	10時	1	0.8%
5	11時	0	0.0%
6	12時	0	0.0%
7	13時	0	0.0%
8	14時	1	0.8%
	無回答・無効	3	2.3%
	合計	133	100.0%

(希望)終了時間

		票数	%
1	14時	1	0.8%
2	15時	4	3.0%
3	16時	11	8.3%
4	17時	41	30.8%
5	18時	53	39.8%
6	19時	19	14.3%
7	20時	2	1.5%
	無回答・無効	2	1.5%
	合計	133	100.0%

低学年の希望の開始時間は「8時」が54.5%、終了時間は「18時」が40.7%で最も多くなっています。高学年の希望の開始時間は「8時」が54.9%、終了時間は「18時」が39.8%で最も多くなっています。

問 21 夏休み・冬休み等長期の休暇期間中に過ごす場所に望むこと(複数回答) 牛久市独自設問



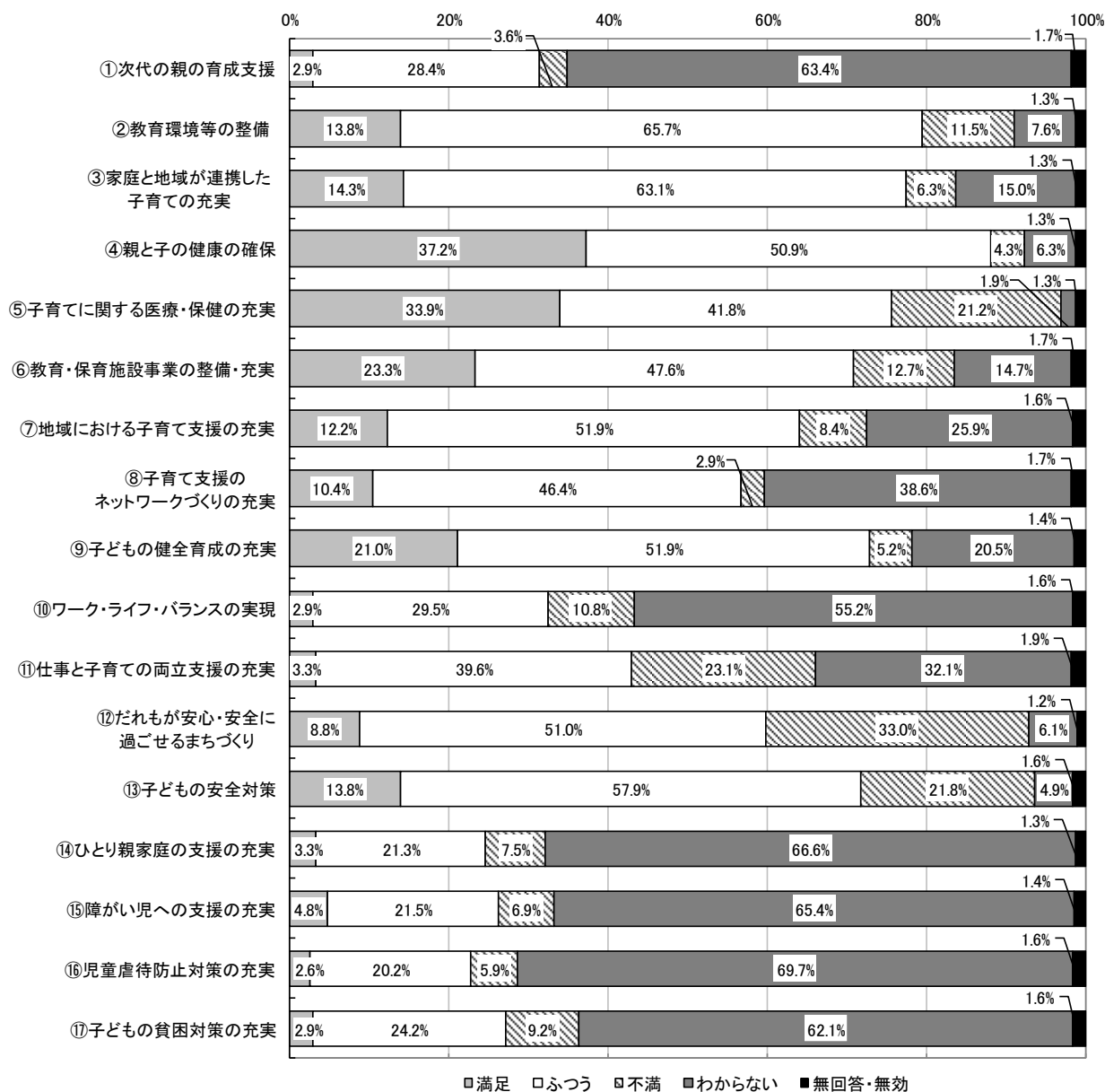
長期休暇中に過ごす場所に望むことは、「子どもが安全に過ごせること」が95.4%と最も多く、次いで「屋外で遊べる環境があること」が71.3%、「希望する日・時間に利用できること」が57.8%となっています。

その他の記述では、「給食の提供」、「子どもが利用できる場所（プール・学校校庭の開放）」、「同学年の子どもとの交流」等の回答が多く、他、「信頼できる人がいること」、「無料で利用できる環境」等の回答もありました。

■牛久市の子育て環境や支援について

問 22 牛久市の子ども・子育て支援に関わる項目①～⑰の「A 満足度」と「B 必要性(重要性)」牛久市独自設問

【満足度】



□満足 □ふつつ □不満 □わからない ■無回答・無効

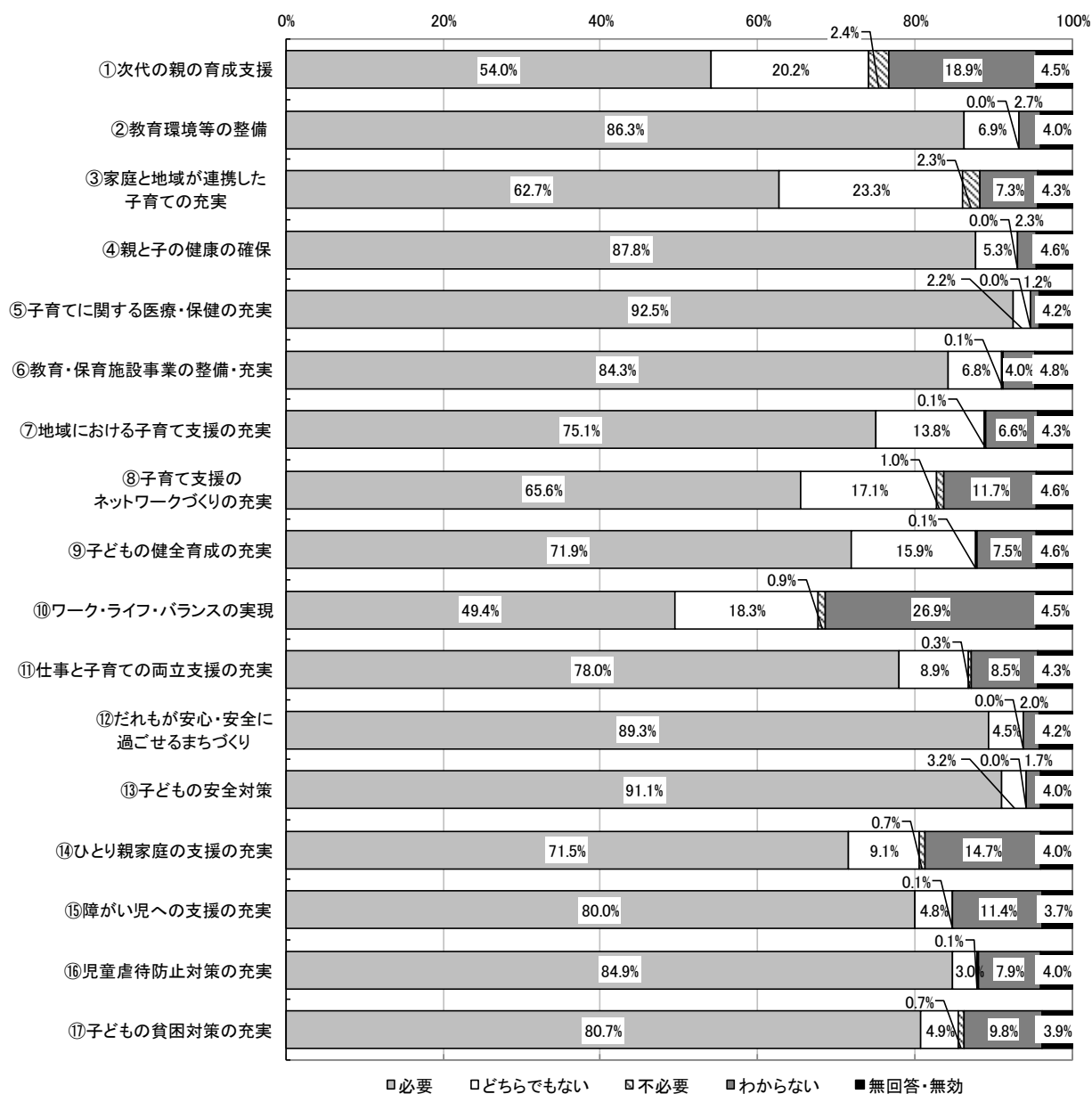
※①～⑰に当てはまる事業等について

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| ①将来親となる中高生との交流の機会の提供(幼児とのふれあい体験事業)など | ⑨放課後カッパ塾、子育てサロン、スポーツ少年団の活動支援など |
| ②幼児教育、学校教育など | ⑩男女共同参画の推進 |
| ③家庭教育学級、地域での社会奉仕活動 | ⑪雇用環境、労働環境の改善 |
| ④妊産婦健康診査、乳児検診、食育推進など | ⑫通学路の整備、公園の整備、バリアフリー化など |
| ⑤予防接種、医療費助成など | ⑬防犯・防災、交通安全 |
| ⑥延長保育、一時預かり、放課後児童クラブなど | ⑭母子家庭、父子家庭への支援など |
| ⑦家庭児童相談、子育て広場、地域子育て支援センターなど | ⑮各種相談事業、発達支援など |
| ⑧赤ちゃん交流、育児サークル等の支援など | ⑯虐待の早期発見・早期対応など |
| | ⑰就学援助・支援など |

子ども・子育て支援に関する満足度は「親と子の健康の確保」で「満足」が37.2%と最も高く、次いで「子育てに関する医療・保健の充実」が33.9%となっています。

また、「誰もが安心・安全に過ごせるまちづくり」は「不満」が3割以上と高くなっています。

【重要性(必要性)】



子ども・子育て支援に関する重要性（必要性）は「子育てに関する医療・保健の充実」で「必要」が92.5%と最も高く、次いで「子どもの安全対策」が91.1%となっています。

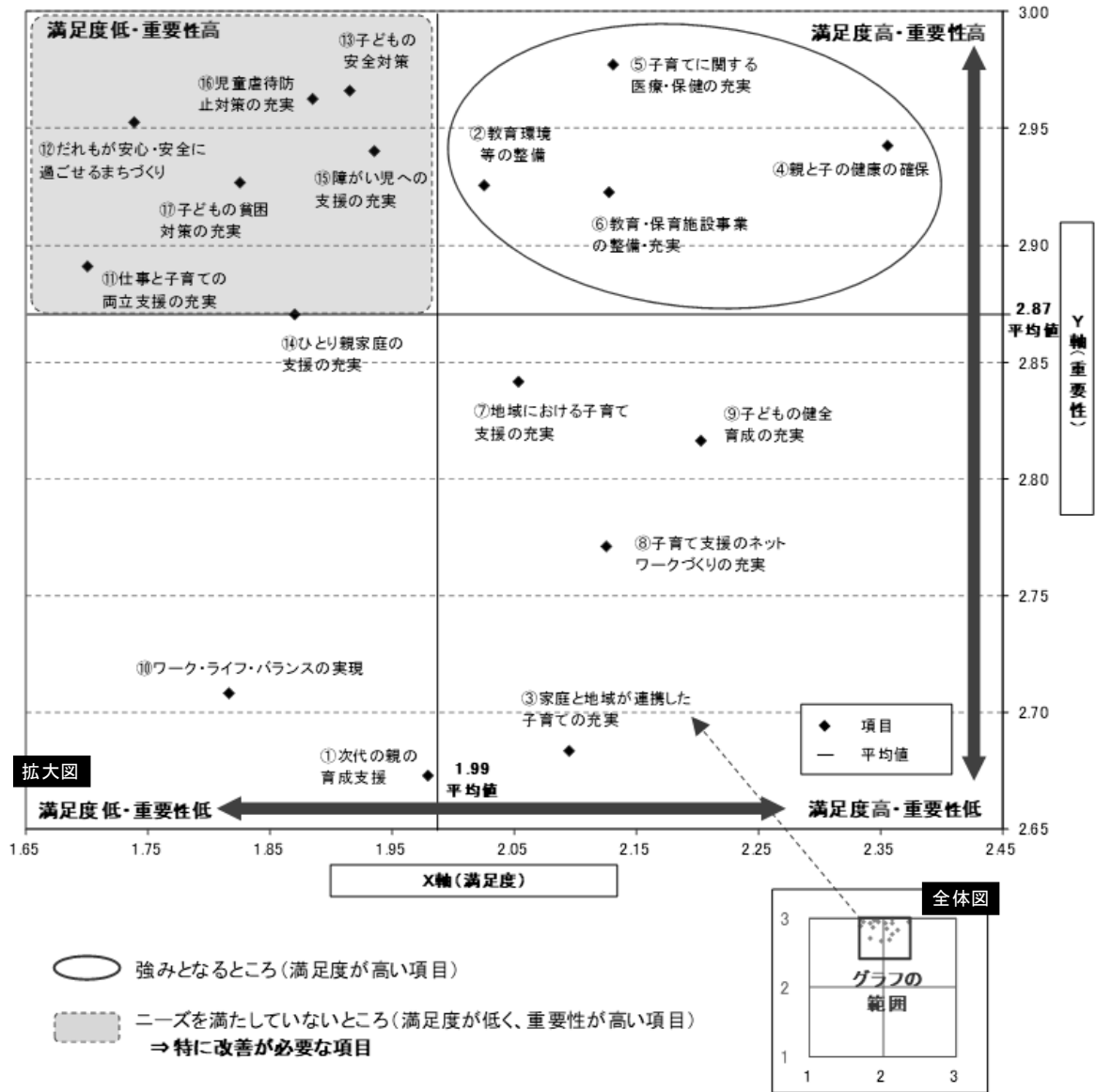
ほとんどの項目で「必要」が7～9割以上となっており、重要性が高くなっていますが、「ワーク・ライフ・バランスの実現」(49.4%)、「時代の親の育成支援」(54.0%)は5割程度と低くなっています。

【CS分析】

【※CS分析とは】CS分析は、満足度、重要性（必要性）の回答を点数化し、設問（項目）ごとに平均して数値を算出します。満足度を横軸、重要性（必要性）を縦軸として、点数化した各設問（項目）を分布することで、改善する項目と優先順位を明らかにする分析です。

【参考】点数化については、1～17項目の回答を以下の通り点数化し、平均値を算出しています。（「無効・無回答」はのぞく）

満足度	満足 3点	ふつう 2点	不満 1点
重要（必要）度	必要 3点	どちらでもない 2点	不必要 1点



満足度	満足 = 3	重要性	必要 = 3
	ふつう = 2		どちらでもない = 2
	不満 = 1		不必要 = 1

牛久市の子ども・子育て支援における満足度および必要性（重要性）については、全項目の平均値が満足度で 1.99、重要性で 2.87 となっており、満足度の評価が 2.00 をやや下回っています。

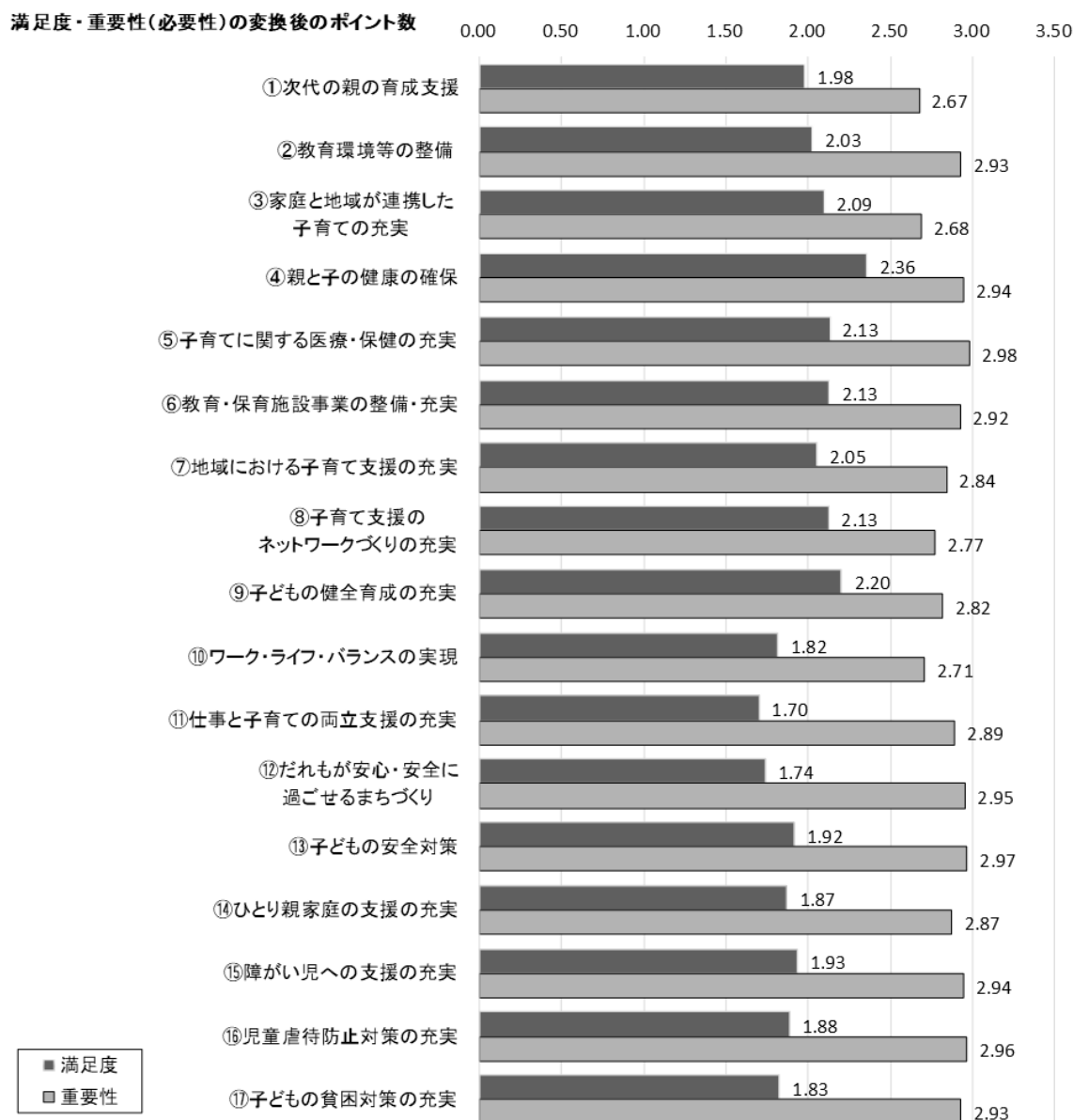
満足度が高く・重要性が高い「強み」は右上の丸囲み内、「④親と子の健康の確保」など4項目で、一方、重要性が高いにも関わらず満足度が低い、「特に改善が必要な項目」は、左上の四角囲み内、「⑪仕事と子育ての両立支援の充実」、「⑫だれもが安心・安全に過ごせるまちづくり」など6項目です。

【満足度・重要度(必要性)の変換後のポイント数】

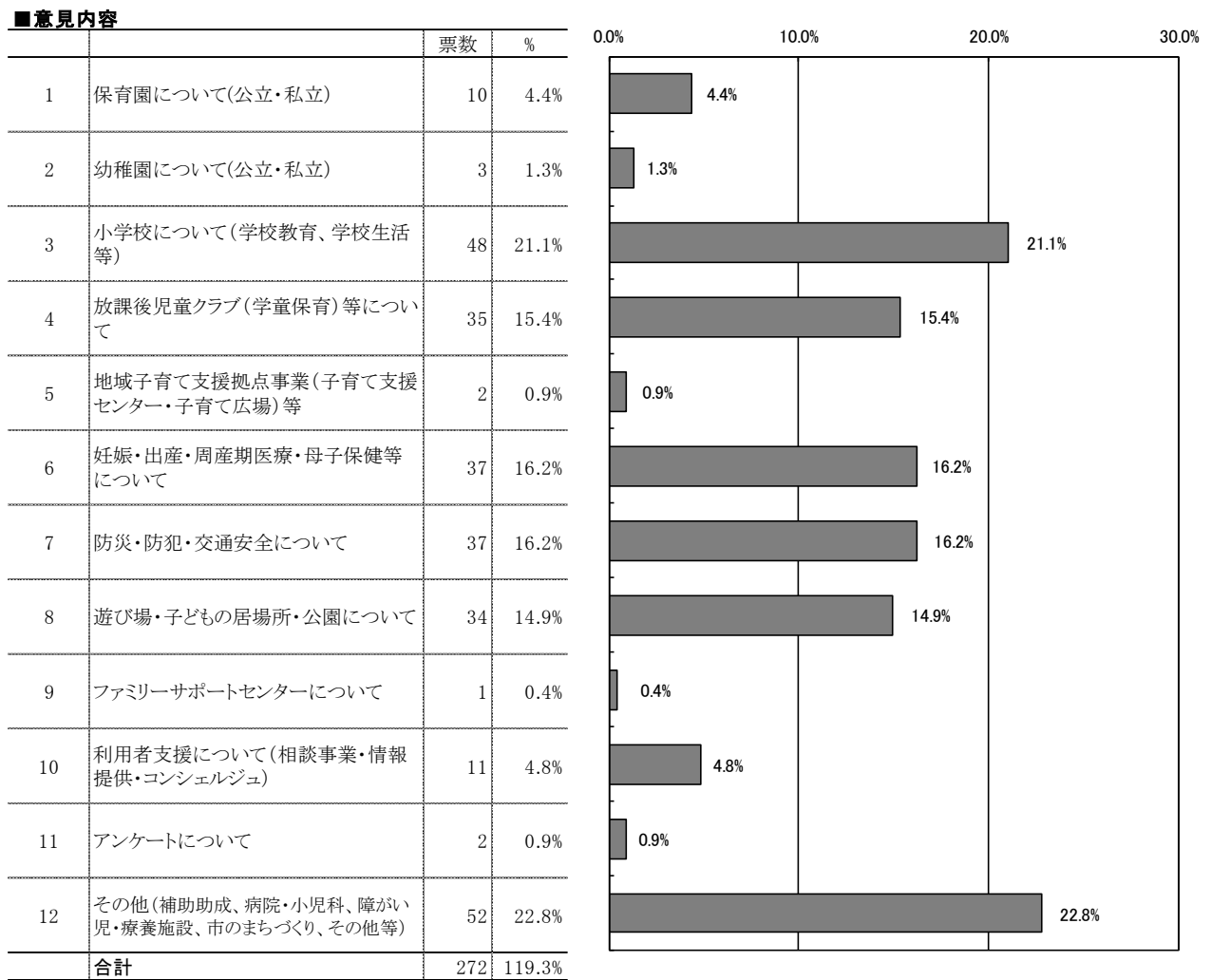
アンケート項目	満足度	重要性
①次代の親の育成支援(将来親となる中高生との交流の機会)	1.98	2.67
②教育環境等の整備(幼児教育・学校教育)	2.03	2.93
③家庭と地域が連携した子育ての充実(家庭教育学級・地域での社会奉仕活動)	2.09	2.68
④親と子の健康の確保(妊産婦健康診査・乳児検診・食育推進など)	2.36	2.94
⑤子育てに関する医療・保健の充実(予防接種・医療費助成など)	2.13	2.98
⑥教育・保育施設事業の整備・充実(延長保育・一時預かり・放課後児童クラブなど)	2.13	2.92
⑦地域における子育て支援の充実(家庭児童相談・子育て広場・地域子育て支援センターなど)	2.05	2.84
⑧子育て支援のネットワークづくりの充実(赤ちゃん交流・育児サークル等の支援など)	2.13	2.77
⑨子どもの健全育成の充実(放課後カッパ塾・子育てサロン・スポーツ少年団の活動支援など)	2.20	2.82
⑩ワーク・ライフ・バランスの実現(男女共同参画の推進)	1.82	2.71
⑪仕事と子育ての両立支援の充実(雇用環境・労働環境の改善)	1.70	2.89
⑫だれもが安心・安全に過ごせるまちづくり(通学路の整備・公園の整備・バリアフリー化など)	1.74	2.95
⑬子どもの安全対策(防犯・防災・交通安全)	1.92	2.97
⑭ひとり親家庭の支援の充実(母子家庭・父子家庭への支援など)	1.87	2.87
⑮障がい児への支援の充実(各種相談事業・発達支援など)	1.93	2.94
⑯児童虐待防止対策の充実(虐待の早期発見・早期対応など)	1.88	2.96
⑰子どもの貧困対策の充実(就学援助・支援など)	1.83	2.93
項目の平均値	1.99	2.87

■ 最大値
□ 最低値

【ポイント数のグラフ】



問 23 牛久市の教育・保育環境の充実等子育ての環境や支援に関してのご意見(自由回答/項目別に整理)



※1人の回答者が複数の項目にわたって回答している場合は、それぞれの項目に票を入れているため、回答者数と票数は一致しない。

教育・保育環境の充実等子育ての環境や支援に関してのご意見については、「地域子ども・子育て支援事業」が最も多くなっています。

意見内容を項目別に細分化すると、「小学校について」(21.1%)、「その他」(22.8%)の要望が多く寄せられています。

3 調査票

(1) 未就学児調査票

未

牛久市子ども・子育て支援に関する調査



調査ご協力をお願い



日頃より、牛久市のまちづくりにご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

この度、子ども・子育て支援法に基づき「第2期牛久市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。

この調査は、保護者の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」をおうかがいすることにより、第2期の計画で目指す教育・保育・子育て支援の必要な量を市が算出するために行うものです。

調査票は無記名でご回答いただきますので、個人の特定や、プライバシーに関わる内容が公表されることはありません。本調査の分析のために統計的に処理し、子ども・子育て支援事業計画の目的以外で使用することはありません。

質問数が多く、お忙しい中ご負担をおかけいたしますが、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます。

※最初にお読みください

●ご記入にあたってのお願い●

○回答は、宛名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。

○ご記入は、黒や青のボールペンや鉛筆など濃い色の筆記具で、はっきりとお書きください。

○回答は、選択肢の番号・記号を選び○をつけていただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。

○回答の○の数は、「1つに○」「すべてに○」などと表示してありますので、それに合わせてください。また、「その他」を選んだ場合は（ ）の中に具体的な内容を記入してください。

○数字（時間、日数、回数、年齢など）を記入していただく場合は、一枠に一文字、記入してください。

○時間を記入していただく場合は、24時間制で、29分までは切り捨て、30分以上は切り上げてください。（例 ①8時30分は「9時」と記入、②18時15分は「18時」と記入）

○設問によっては、回答していただく方が限られる場合があります。矢印やことわり書きなどに従って回答してください。

※調査票における用語の定義や子ども・子育て支援新制度の考え方等は最終ページをご覧ください。

●お問い合わせ先●

牛久市 保健福祉部 こども家庭課 電話:029-873-2111(代)<内線 1732>

ご記入いただいた調査票は、切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れ
平成30年12月7日(金)までにポストにご投函ください。

返信用封筒に住所・氏名を記入する必要はありません。

■お住まいの地域についてうかがいます■

問1 お住まいの場所はどの小学校区ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。わからない場合は、お住まいの町名と何丁目かを記入してください。

- | | | | |
|-------------------|-----------|-----------|----------------|
| 1. 牛久小学校区 | 2. 岡田小学校区 | 3. 奥野小学校区 | 4. 牛久第二小学校区 |
| 5. 中根小学校区 | 6. 向台小学校区 | 7. 神谷小学校区 | 8. ひたち野うしく小学校区 |
| 9. わからない（お住まいの町名： | | | ）記入例：中央3丁目 |

■宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます■

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数と、末子のお子さんの生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|-------|---------|---|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ | ） |
|-------|-------|---------|---|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|---------|---|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（ | ） |
|----------|---------|---------|----------|---------|---|

■子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます■

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育園 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ | ） | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育園 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ | ） | | | |

問9 保育園等施設の通園の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------------|---|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } | ⇒問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ⇒問10へ |

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. ある ⇒問10-1へ | 2. ない ⇒問11へ |
|---------------|-------------|

問10-1 問10で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（子育て広場等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 市の子育て関連担当窓口（市家庭児童相談室等） |
| 11. その他 () | 【例】のぞみ園・ベビーシッター等 |

問 11 すべての方にかがいます。毎日の育児で大変なことや困っていることはありますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児疲れがたまり毎日疲労感が取れない
2. 毎日の生活にやる気がおきない
3. 子どもに手がかかるので、いつも時間に追われている
4. 子どもがわずらわしくてイライラしてしまうことがある
5. 子どものことでどうしたらよいかわからなくなることがある
6. 子どもをおいて外出するのは心配で仕方ない
7. 自分ひとりで子どもを育てているのだという圧迫感を感じてしまう
8. 毎日、同じことの繰り返ししかしていないと思う
9. 経済的に余裕がなく、子どもを育てることに不安がある
10. 子どもを育てるために、がまんばかりしていると思う
11. 特に困っていることはない

⇒問 11-1 へ

⇒問 11-2 へ

問 11-1 問 11 で「1～10」のいずれかに○をつけた方にかがいます。毎日の育児で大変な時や困っていることに対してどのような支援が必要ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 話を聞いてくれて助言をしてくれる
2. 地域の方が何時間か子どもを預かってくれる
3. 日中、何時間か子どもを預かってくれる施設
4. 1泊以上の泊まりで子どもを預かってくれる施設
5. 支援は必要ない
6. その他 ()

問 11-2 すべての方にかがいます。子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。



■宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます■

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親・父親それぞれに当てはまる番号1つに○をつけてください。※1日の労働時間でお答えください。

フルタイム・短時間就労とは

ここでは、「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度働くことを言います。それより少ない時間で働いている場合はすべて「短時間就労」としてお答えください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要】	(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要】	
1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	問 12-1 へ
2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	
3. 短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	3. 短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	問 12-1・ 問 13 へ
4. 短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である	4. 短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	問 14 へ
6. これまで働いたことがない	6. これまで働いたことがない	

問 12-1 問 12 で「1~4」(働いている)に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「働いている日数」、1日当たりの「働いている時間（残業時間を含む）」をお答えください。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

- ・働いている日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
- ・産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要】	(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要】
1 週当たり <input type="text"/> 日	1 週当たり <input type="text"/> 日
1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
家を出る時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	家を出る時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時

問 13 問 12 で「3・4」(短時間就労で働いている)に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 15 へお進みください。

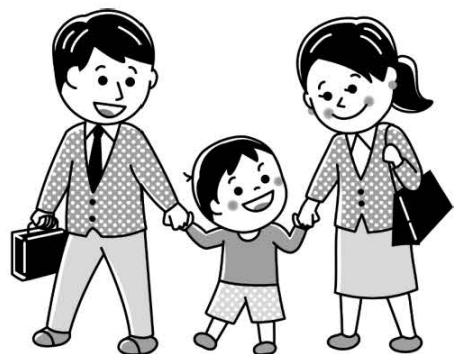
フルタイムへ転換の希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要】	(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要】
1. フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない
3. 短時間就労で働き続けることを希望	3. 短時間就労で働き続けることを希望
4. 短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい	4. 短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12 で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」に○をつけた方にうかがいます。 該当しない方は、問 15 へお進みください。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□の中にご記入ください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要】	(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要】
1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、宛名の子どもが □□ 歳になったころに働きたい	2. 1年より先、宛名の子どもが □□ 歳になったころに働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい →希望する働き方は ア. フルタイム イ. 短時間就労 →1週当たり □ 日・1日当たり □□ 時間	3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい →希望する働き方は ア. フルタイム イ. 短時間就労 →1週当たり □ 日・1日当たり □□ 時間



■宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます■

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育園など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 利用している ⇒問 15-1 へ

2. 利用していない ⇒問 15-5 へ

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

年間を通じて「定期的に」利用している事業すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の許可を受けた定員概ね 6～19 人のもの）
6. 家庭的保育 ※（保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設 ※（許可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのように保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他（

※「家庭的保育」「自治体の認証・認定保育施設」は、現在牛久市では実施していません。（平成 30 年 10 月現在）

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かをご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり 日

1 日当たり 時間（ 時～ 時）

(2) 希望

1 週当たり 日

1 日当たり 時間（ 時～ 時）

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 牛久市内

2. 他の市区町村（市区町村名： ）

問 16 すべての方にかがいます。 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業すべてに〇をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育施設の場合、世帯収入に応じた保育料が設定されています。

※参考は平成 30 年度の牛久市での金額となります

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	【参考】月額授業料は公立では 4,000 円、私立では 14,800 円～27,500 円
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	【参考】おおむね 1 時間当たり 250 円～500 円（私立のみ実施）
3. 認可保育園 （国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）	【参考】48,000 円（上限）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	【参考】48,000 円（上限）
5. 小規模な保育施設 （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの）	【参考】48,000 円（上限）
6. 家庭的保育 ※（保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業）	【参考】認可の場合：48,000 円（上限）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	【参考】認可の場合：48,000 円（上限）
8. 自治体の認証・認定保育施設 ※ （認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）	
9. その他の認可外の保育施設	
10. 居宅訪問型保育 （ベビーシッターのように保育者が子どもの家庭で保育する事業）	【参考】認可の場合：48,000 円（上限）
11. ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）	【参考】30 分当たり 300 円
12. その他（ ）	

※「家庭的保育」「自治体の認証・認定保育施設」は、現在牛久市では実施していません。（平成 30 年 10 月現在）

問 16-1 問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に〇をつけ、かつ 3～12 にも〇をつけた方にかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに〇 をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

■宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます■

問 17 宛名のお子さんは、現在、子育て広場を利用していますか。

次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、利用しているおおよその回数（頻度）を□の中にご記入ください。

1. 子育て広場（「すくすく広場」、「のびのび広場」、「にこにこ広場」、「出張広場」等）

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. 認可保育園で実施している類似の事業（「にこにこキッズ」「いちごくらぶ」等）

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

3. 利用していない

（理由： _____)

問 18 問 17 のような子育て広場等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

当てはまる番号1つに○をつけ、利用したい回数（頻度）を□の中にご記入ください。

なお、これらの事業の利用は原則無料ですが、実費負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

（理由： _____)



■宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の

「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます ■

問 19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけて下さい。希望がある場合は、利用したい時間帯を、□の中にご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

<p>(1)土曜日</p> <p>1. 利用する必要はない</p> <p>2. ほぼ毎週利用したい</p> <p>3. 月に1～2回は利用したい</p>	<p>(2)日曜・祝日</p> <p>1. 利用する必要はない</p> <p>2. ほぼ毎週利用したい</p> <p>3. 月に1～2回は利用したい</p>
<p>→「2」、「3」を選択された方にうかがいます。</p> <p>利用したい時間帯</p> <p style="text-align: center;">□□時から □□時まで</p>	<p>→「2」、「3」を選択された方にうかがいます。</p> <p>利用したい時間帯</p> <p style="text-align: center;">□□時から □□時まで</p>

問 19-1 問 19 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。 毎週ではなく、たまに利用したい理由すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問 20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

<p>1. 利用する必要はない</p> <p>2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい</p> <p>3. 休みの期間中、週に数日利用したい</p>
<p>→「2」、「3」を選択された方にうかがいます。</p> <p>利用したい時間帯 □□時から □□時まで</p>

問 20-1 問 20 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。 毎日ではなく、たまに利用したい理由すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

■宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます(平日の教育・保育を利用する方のみ) ■

※平日の教育・保育の事業を利用している方(問 15 で1に○をつけた方)のみご回答ください。
利用していない方(問 15 で2に○をつけた方)は、問 22 へお進みください。

問 21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」が利用できなかったことはありますか。

1. あった	⇒問 21-1 へ	2. なかった	⇒問 22 へ
--------	-----------	---------	---------

問 21-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□の中にご記入ください(半日程度の対応の場合は1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数(年間)	
ア. 父親が休んだ	□ □ 日	⇒問 21-2 へ
イ. 母親が休んだ	□ □ 日	
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	⇒問 21-5 へ
エ. 父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	□ □ 日	
オ. 病児・病後児の保育施設を利用した	□ □ 日	
カ. ベビーシッターや民間の一時預かりの事業所を利用した	□ □ 日	
キ. ファミリーサポートセンター ※ を利用した	□ □ 日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
ケ. その他 ()	□ □ 日	

※現在、牛久市のファミリーサポートセンターでは、特定の疾病の病児に限り預かりを行っています。(平成 30 年 10 月現在)

* 問 21-1 でアまたはイと回答した方にうかがいます。

問 21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□の中にご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	年間 □ □ 日	⇒問 21-3 へ
2. 利用したいとは思わない		⇒問 21-4 へ

問 21-3 問 21-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(回答後は⇒問 22 へ)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリーサポートセンター等)
4. その他 ()

問 21-4 問 21-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。 (回答後は⇒問 22 へ)

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
4. 利用料がかかる・高い	5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する	7. その他（ ）

*** 問 21-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方**にうかがいます。

問 21-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒問 22 へ
2. 休んで子どもをみることは非常に難しい		⇒問 21-6 へ

問 21-6 問 21-5 で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他（ ）

■ 宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます ■

問 22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。
ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□の中にご記入ください。

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育園や幼稚園などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. ファミリーサポートセンター (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ ※ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. ベビーシッターや民間の一時預かりの事業所	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. 利用していない	

※「トワイライトステイ」は、現在牛久市では実施していません。(平成 30 年 10 月現在)

問 22-1 問 22 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 地域の事業の質に不安がある 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない 5. 利用料がかかる・高い 6. 利用料がわからない 7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 9. その他（)
--	---

問 23 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 22 の事業等を利用する必要があると思いますか。

利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数（目的別（ア～エ）の内訳の日数）をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

	利用目的	日数(年間)
1. 利用したい	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□□ 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□□ 日
	ウ. 不定期の就労	□□ 日
	エ. その他（)	□□ 日
2. 利用する必要はない		

問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

	1年間の対処方法	日数(年間)
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ. 子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□□ 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□ 泊
	エ. 仕方なく子どもを連れていった	□□ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	カ. その他（)	□□ 泊
2. なかった		

■宛名のお子さんが5歳以上の方にうかがいます。5歳未満の方は、問29へ進んでください。
 小学校入学後の放課後の過ごし方についてうかがいます■

問25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。なお、放課後児童クラブは公営・民営のものどちらも含まれます。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館 ※	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後カップバ塾 ※1（※P16参照）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）※2（※P16参照）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. 放課後等デイサービス ※3（※P16参照）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. その他（区民会館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※「児童館」は、現在牛久市にはありません。（平成30年10月現在）

問26 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。なお、放課後児童クラブは公営・民営のものどちらも含まれます。

* だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館 ※	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後カップバ塾 ※1（※P16参照）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）※2（※P16参照）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. 放課後等デイサービス ※3（※P16参照）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. その他（区民会館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※「児童館」は、現在牛久市にはありません。（平成30年10月現在）

問 27 問 25 または問 26 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（事業の利用には一定の利用料がかかります。）

（1）～（3）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯をご記入ください。なお、放課後児童クラブは公営・民営のものどちらも含まれます。

<p>(1)土曜日</p> <p>1. 利用したい</p> <p>2. 利用する必要はない</p>	<p>→「1」を選択された方にうかがいます。</p> <p>利用したい時間帯</p> <p>□□時から□□時まで</p>
<p>(2)日曜日</p> <p>1. 利用したい</p> <p>2. 利用する必要はない</p>	<p>→「1」を選択された方にうかがいます。</p> <p>利用したい時間帯</p> <p>□□時から□□時まで</p>
<p>(3)祝日</p> <p>1. 利用したい</p> <p>2. 利用する必要はない</p>	<p>→「1」を選択された方にうかがいます。</p> <p>利用したい時間帯</p> <p>□□時から□□時まで</p>

問 28 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期

の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（事業の利用には一定の利用料がかかります。）当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯をご記入ください。なお、放課後児童クラブは公営・民営のものどちらも含まれます。

<p>1. 利用したい</p> <p>2. 利用する必要はない</p>	<p>→「1」を選択された方にうかがいます。</p> <p>利用したい時間帯</p> <p>□□時から□□時まで</p>
-------------------------------------	--

※1 放課後カッパ塾

牛久市では地域の方々の協力を得て、平日の放課後（週2日程度）に、学校の余裕教室や図書室などの特別教室で、無料の学習塾を実施しています。

対象は、小学4年生から6年生で、希望によりご参加いただけます。児童クラブに入級しているお子さんも利用することが可能です。

※2 放課後児童クラブ（学童保育）

地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※3 放課後等デイサービス

就学中の障がいのある児童を対象にして、放課後や夏休みなどの長期休暇中に、生活能力向上のための訓練や、地域社会との交流促進などを行っています。

■ すべての方に、育児休業など職場の両立支援制度についてうかがいます ■

問 29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは両方が育児休業を取得しましたか。

母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

また、「3. 取得していない」に○をつけた方はその理由を下の1～15の中から選び、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) ⇒問 29-1 へ 3. 取得していない ⇒取得していない理由を下からすべて選び、番号に○をつけてください。	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) ⇒問 29-1 へ 3. 取得していない ⇒取得していない理由を下からすべて選び、番号に○をつけてください。
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15. その他()	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15. その他()

問 29-1 問 29 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1)母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問 29-2 へ 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に仕事をやめた
(2)父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問 29-2 へ 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に仕事をやめた

* 問 29-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 29-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

□内にご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □□ ヶ月 希望 □ 歳 □□ ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □□ ヶ月 希望 □ 歳 □□ ヶ月

* 問 29-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 29-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

② 父親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

② 父親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

■すべての方に、牛久市の子育て環境や支援についてうかがいます■

問 30 下記の牛久市の子ども・子育て支援に関わる項目の①から⑰それぞれの「A 満足度」と「B 必要性（重要性）」についてお答えください。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	A 満足度				B 必要性(重要性)			
	満足	ふつう	不満	わからない	必要	必要ない	不必要	わからない
①次代の親の育成支援 (将来親となる中高生との乳幼児との交流の機会)	1	2	3	4	1	2	3	4
②教育環境等の整備 (幼児教育・学校教育)	1	2	3	4	1	2	3	4
③家庭と地域が連携した子育ての充実 (家庭教育学級・地域での社会奉仕活動)	1	2	3	4	1	2	3	4
④親と子の健康の確保 (妊産婦健康診査・乳幼児健診・食育推進など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤子育てに関する医療・保健の充実 (予防接種・医療費助成など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥教育・保育施設事業の整備・充実 (延長保育・一時預かり・放課後児童クラブなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦地域における子育て支援の充実 (家庭児童相談・子育て広場・地域子育て支援センターなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子育て支援のネットワークづくりの充実 (赤ちゃん交流・育児サークル等への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨子どもの健全育成の充実 (放課後カッパ塾・子育てサロン・スポーツ少年団の活動支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ワーク・ライフ・バランスの実現 (男女共同参画の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪仕事と子育ての両立支援の充実 (雇用環境・労働環境の改善)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫だれもが安心・安全に過ごせるまちづくり (通学路の整備、公園の整備、バリアフリー化など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬子どもの安全対策 (防犯・防災・交通安全)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭ひとり親家庭の支援の充実 (母子家庭・父子家庭への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮障がい児への支援の充実 (各種相談事業・発達支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯児童虐待防止対策の充実 (虐待の早期発見・早期対応など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰子どもの貧困対策の充実 (就学援助・支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4

問 31 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れ
平成30年12月7日(金)までにポストにご投函ください。

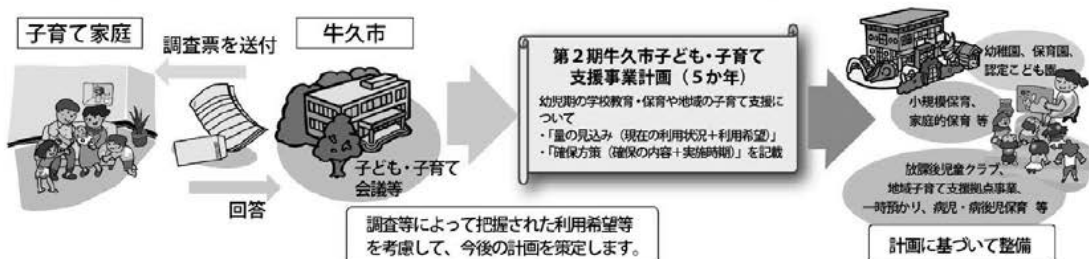
○調査票における用語の定義や子ども・子育て支援新制度の考え方等について○

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼稚園:学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
- ・保育園:児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
- ・認定こども園:幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・子育て:教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育:問14までは家庭での教育を含めた広い意味、問15以降は幼児期の学校における教育の意味で用いています

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます。



子ども・子育て支援新制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応した、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期に愛情を持って育てられることにより、情緒の安定や他者への信頼感が生まれ、幼児期には他者との関わりや基本的な生きる力を得て、学童期には心身の健全な発達を通じ、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として自他共に認められることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、子育てについての第一の責任は保護者にあることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、楽しく子育てをすることが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることにより、保護者自身が心に余裕を持ち、子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

(2) 小学生調査票

小

牛久市子ども・子育て支援に関する調査



調査ご協力をお願い



日頃より、牛久市のまちづくりにご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
この度、子ども・子育て支援法に基づき「第2期牛久市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。

この調査は、保護者の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」をおうかがいすることにより、第2期の計画で目指す教育・保育・子育て支援の必要な量を市が算出するために行うものです。

調査票は無記名でご回答いただきますので、個人の特定や、プライバシーに関わる内容が公表されることはありません。本調査の分析のために統計的に処理し、子ども・子育て支援事業計画の目的以外で使用することはありません。

質問数が多く、お忙しい中ご負担をおかけいたしますが、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます。

※最初にお読みください

●ご記入にあたってのお願い●

- 回答は、宛名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
- ご記入は、黒や青のボールペンや鉛筆など濃い色の筆記具で、はっきりとお書きください。
- 回答は、選択肢の番号・記号を選び○をつけていただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 回答の○の数は、「1つに○」「すべてに○」などと表示してありますので、それに合わせてください。また、「その他」を選んだ場合は（ ）の中に具体的な内容を記入してください。
- 数字（時間、日数、回数、年齢など）を記入していただく場合は、一枠に一文字、記入してください。
- 時間を記入していただく場合は、24時間制で、29分までは切り捨て、30分以上は切り上げてください。（例 ①8時30分は「9時」と記入、②18時15分は「18時」と記入）
- 設問によっては、回答していただく方が限られる場合があります。矢印やことわり書きなどに従って回答してください。

※調査票における用語の定義や子ども・子育て支援新制度の考え方等は最終ページをご覧ください。

●お問い合わせ先●

牛久市 保健福祉部 こども家庭課 電話:029-873-2111(代)<内線 1732>

ご記入いただいた調査票は、切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れ
平成30年12月7日(金)までにポストにご投函ください。

返信用封筒に住所・氏名を記入する必要はありません。

■お住まいの地域についてうかがいます■

問1 お住まいの場所はどの小学校区ですか。当てはまる番号 1つに〇をつけてください。わからない場合は、お住まいの町名と何丁目かを記入してください。

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------|-----------|----------------|
| 1. 牛久小学校区 | 2. 岡田小学校区 | 3. 奥野小学校区 | 4. 牛久第二小学校区 |
| 5. 中根小学校区 | 6. 向台小学校区 | 7. 神谷小学校区 | 8. ひたち野うしく小学校区 |
| 9. わからない（お住まいの町名： _____ ） 記入例：中央3丁目 | | | |

■宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます■

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

小学 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数と末子のお子さんの生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに〇をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ _____ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について当てはまる番号 1つに〇をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに〇をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ _____ ）

■子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます■

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 すべてに〇をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 小学校
6. 放課後児童クラブ（学童保育） 7. その他（ _____ ）

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境 すべてに〇をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 小学校 4. 放課後児童クラブ（学童保育）
5. その他（ _____ ）

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	}	⇒問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる		
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	}	⇒問9-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる		
5. いずれもない		⇒問10へ

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある ⇒問10-1へ	2. ない ⇒問11へ
---------------	-------------

問10-1 問10で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. NPO（子ども食堂等）
5. 小学校教諭	6. 養護教諭
7. スクールカウンセラー	8. 放課後児童クラブ支援員
9. 民生委員・児童委員	10. かかりつけの医師
11. 市の子育て関連担当窓口（市家庭児童相談室等）	
12. その他 ()	【例】きぼうの広場・学習塾の先生等

問 11 すべての方にかがいます。 毎日の育児で大変なことや困っていることはありますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児疲れがたまり毎日疲労感が取れない
2. 毎日の生活にやる気がおきない
3. 子どもに手がかかるので、いつも時間に追われている
4. 子どもがわずらわしくてイライラしてしまうことがある
5. 子どものことでどうしたらよいかわからなくなることがある
6. 子どもをおいて外出するのは心配で仕方ない
7. 自分ひとりで子どもを育てているのだという圧迫感を感じてしまう
8. 毎日、同じことの繰り返ししかしていないと思う
9. 経済的に余裕がなく、子どもを育てることに不安がある
10. 子どもを育てるために、がまんばかりしていると思う
11. 特に困っていることはない

⇒問 11-1 へ

⇒問 11-2 へ

問 11-1 問 11 で「1～10」のいずれかに○をつけた方にかがいます。 毎日の育児で大変な時や困っていることに対してどのような支援が必要ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 話を聞いてくれて助言をしてくれる
2. 地域の方が何時間か子どもを預かってくれる
3. 日中、何時間か子どもを預かってくれる施設
4. 1泊以上の泊まりで子どもを預かってくれる施設
5. 支援は必要ない
6. その他 ()

問 11-2 すべての方にかがいます。 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。



■宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます■

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の働いている状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親・父親それぞれに当てはまる番号1つに○をつけてください。※1日の労働時間でお答えください。

フルタイム・短時間就労とは

ここでは、「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度働くことを言います。それより少ない時間で働いている場合はすべて「短時間就労」としてお答えください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要】	(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要】	
1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない	問 12-1 へ
2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である	
3. 短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	3. 短時間就労で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	問 12-1・ 問 13 へ
4. 短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である	4. 短時間就労で働いているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	問 14 へ
6. これまで働いたことがない	6. これまで働いたことがない	

問 12-1 問 12 で「1～4」（働いている）に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「働いている日数」、1日当たりの「働いている時間（残業時間を含む）」をお答えください。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

- ・働いている日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
- ・産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要】	(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要】
1 週当たり <input type="text"/> 日	1 週当たり <input type="text"/> 日
1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
家を出る時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	家を出る時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時

問 13 問 12で「3・4」（短時間就労で働いている）に○をつけた方にかがいます。

該当しない方は、問 15 へお進みください。

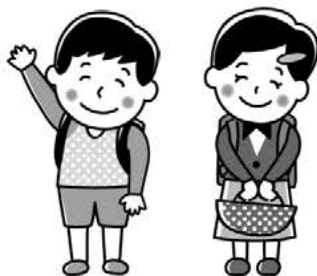
フルタイムへ転換の希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要】	(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要】
1. フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへ転換の希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへ転換の希望はあるが、実現できる見込みはない
3. 短時間就労で働き続けることを希望	3. 短時間就労で働き続けることを希望
4. 短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい	4. 短時間就労で働くのをやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」に○をつけた方にかがいます。 該当しない方は、問 15 へお進みください。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□の中にご記入ください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要】	(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要】
1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、宛名の子どもが □□ 歳になったころに働きたい	2. 1年より先、宛名の子どもが □□ 歳になったころに働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい →希望する働き方は ア. フルタイム イ. 短時間就労 →1週当たり □ 日・1日当たり □□ 時間	3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい →希望する働き方は ア. フルタイム イ. 短時間就労 →1週当たり □ 日・1日当たり □□ 時間



■宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます■

問 15 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだことはありますか。

1. あった ⇒問 15-1 へ	2. なかった ⇒問 16 へ
------------------	-----------------

問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校に行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数ご記入ください。

1年間の対処方法	日数(年間)	
ア. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒問 15-2 へ
イ. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒問 15-5 へ
エ. 父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
オ. 病児・病後児の保育施設を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
カ. ベビーシッターや民間の一時預かりの事業所を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
キ. ファミリーサポートセンター※を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
ケ. その他 ()	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	

※現在、牛久市のファミリーサポートセンターでは、特定の疾病の病児に限り預かりを行っています。(平成 30 年 10 月現在)

*** 問 15-1 でアまたはイと回答した方にかがいます。**

問 15-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、日数についてもご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒問 15-3 へ
2. 利用したいとは思わない		⇒問 15-4 へ

問 15-3 問 15-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(回答後は⇒問 16 へ)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育てで家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリーサポートセンター等)
4. その他 ()

問 15-4 問 15-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。 (回答後は⇒問 16へ)

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
4. 利用料がかかる・高い	5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する	7. その他（ ）

*** 問 15-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方**にうかがいます。

問 15-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい	年間 <input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒問 16へ
2. 休んで子どもをみることは非常に難しい		⇒問 15-6へ

問 15-6 問 15-5 で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他（ ）

■ 宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます ■

問 16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もご記入ください。

	1年間の対処方法	日数(年間)
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. 子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを連れていった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

■宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます■

問 17 宛名のお子さんについて、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用時間もご記入ください。なお、放課後児童クラブは公営・民営のものどちらも含まれます。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後カッパ塾	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. ファミリーサポートセンター	週 <input type="text"/> 日くらい
7. 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（区民会館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 18 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（事業の利用には一定の利用料がかかります。）

（1）～（3）それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また利用したい時間帯をご記入ください。なお、放課後児童クラブは公営・民営のものどちらも含まれます。

(1)土曜日		利用したい(している)時間帯	
1. 低学年（1～3年生）で利用したい（している）	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）で利用したい（している）	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない			
(2)日曜日		利用したい時間帯	
1. 低学年（1～3年生）で利用したい	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）で利用したい	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない			
(3)祝日		利用したい時間帯	
1. 低学年（1～3年生）で利用したい	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）で利用したい	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない			

■宛名のお子さんの長期休暇の過ごし方についてうかがいます■

問 19 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用時間もご記入ください。なお、放課後児童クラブは公営・民営のものどちらも含まれます。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="text"/> 日くらい → <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
5. ファミリーサポートセンター	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他（区民会館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 20 すべての方にうかがいます。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（事業の利用には一定の利用料がかかります。）
当てはまる番号すべてに○をつけてください。また利用したい時間帯をご記入ください。なお、放課後児童クラブは公営・民営のものどちらも含まれます。

		利用したい(している)時間帯
1. 低学年（1～3年生）で利用したい（している）	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）で利用したい（している）	⇒	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
3. 利用する必要はない		

問 21 すべての方にうかがいます。お子さんが放課後や夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に過ごす場所に望むことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもが安全に過ごせること	
2. 希望する日・時間に利用できること	
3. 子どもの勉強を見てくれる人がいること	
4. イベントをやってくれること	
5. 地域の人との交流があること	
6. パソコン教室、音楽教室などの講座	
7. 学校の勉強の復習などの補習教室	
8. 違う学年の子との交流があること	
9. 屋外で遊べる環境があること	
10. その他（	）

■すべての方に、牛久市の子育て環境や支援についてうかがいます■

問 22 下記の牛久市の子ども・子育て支援に関わる項目の①から⑰それぞれの「A 満足度」と「B 必要性（重要性）」についてお答えください。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	A 満足度				B 必要性(重要性)			
	満足	ふつう	不満	わからない	必要	どちらでもない	不必要	わからない
①次代の親の育成支援 (将来親となる中高生との乳幼児との交流の機会)	1	2	3	4	1	2	3	4
②教育環境等の整備(幼児教育・学校教育)	1	2	3	4	1	2	3	4
③家庭と地域が連携した子育ての充実 (家庭教育学級・地域での社会奉仕活動)	1	2	3	4	1	2	3	4
④親と子の健康の確保 (妊産婦健康診査・乳幼児健診・食育推進など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤子育てに関する医療・保健の充実 (予防接種・医療費助成など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥教育・保育施設事業の整備・充実 (延長保育・一時預かり・放課後児童クラブなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦地域における子育て支援の充実 (家庭児童相談・子育て広場・地域子育て支援センターなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子育て支援のネットワークづくりの充実 (赤ちゃん交流・育児サークル等への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨子どもの健全育成の充実 (放課後カッパ塾・子育てサロン・スポーツ少年団の活動支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ワーク・ライフ・バランスの実現(男女共同参画の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪仕事と子育ての両立支援の充実(雇用環境・労働環境の改善)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫だれもが安心・安全に過ごせるまちづくり (通学路の整備、公園の整備、バリアフリー化など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬子どもの安全対策(防犯・防災・交通安全)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭ひとり親家庭の支援の充実(母子家庭・父子家庭への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮障がい児への支援の充実(各種相談事業・発達支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯児童虐待防止対策の充実(虐待の早期発見・早期対応など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰子どもの貧困対策の充実(就学援助・支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4

問 23 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れ
平成30年12月7日(金)までにポストにご投函ください。

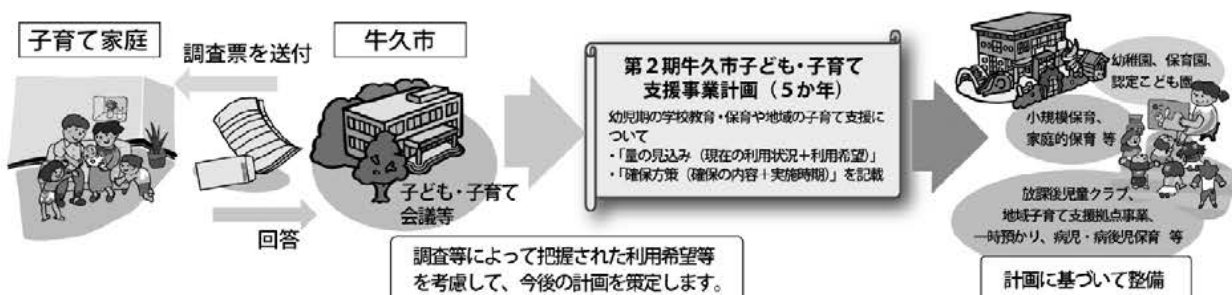
○調査票における用語の定義や子ども・子育て支援新制度の考え方等について○

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・子育 て:教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教 育:問 14 までは家庭での教育を含めた広い意味で用いています

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます。



子ども・子育て支援新制度は、以下のような考え方に基づいています。

●急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応した、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

●子どもの成長においては、乳児期に愛情を持って育てられることにより、情緒の安定や他者への信頼感が育まれ、幼児期には他者との関わりや基本的な生きる力を得て、学童期には心身の健全な発達を通じ、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として自他共に認められることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

●子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、子育てについての第一の責任は保護者にあることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、楽しく子育てをすることが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることにより、保護者自身が心に余裕を持ち、子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

牛久市子ども・子育て支援に関する調査報告書

発行：平成31年3月

発行者：牛久市 保健福祉部 こども家庭課

〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL: 029-873-2111(代)

<http://www.city.ushiku.lg.jp/>
